



～公共施設再配置に向けて～

久米島町公共施設等総合管理計画

目 次

1. 公共施設再配置に向けて	1
1. 公共施設等総合管理計画の位置付け	1
(1) 計画の目的・理念	1
(2) 公共施設等総合管理計画で対象とする施設	2
2. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方	3
1. 計画期間	3
2. 数値目標	3
3. 点検・診断等の実施方針	3
4. 安全確保の実施方針	3
5. 長寿命化の実施方針	3
6. 民間活用（PFI/PPP 等）活用の考え方	4
7. 維持管理・修繕・更新等の実施方針	4
8. 耐震化の実施方針	4
9. 統合や廃止の推進方針	4
3. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針	5
4. 計画の推進にあたって	9
1. 全庁的な取組体制の構築方針	9
(1) 庁内推進体制	9
(2) 町職員の啓発・意識付け	10
2. フォローアップの実施方針	10
(1) 個別施設ごとの推進計画・アクションプラン等の策定	10
(2) 計画の進行管理	10
3. 情報管理及び共有方策	10
(1) 公共施設等に関する情報の一元管理	10
(2) 町民等との情報共有・相互理解の醸成	10
5. 町勢概要	11
1. 町の概要	11
2. 地形・地質	11
3. 気 候	12
4. 産 業	12
5. 特 産 品	12
6. 観光入域者	13
7. 人口と世帯	15
(1) 総人口・世帯数	15
(2) 年代別人口の推移	16
(3) 人口動態（自然動態・社会動態）	17
(4) 小学校校区別人口推移	18
(5) 将来人口の見込み	31
8. 財政・行政運営	33
(1) 歳入・歳出	33
(2) 普通建設事業費・地方債残高の推移	35

(3) 公会計	36
6. 公共施設等の現状と分析	42
1. 公共建築物	42
(1) 過去の整備量（延床面積）	42
(2) 機能別延床面積	44
(3) 施設老朽化の現状と課題	45
(4) コスト状況（平成 26 年度）	46
2. インフラ資産	47
2-1. 町道	47
2-2. 農道	48
2-3. 林道	48
3. 橋梁	49
4. 公園	50
5. 上水処理施設	52
6. 下水処理施設等	54
7. 農業施設	55
8. 漁港・港湾	55
9. その他公共施設	56
10. (株)オーランド	57
(1) 貸借対照表	57
(2) 損益計算書	57
7. 機能別の現状と分析	59
1. 公民館・コミュニティーセンター等	59
(1) 施設概要	59
(2) 施設コストの実態	63
2. 学校教育機能（小学校・中学校）	66
(1) 施設概要	66
(2) 利用の実態	69
(3) 施設コストの実態	71
3. 子育て支援施設（保育所・幼稚園）	73
(1) 施設概要	73
(2) 利用の実態	75
(3) 施設コストの実態	77
4. 行政窓口機能	79
(1) 施設概要	79
(2) 施設コストの実態	80
5. 保健・福祉施設	82
(1) 施設概要	82
(2) 施設コストの実態	84
6. 社会教育・文化施設	86
(1) 施設概要	86
(2) 利用の実態	89

(3) 施設コストの実態	93
7. スポーツ施設	95
(1) 施設概要	95
(2) 利用の実態	98
(3) 施設コストの実態	102
8. 教員住宅	104
(1) 施設概要	104
(2) 施設コストの実態	106
9. 町営住宅	108
(1) 施設概要	108
(2) 施設コストの実態	111
10. その他広域対応施設（農林・水産・観光・その他）	113
(1) 施設概要	113
(2) 利用の実態	117
(3) 施設コストの実態	119
11. その他（環境保全施設等）	121
(1) 施設概要	121
(2) 施設コストの実態	123
8. 今後整備予定の施設	124
1. 新設施設	124
2. 建替え施設	124
3. 大規模修繕施設	124
9. 将来の施設更新投資等の試算（財務シミュレーション）	125
1. 更新投資試算の方法	125
2. 公共建築物に係る更新投資の試算	125
3. インフラ資産に係る更新投資の試算	126
4. 公共施設（全体）に係る更新投資の試算	127
5. 財務シミュレーション	128
(1) 財務シミュレーションの前提条件	128
(2) 財務シミュレーション実施結果	128

1. 公共施設再配置に向けて

1. 公共施設等総合管理計画の位置付け

(1) 計画の目的・理念

現在、久米島町では財政状況・人口問題が厳しさを増す中、公共施設等（インフラ施設を含む）の老朽化が進んでいます。老朽化が進めば施設の倒壊または生活上のライフラインのストップ等、人命に関わる被害につながる危険性が高まります。施設を適切なタイミングで改修・更新（建替）を行うことは、町民の安心・安全な行政サービスを提供する上で最優先とすべき課題です。

しかし、それらの公共施設を順次建替えをおこなっていくことは、膨大な財政負担となって押し寄せることとなります。このような施設の老朽化問題は、本町の今後の行財政運営に極めて大きな影響を及ぼす問題として深刻に受け止める必要があります。

これらの公共施設の実態をハード・ソフト両面からできるだけ正確に把握し、将来に生じる改修・更新投資額を予測し、財政的に次の世代に引き継げる公共施設の整備、改修・更新、管理運営のあり方を示すことが本計画の目的です。

1. 公共施設再配置に向けて

(2) 公共施設等総合管理計画で対象とする施設

本計画の対象は、庁舎、小・中学校、町営住宅などの「公共建築物」と、道路、橋梁、上水道などの「インフラ資産」を含めた全ての公共施設等とします。

① 公共建築物

久米島町にある公共建築物は、平成 26 年度(2014 年度)時点で 129 施設があります。

下記の表は、129 施設を機能毎に分けたものです。

図表 対象施設

地域対応施設		件数	主な施設
01	公民館・コミュニティーセンター等	29	公民館 (29)
02	学校教育施設 (小学校・中学校)	8	小学校 (6)・中学校 (2)
03	子育て支援施設 (保育園・幼稚園)	8	幼稚園 (6)・保育所 (2)
広域対応施設		件数	主な施設
04	行政窓口施設	2	庁舎 (2)
05	保健・福祉施設	9	福祉センター (2)・歯科診療所 (2)・診療所 (1)・保健指導所 (1)・コミュニティーセンター (1)・その他 (2)
06	社会教育・文化施設	10	社会教育施設 (5)・文化施設 (4)・その他 (1)
07	スポーツ施設	7	スポーツ施設 (7)
08	教員住宅	13	教員住宅 (13)
09	町営住宅	14	町営住宅 (14)
10	その他広域対応施設 (農林・水産・観光・その他)	24	農林施設 (6)・水産施設 (6)・観光施設 (5)・その他 (7)
11	その他 (環境保全施設等)	5	リサイクルセンター (1)・クリーンセンター (1)・その他 (3)
合計施設数		129	

② インフラ資産

インフラ資産としては、町道、農道、林道、橋梁、公園、上水処理施設、下水処理施設、漁港・港湾、農業施設、その他公共施設を対象とします。

※漁港・港湾施設の建物とゴミ処理施設は、公共建築物として整理しています。

2. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

1. 計画期間

○本計画は、公共施設の耐用年数（寿命）等をかんがみ、中長期的な視点が不可欠であることから平成 26 年度（2014 年）から平成 66 年（2054 年）までの 40 年間の将来予測推計に基づき、今後 10 年間の方向性を策定しました。

2. 数値目標

- 公共建築物に関しては、新規建設費用（平成 25 年度ベース：約 5 億円）を約半分程度に抑える。
- 現存の公共建築物に関して、人口動態の推移や利用率が低下している施設、設置目的が重複している施設は統合または廃止、複合化等を検討し、40 年間で総延床面積の 30%削減を目標とする。
- 更新コスト削減を図るための長寿命化計画や必要な施設の老朽化対策、適切な維持管理等に対して平成 29 年度を目標に策定する。

3. 点検・診断等の実施方針

- 公共建築物は、法定点検だけでなく劣化状況や利用状況等を把握しながら、必要に応じて専門業者による劣化診断等を実施して詳細な状況把握を行っていく。また、定期的な安全点検等により状況を随時確認し、関係者で情報共有を図りながら適正な管理を行う。
- インフラ資産は、インフラ長寿命化計画（個別施設計画）など国土交通省から示される技術基準等に準拠しつつ、適正に点検・診断等を実施する。

4. 安全確保の実施方針

- 公共施設等に求められている最低限の機能は安全性の確保である。施設管理者の定期的な巡回点検や建築基準法の定期報告など各種法令に基づく点検などを適正に実施する。また、指定管理者制度を採用している施設では適正な施設管理の徹底を指定管理者と協働で実施する。

5. 長寿命化の実施方針

- 点検の強化及び早期の管理・修繕により更新コストの削減を目指すため、長寿命化計画の策定及びこれに基づく予防管理、長寿命化に資する改善を推進していく。

6. 民間活用（PFI/PPP 等）活用の考え方

○施設の維持管理・運営コストを抑制しつつサービスの質を向上するため、指定管理者制度などを活用していく。

7. 維持管理・修繕・更新等の実施方針

○限られた財源を効果的に活用するため効率的な維持管理等を実施していく。

○インフラ資産は、劣化状況等を把握しながら効率的な維持管理・修繕・更新等に努めていく。

8. 耐震化の実施方針

○昭和 56 年に建築基準法が改正され、現在の新耐震基準が施行された。新耐震基準は昭和 56 年 6 月 1 日以降に建築確認を受けた建物に適用されていることから、改正前の旧耐震基準により設計・建築された建物は耐震性のない建物となるため、耐震化の必要な施設については、経過年数や危険度等を勘案し適切に対応していく。

9. 統合や廃止の推進方針

○社会情勢や経済状況が大きく変化する中で、設置の目的や意義が薄れたり、利用率が低下している施設や設置目的が重複している施設は統合・廃止に努めていく。

3. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

公共建築物

方針	
公民館・コミュニティセンター等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公民館は、地域集会所としての機能の他にも、災害時の避難所等に活用される施設であることから、ライフライン及び安全性の確保、バリアフリー化等、施設の基本的な機能確保のための修繕及び改修を進めてまいります。修繕及び改修に関しては、公平性ならびに緊急性等を考慮し、予算の範囲内で順次進めてまいります。 ・ 単独字で公民館の建て替えを行う場合には、地域住民の負担率を事業費の10%と統一し、補助事業にて整備を進めてきましたが、昨今の少子高齢化により、単独字での建て替え等が困難になってきています。そのため、老朽化等により建て替え若しくは新設が必要な公民館については、地域住民の負担を軽減し、より効率的な施設の活用を図るために、近隣の自治会が共同で利用する「地区公民館」として、公民館の統廃合を積極的に進めてまいります。
学校教育施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校は、児童数の減少等が懸念されていますが、当面は現状維持とし老朽化の進行を見定めながら、更新（建替）にて対応していきます。 ・ 清水小学校校舎改築は、体力度調査を行い、平成29年度に基本設計・実施設計の発注、平成32年度にかけて更新を行う予定です。 ・ 中学校は、平成19年度及び平成26年度に統廃合を行ったことから、当面は2校体制を継続していきます。 ・ 幼稚園は、平成28年度より2園での実施となり、閉園となった4園の施設については、設置された小学校の意見を踏まえ効果的な活用が出来るよう検討していきます。
子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 久米島保育所は、平成24年度より公立から民設民営したことで、完全に民間運営となりました。平成29年4月1日からは、新たな保育所管理運営及び事業実施に伴う公募により社会福祉法人に運営を移管し当該施設の管理を行ってもらう予定です。 ・ 中央保育所は、子ども子育て会議において今後の利用者ニーズ対策、課題解決のため平成31年度より保育所と幼稚園を併設した新たな施設を模索していきますが、幼保連携型（保育園と幼稚園）に関する具体案が示されておりません。平成29年度に判断評価すべき実態調査、認定子ども園に移行した市町村への視察等で検証し、本事業を行うことによる保護者の評価、総合的な財政支援の両面から町として認定こども園制度の推進を図っていきます。 ・ 公立学校施設整備事業長期計画においては、清水幼稚園の建て替えが平成30年度で計画されているが、仲里幼稚園の学級数における園舎面積を確保するための増築が最優先であり、同計画の建築順位の見直しが必要となっている。更に「認定こども園」の新設計画もあるので現状においては方針が決定できない。 ・ 認定子ども園が平成31年度に実施予定であり、幼稚園も認定こども園へ移行すると決定した場合、幼稚園建設を見直します。

3. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

行政窓口機能	<ul style="list-style-type: none">具志川庁舎は、老朽化比率が 60%以上であるため、久米島町公共施設統廃合検討委員会に諮り、更新するか統廃合するかについて方向性を決定します。また、総合窓口、教育委員会、上下水道課の設置場所についても同検討委員会の中で検討していきます。
保健・福祉施設	<ul style="list-style-type: none">老人福祉センターは、事務所として離島医療組合が一部利用しており、平成 31 年度までに利用状況を鑑みながら、統合・廃止を視野に検討していきます。具志川歯科診療所は、老朽化が進行していることから、仲里歯科診療所も含め、久米島における歯科診療所の影響を考慮し、廃止・更新・建替など方向性を決定していきます。
社会教育・文化施設	<ul style="list-style-type: none">糸関連施設は、久米島糸訓練所（西銘）、宇江城ユイマール館、真謝ユイマール館、伝統工芸体験施設、久米島糸比嘉ユイマール館（比嘉）の 5 箇所を利用し、久米島糸の後継者育成及び販売促進を行っています。但し、西銘、比嘉については、老朽化が進行しており、危険な状況であることから、利用者の合意形成を図った上で、平成 31 年度までに西銘、比嘉の施設運営を廃止し、宇江城、真謝の施設へ統合を図っていきます。
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none">8 施設あるスポーツ施設のうち、特に仲里グラウンドと B&G 体育館は老朽化（天井壁の剥離、雨漏り等）が進行しており、プロ野球のキャンプ施設などの利用があることから、早急な対策をおこなっていきます。但し、仲里グラウンド管理棟については建築年も古いことから、建替もしくは廃止を検討していきます。
教員住宅	<ul style="list-style-type: none">教員宿舎は、入居率 93%で稼働が高い状態にあります。一方で、全ての施設において老朽化が進んでおり、修繕対応のみでは、良好な居住空間を保つことが困難な状況にあります。そこで、将来的な児童生徒数や教員数の動向を考慮しながら、既設集合住宅の利用促進や更新の検討を行っていきます。
町営住宅	<ul style="list-style-type: none">平成 29 年度中に全町営住宅の現状確認調査を行い、平成 30 年度中に長寿命化計画を策定し、建築年数の古いもの及び経年劣化により痛みの激しい建物から修繕し、長寿命化を図っていきます。

3. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

その他広域対応施設（農林、水産、観光、その他）

- ・ 学校給食センターは、「学校給食衛生管理基準」に適合しない施設となっていることから移転建替することとします。また、同施設の用地選定に際して、建替についてのタイムスケジュールを策定することとし、管理計画における公共建築物の廃止除却で生じた用地活用も視野に検討していきます。
- ・ と畜場は、その特殊性を踏まえ、他施設との複合化は難しく単独施設として更新を行っていきます。そこで、平成 29 年度以降、基本設計に入ることで検討していきます。
- ・ バーデハウス久米島は、久米島町民の健康増進及び観光客の集客に大きな効果を発揮している施設ですが、海洋深層水を温める施設や空調施設等の修繕コストなど毎年多大な負担が発生しており、更に、今後、大規模な施設更新が必要となることが予想されます。よって、機械装置等含めた施設全体についての計画的な維持更新が行えるように長寿命化を推進していきます。
- ・ 兼城ターミナルビルは、沖縄県負担での建設予定となっております。その後、町へ移管されることとなっており、既存の町所有施設は、除却することといたします。

その他（環境保全施設等）

- ・ クリーンセンターは、平成 2 年度に稼働。また、一般廃棄物最終処分場及びリサイクルセンターは、循環型社会への転換の推進を目的として平成 16 年度より稼働。更に平成 17 年 9 月より処理費用の有料化、指定ごみ袋の導入を実施。
今後とも廃棄物処理施設の確保は、非常に困難なものとなっており、可能な限り施設の延命化に努めていきます。
- ・ 火葬場は、築後 36 年余が経過しており、平成 28 年度より沖縄振興特別推進交付金により新築工事に着手しております。平成 29 年度には駐車場等を建設し、平成 30 年 4 月には全面供用開始の予定です。完成後は、葬祭場建設と併せて、同一施設で告別式も行うことが可能となります。

3. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

インフラ資産

	方針
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・「久米島町長寿命化修繕計画（仮）」を策定し、重要度・損傷度などの優先度を定め、予防保全型の維持管理に移行していきます。 ・道路及び道路付属物の倒壊や落下による道路利用者及び第三者の被害を防止するため、日常的なパトロールを強化していきます。 ・予防保全等の効率的な補修方法について継続的に検討し、将来的には舗装維持管理費用の縮減を目指します。 ・林道施設は、黒石林道のみで平成3年度に新設され、これまで大きな破損等はないが、日常的なパトロールを強化していきます。
橋梁	<ul style="list-style-type: none"> ・「久米島町橋梁等長寿命化修繕計画」に基づき維持管理を行っていきます。 ・安全で安心な道路サービスの提供やライフサイクルコストの縮減を図るため、定期的な点検により、早期の損傷を発見し、大規模な修繕に至る前に適切な対策を実施していきます。
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・事後保全型から予防保全型の管理体制に移行していくために、「久米島町公園長寿命化計画」の策定にむけて検討を行っていきます。 ・日常的な維持保全については、日常点検や定期点検に関する方針を設定し、異常が発見された場合の保全措置の方法を示していきます。
上水道	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全な水を安定供給」を基本理念とし、持続・安全・強靱な次世代に継承する水道事業構築を目指していきます。 ・「久米島町水道ビジョン」に基づき、健全経営に努めていきます。 ・計画的な施設管理を行うため、予防保全型の管理徹底に努めていきます。 ・管路老朽化率が上昇しており、管路の更新事業量を平準化し、必要な財源確保に努めていきます。
下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・「久米島町汚水処理施設整備計画」に基づき、計画的かつ効率的な維持管理を行いながら、長寿命化を図っていきます。 ・下水道整備区域の未普及地区への早期管路敷設を推進します。
漁港	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港海岸については「機能保全計画」を平成30年度までに策定し、計画的に補修・改修を行っていきます。 ・規模が小さい漁港などの集約など、効率的な維持運営を目指していきます。

4. 計画の推進にあたって

1. 全庁的な取組体制の構築方針

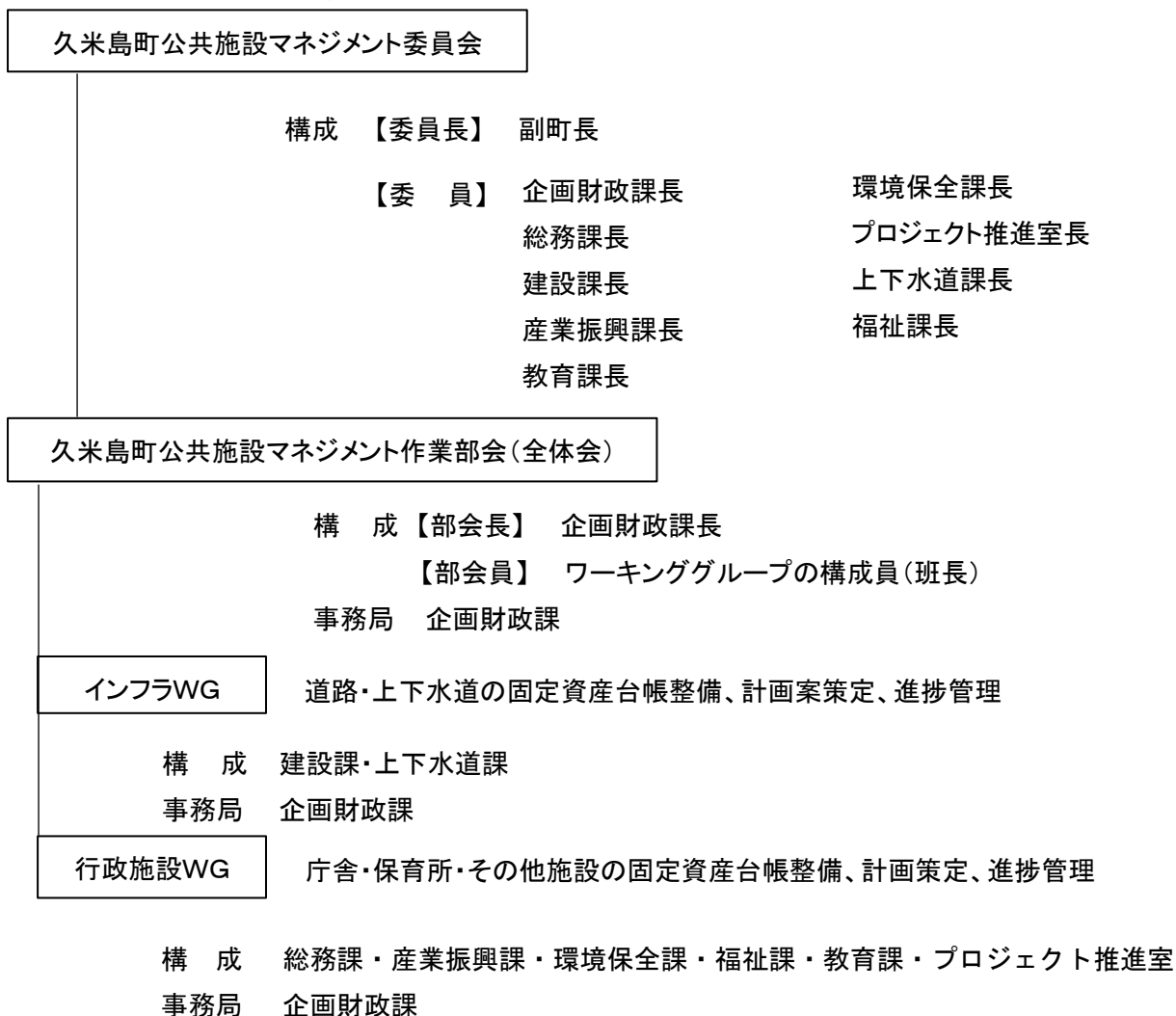
(1) 庁内推進体制

公共施設等の総合的な管理を推進していくにあたり、企画財政課が中心となって、相互に連携しつつ全庁横断的な連携・調整機能を発揮できる庁内推進体制を構築します。

庁内推進体制としては、「久米島町公共施設マネジメント委員会」と位置づけ、公共施設等の情報を管理・集約する部署を定めて的確に運用していきます。また、「久米島町公共施設マネジメント委員会」の下部組織として、「久米島町公共施設マネジメント作業部会（全体会）」にて「インフラワーキンググループ」、「行政施設ワーキンググループ」を設置し、具体的な事案を効率的に推進していきます。

なお、企画財政課が担当する公会計と連動した公共施設マネジメントを実施していくため、毎年度の決算等と連携可能な管理手法を構築します。

公共施設マネジメント委員会体制図



(2) 町職員の啓発・意識付け

公共施設等の総合的な管理を推進していくためには、公共施設に係るコスト、将来を含めた久米島町の財政状況、公共施設の適正管理のあり方などを各職員が十分理解し、意識を持つ必要があります。

そのため、社会経済情勢の変化、財政状況、人口減少・少子高齢化に伴う町民ニーズの変化等をふまえた適切な公共施設の管理を実施できるよう、研修や勉強会等を適宜実施することなどにより、公共施設の総合的な管理に対する町職員の理解の促進、意識の醸成を図ります。

2. フォローアップの実施方針

(1) 個別施設ごとの推進計画・アクションプラン等の策定

本計画に示す公共施設等の総合的な管理に対する基本的な考え方や取組の方向性にに基づき、今後は個別施設ごとに、長寿命化計画や施設再配置計画等といった、具体的な取組を実践していくための推進計画・アクションプランの策定を進めていきます。なお、個別施設ごとの推進計画・アクションプラン等の策定にあたっては、「久米島町公共施設マネジメント委員会」を中心とした全庁横断的な連携・調整機能を発揮し、的確な計画策定に留意します。

(2) 計画の進行管理

本計画の進捗管理については、「久米島町公共施設マネジメント委員会」を中心として、計画の進捗状況や達成度等について検討・協議し、的確に管理を行います。

計画の見直しについては、各個別計画の策定や見直しを実施した場合、本町のまちづくりの動向や社会経済情勢等に大きな変化が生じた場合などにも、必要に応じて適宜見直しを行い、適宜検討を行うこととします。

3. 情報管理及び共有方策

(1) 公共施設等に関する情報の一元管理

公共施設等の総合的な管理にあたっては、本計画の策定に際してブラッシュアップした固定資産台帳データをベースとした公会計システムを含め、継続的に運用していき情報の一元管理と共有化を図っていきます。今後は、本計画に基づき、企画財政課において毎年度データベースの更新を行い、町全体の情報をとりまとめて、公共施設等の情報を一元管理していきます。

(2) 町民等との情報共有・相互理解の醸成

公共施設等の総合的な管理にあたっては、町民との相互理解を深め、各段階で関係する各主体との合意形成を醸成することが不可欠になります。

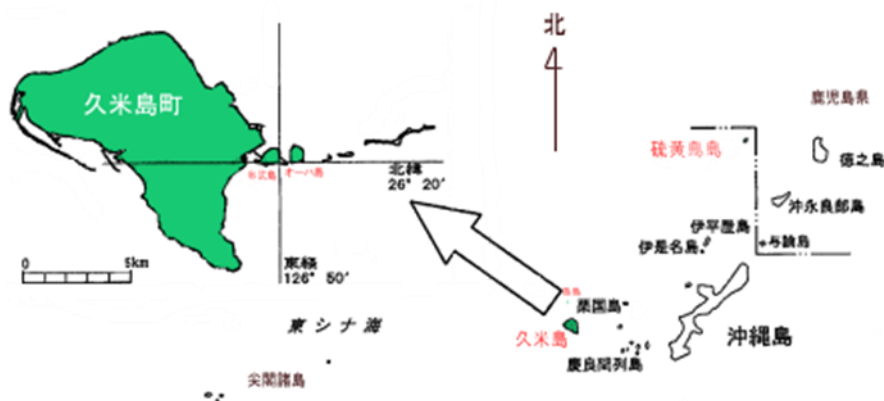
そのため、本計画に基づき、本町の公共施設の総合的な管理に対する考え方や目指す姿、施設の有効利用や効率的な管理運営に向けた取組の方向性などを広く情報発信し、周知・啓発を図っていきます。特に、町民生活と密接なかかわりを持つ公共施設については、町民の意見・提案を把握し検討に反映するなど、公共施設等の管理に対して町民の主体的な参画を促し、協働による取組を推進していきます。

5. 町勢概要

1. 町の概要

久米島町は平成14年4月1日、島にあった2つの村（具志川村、仲里村）が合併して誕生した新しい町です。

行政区面積は63.65k㎡で久米島本島、奥武島の有人島及び無人島で米軍の射爆撃場となっている鳥島、さらに鹿児島県徳之島の西方にあり県内唯一の活火山島でもある硫黄島、他、オーハ島を含む5つの島から構成されています。



2. 地形・地質

島の北部にラムサール条約に登録されている大岳、宇江城岳、南東部にはアーラ岳を中心とする山地が連なり、南西海岸は緩やかな砂丘海岸で北西海岸（西銘崎）一帯から島南西部を取り囲むように隆起サンゴ礁が延び内海（イノー）を形成しています。南東部海岸は平成8年に「日本の渚100選」に選ばれたイーフビーチがあり美しい海浜地帯となっています。また、島の東側（奥武島～御願崎）には隆起サンゴ礁、砂州（はての浜）が約8kmにわたって延び美しい景観をつくっています。



また、第三紀中新世のアーラ岳や鮮新世中後期の宇江城岳の火山岩類と鮮新世初期の島尻層群、更に琉球石灰岩等で形成されています。観光の名所でもある畳石は柱状節理で平成19年に「日本の地質100選」に選ばれています。

3. 気 候

年間平均気温 22.7℃、年間平均最高気温 25.3℃、平均最低気温は 20℃、降水量は年間 2,138mm、年間平均湿度は 76% です。年間を通して温暖な気候であり、北上する黒潮海流が豊かな漁場を形成しています。しかし、台風の常襲地帯で、近年では平成 5 年 9 月に襲来した「台風 13 号」が甚大な被害をもたらし、久米島全域に災害救助法が適用されました。

4. 産 業

農業を基軸とした産業構造が形成されており、さとうきび作を中心に、肉用牛、野菜（ゴーヤー、紅いも、さといも等）、花き類（電照菊等）、葉たばこが生産され、経営の複合化が進んでいる。他にかんきつ類及びマンゴー等の熱帯果樹も栽培され、作物の多様化も進んでいます。また、周辺海域には好漁場を有していることから、周年を通して漁業が盛んであり、近年では栽培漁業やクルマエビや海ブドウを代表とした育てる漁業に力を入れています。

5. 特 産 品

国指定文化財の久米島紬、泡盛、味噌、焼き物などに加え、近年は海洋深層水を利用したミネラル水、塩、化粧品等も開発され、その生産は年々伸びており地場産業として島外、県外にも広く知られるようになっていきます。



6. 観光入域者

久米島町では、平成15年度（2003年度）には空路・海路を利用して100,193人の方々が入域されました。その中で修学旅行として、小学校や中学校・高校と6,501人（観光入域者の約6.5%）が入域されました。しかし、平成26年度（2014年度）には566人（観光入域者の約0.6%）と大幅に減少している状況です。これは、久米島町にとって大変な損失となっています。

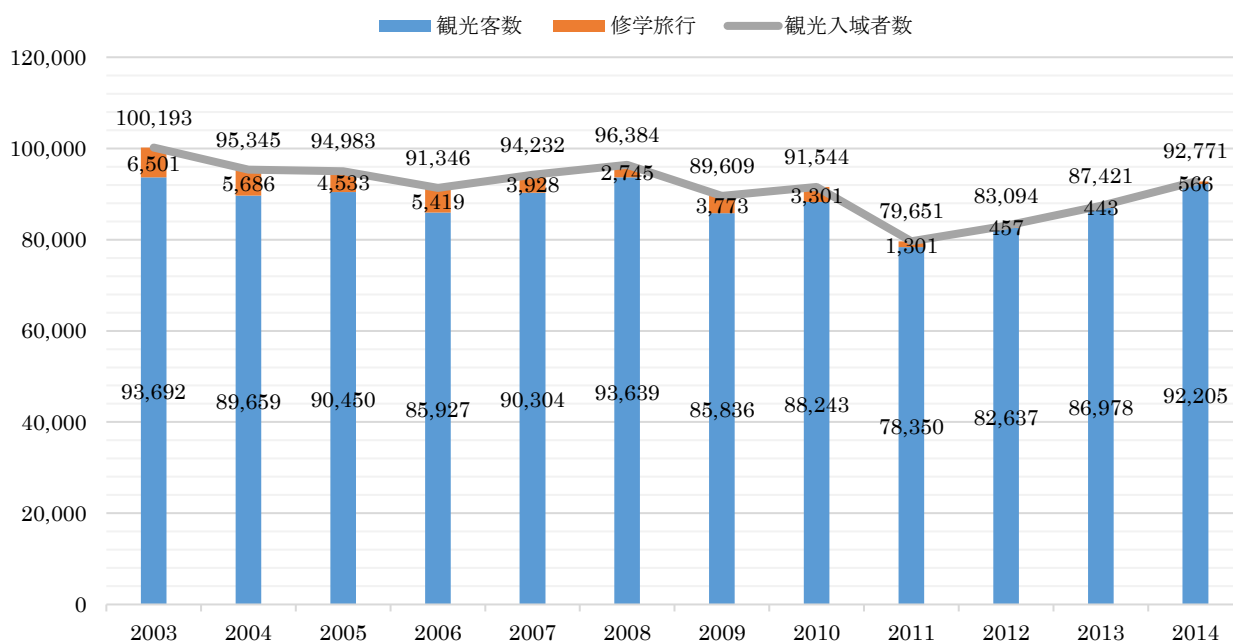
一方、観光客数は、平成23年度（2011年度）までは減少傾向にありましたが、平成24年度（2012年度）からは増加傾向にあります。

図表 観光入域者数

	観光入域者数	修学旅行				観光客数	
		空路	海路	小計	割合	人数	割合
平成15年(2003年)	100,193	4,379	2,122	6,501	6.5%	93,692	93.5%
平成16年(2004年)	95,345	4,495	1,191	5,686	6.0%	89,659	94.0%
平成17年(2005年)	94,983	4,368	165	4,533	4.8%	90,450	95.2%
平成18年(2006年)	91,346	4,244	1,175	5,419	5.9%	85,927	94.1%
平成19年(2007年)	94,232	3,329	599	3,928	4.2%	90,304	95.8%
平成20年(2008年)	96,384	2,120	625	2,745	2.8%	93,639	97.2%
平成21年(2009年)	89,609	2,488	1,285	3,773	4.2%	85,836	95.8%
平成22年(2010年)	91,544	2,371	930	3,301	3.6%	88,243	96.4%
平成23年(2011年)	79,651	1,011	290	1,301	1.6%	78,350	98.4%
平成24年(2012年)	83,094	457		457	0.5%	82,637	99.5%
平成25年(2013年)	87,421	317	126	443	0.5%	86,978	99.5%
平成26年(2014年)	92,771	429	137	566	0.6%	92,205	99.4%

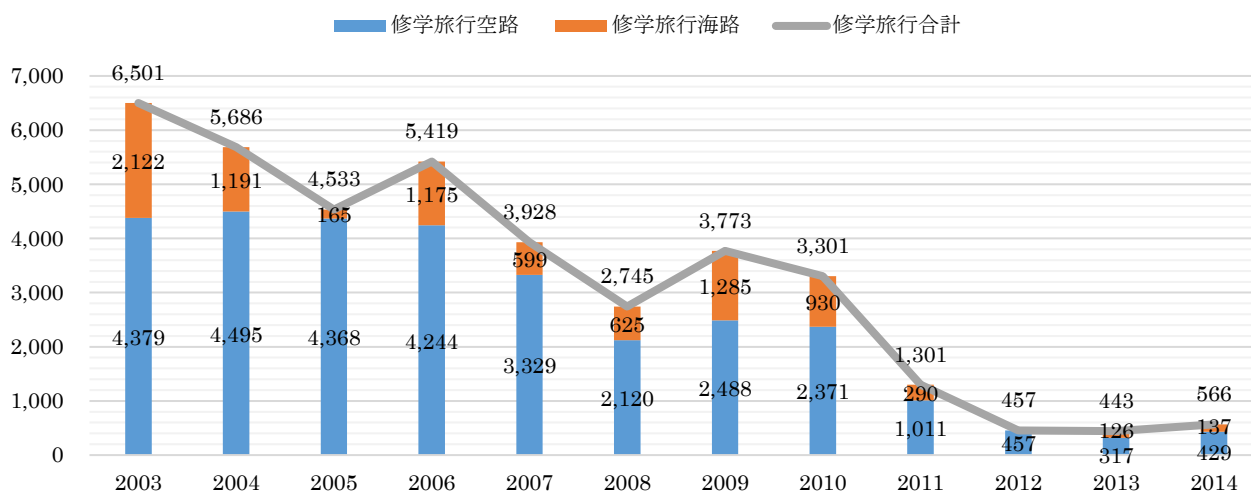
出典：「久米島町観光入域者数」（一般社団法人久米島町観光協会）

図表 観光入域者数推移（単位：人）



5. 町勢概要

図表 修学旅行者数推移（単位：人）



7. 人口と世帯

(1) 総人口・世帯数

人口は、平成 17 年(2005 年)3 月末時点の住民基本台帳では、9,299 人、世帯数は 3,753 世帯となっています。平成 27 年(2015 年)3 月末時点では、8,158 人、世帯数は 3,884 世帯となっており、11 年間で人口は約 12%減少、逆に世帯数は約 3%増加しています。特に人口に関しては、毎年減少している傾向にあります。

図表 人口・世帯の推移 (単位：人・世帯)

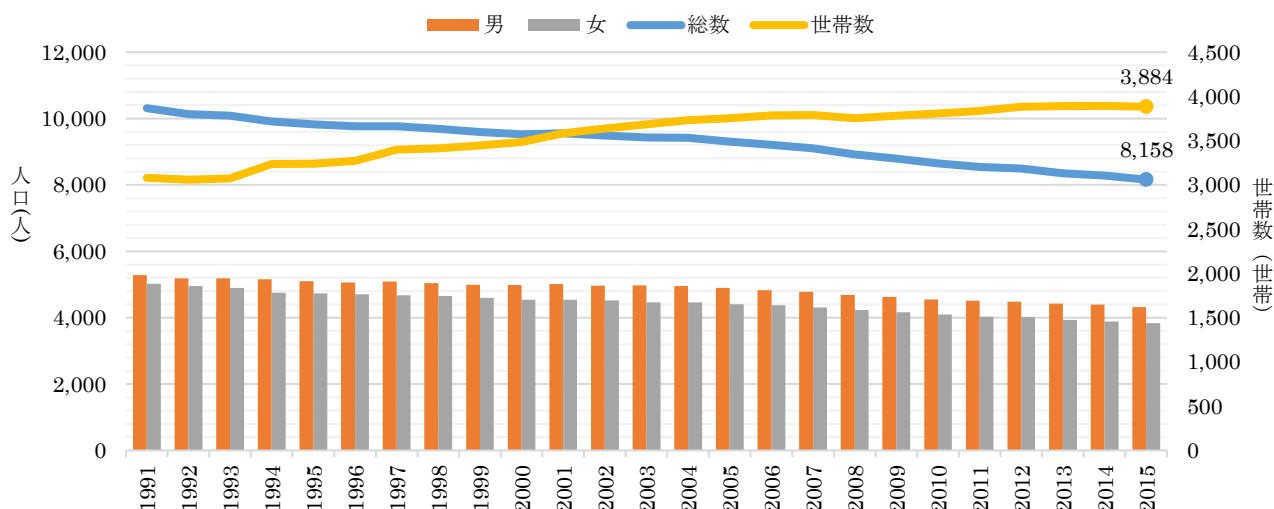
	総数	男	女	世帯数	対前年度増減	
					人口	世帯
平成 03 年 (1991 年) 3 月末	10,311	5,285	5,026	3,079		
平成 04 年 (1992 年) 3 月末	10,137	5,183	4,954	3,059	-174	-20
平成 05 年 (1993 年) 3 月末	10,083	5,188	4,895	3,074	-54	15
平成 06 年 (1994 年) 3 月末	9,913	5,157	4,756	3,234	-170	160
平成 07 年 (1995 年) 3 月末	9,825	5,097	4,728	3,238	-88	4
平成 08 年 (1996 年) 3 月末	9,765	5,062	4,703	3,271	-60	33
平成 09 年 (1997 年) 3 月末	9,771	5,093	4,678	3,399	6	128
平成 10 年 (1998 年) 3 月末	9,694	5,041	4,653	3,413	-77	14
平成 11 年 (1999 年) 3 月末	9,591	4,997	4,594	3,447	-103	34
平成 12 年 (2000 年) 3 月末	9,527	4,986	4,541	3,484	-64	37
平成 13 年 (2001 年) 3 月末	9,550	5,009	4,541	3,582	23	98
平成 14 年 (2002 年) 3 月末	9,483	4,966	4,517	3,638	-67	56
平成 15 年 (2003 年) 3 月末	9,431	4,970	4,461	3,684	-52	46
平成 16 年 (2004 年) 3 月末	9,416	4,954	4,462	3,731	-15	47
平成 17 年 (2005 年) 3 月末	9,299	4,894	4,405	3,753	-117	22
平成 18 年 (2006 年) 3 月末	9,203	4,831	4,372	3,787	-96	34
平成 19 年 (2007 年) 3 月末	9,097	4,785	4,312	3,788	-106	1
平成 20 年 (2008 年) 3 月末	8,917	4,688	4,229	3,752	-180	-36
平成 21 年 (2009 年) 3 月末	8,791	4,624	4,167	3,781	-126	29
平成 22 年 (2010 年) 3 月末	8,651	4,551	4,100	3,806	-140	25
平成 23 年 (2011 年) 3 月末	8,541	4,514	4,027	3,837	-110	31
平成 24 年 (2012 年) 3 月末	8,498	4,478	4,020	3,882	-43	45
平成 25 年 (2013 年) 3 月末	8,353	4,420	3,933	3,892	-145	10
平成 26 年 (2014 年) 3 月末	8,278	4,398	3,880	3,893	-75	1
平成 27 年 (2015 年) 3 月末	8,158	4,318	3,840	3,884	-120	-9

※両村合併 (平成 14 年 1 月 1 日) 以前のデータは、仲里村と具志川村を足したものである。

※日本人のみのデータである (外国人は含めず)

出典：「住民基本台帳年報」を基に作成 (久米島町町民課)

図表 人口・世帯の推移 (単位：人・世帯)



5. 町勢概要

(2) 年代別人口の推移

過去10年間の年齢別人口の推移は、年少人口(0～14歳)は、平成18年3月末時点で1,525人、人口に占める割合は16.6%でした。平成27年3月末時点では、1,235人、割合は15.1%と1.5%減少しています。生産年齢人口(15～64歳)は、平成18年3月末時点で5,472人、人口に占める割合は59.5%でした。平成27年3月末時点では、4,787人、人口に占める割合は58.7%です。老年人口(65歳以上)は、平成18年3月末時点で2,206人、人口に占める割合は24.0%でした。平成27年3月末時点では、2,136人、割合は26.2%と2.2%増加しています。(下グラフ参照)本町においても、少子高齢化が進んでいる状況です。

図表 過去10年間の年代別人口の推移 (単位:人)

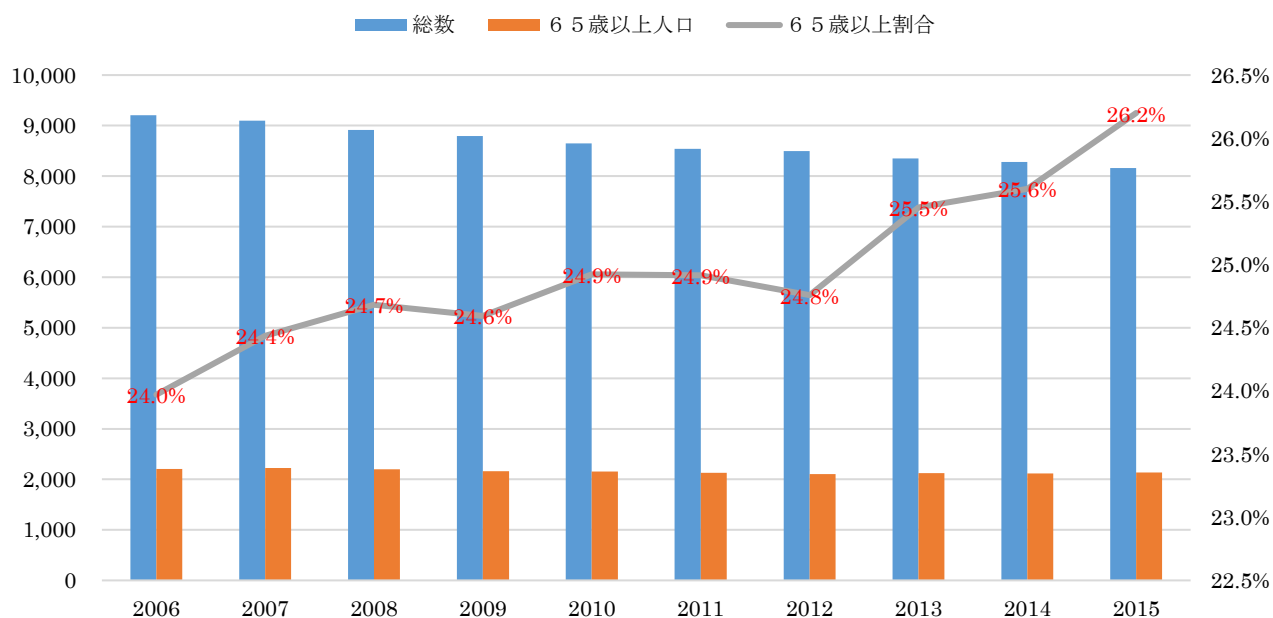
久米島町	総数	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
		人口	割合	人口	割合	人口	割合
平成18年(2006)3月末	9,203	1,525	16.6	5,472	59.5	2,206	24.0
平成19年(2007)3月末	9,097	1,486	16.3	5,388	59.2	2,223	24.4
平成20年(2008)3月末	8,917	1,414	15.9	5,302	59.5	2,201	24.7
平成21年(2009)3月末	8,791	1,401	15.9	5,228	59.5	2,162	24.6
平成22年(2010)3月末	8,651	1,381	16.0	5,114	59.1	2,156	24.9
平成23年(2011)3月末	8,541	1,343	15.7	5,070	59.4	2,128	24.9
平成24年(2012)3月末	8,498	1,316	15.5	5,078	59.8	2,104	24.8
平成25年(2013)3月末	8,353	1,271	15.2	4,956	59.3	2,126	25.5
平成26年(2014)3月末	8,278	1,265	15.3	4,896	59.1	2,117	25.6
平成27年(2015)3月末	8,158	1,235	15.1	4,787	58.7	2,136	26.2

※日本人のみのデータである(外国人は含めず)

※割合は項目毎に小数点以下第2位を四捨五入した数値であり合計が100%にはならない部分もある。

出典:「住民基本台帳年報」を基に作成(久米島町町民課)

図表 65歳以上の人口の推移及び割合



5. 町勢概要

(3) 人口動態（自然動態・社会動態）

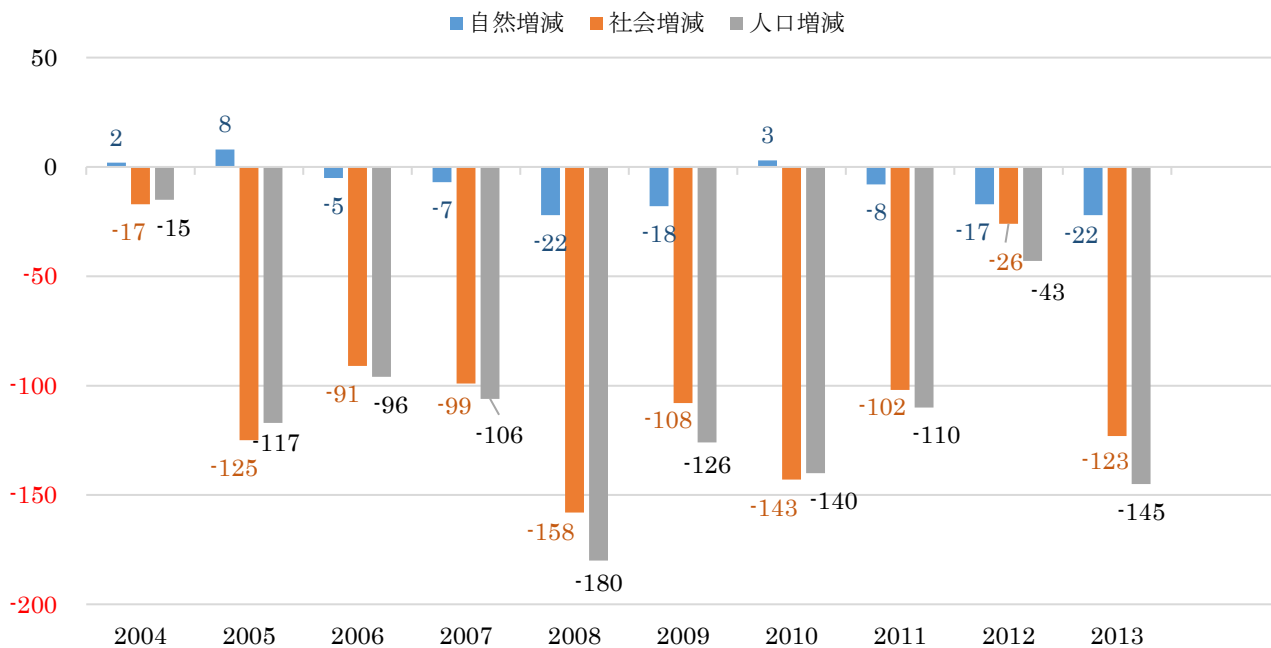
過去10年間の人口動態(自然動態・社会動態)は減少している状況です。特に、社会動態(転入等・転出等)において減少が大きい状況です。

図表 過去10年間の人口動態（自然動態・社会動態）（単位：人）

久米島町	総数	自然動態			社会動態			人口増減
		出生	死亡	自然増減	転入等	転出等	社会増減	
平成16年(2004)3月末	9,416	93	91	2	567	584	-17	-15
平成17年(2005)3月末	9,299	87	79	8	476	601	-125	-117
平成18年(2006)3月末	9,203	93	98	-5	462	553	-91	-96
平成19年(2007)3月末	9,097	77	84	-7	513	612	-99	-106
平成20年(2008)3月末	8,917	82	104	-22	432	590	-158	-180
平成21年(2009)3月末	8,791	95	113	-18	468	576	-108	-126
平成22年(2010)3月末	8,651	98	95	3	455	598	-143	-140
平成23年(2011)3月末	8,541	94	102	-8	418	520	-102	-110
平成24年(2012)3月末	8,498	90	107	-17	486	512	-26	-43
平成25年(2013)3月末	8,353	79	101	-22	463	586	-123	-145

※日本人のみのデータである(外国人は含めず)

出典：「住民基本台帳年報」を基に作成（久米島町町民課）



※自然動態とは、年間の出生と死亡に伴う人口の動き。

※社会動態とは、年間の転入と転出に伴う人口の動き。

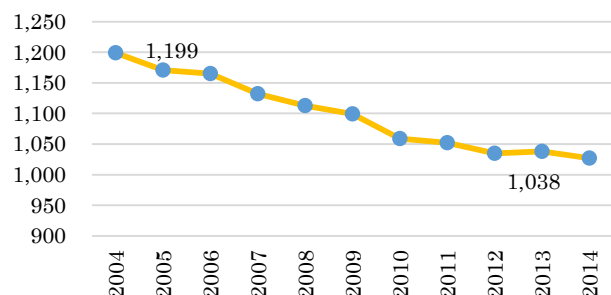
5. 町勢概要

(4) 小学校校区別人口推移

過去 10 年間の小学校校区別人口の推移をみていくと、

①大岳小学校区

図表 過去 10 年間の人口推移



大岳小学校区では、平成 17 年度（2005 年度）の人口は 1,199 人、平成 25 年度（2013 年度）では 1,038 人。人口で 161 人減少、約 14%の減少率です。

5 歳階級別人口では、平成 27 年度（2015 年度）で男女とも 60~64 歳が多い状況です。

コーホート分析では、5~9 歳・30~39 歳の各年齢層・55~59 歳の年齢層が増加、他の年齢層は減少しています。

図表 5 歳階級別男女別人口

	(H22.9 末時点)			(H27.9 末時点)			コーホート増減	3 階級増減
	男	女	総数	男	女	総数		
0~4 歳	20	18	38	17	25	42		-29
5~9 歳	30	24	54	27	21	48	10	
10~14 歳	36	35	71	22	22	44	-10	
15~19 歳	24	26	50	32	35	67	-4	-57
20~24 歳	27	24	51	15	19	34	-16	
25~29 歳	19	14	33	16	15	31	-20	
30~34 歳	23	21	44	20	14	34	1	
35~39 歳	30	23	53	25	25	50	6	
40~44 歳	29	17	46	28	19	47	-6	
45~49 歳	52	44	96	25	17	42	-4	
50~54 歳	40	38	78	48	40	88	-8	
55~59 歳	75	45	120	41	38	79	1	
60~64 歳	48	25	73	70	45	115	-5	
65~69 歳	31	16	47	42	28	70	-3	9
70~74 歳	23	26	49	24	15	39	-8	
75~79 歳	29	40	69	19	25	44	-5	
80~84 歳	25	39	64	24	36	60	-9	
85~89 歳	11	28	39	23	34	57	-7	
90~94 歳	6	10	16	6	17	23	-16	
95~99 歳	4	6	10	2	6	8	-8	
100 歳~	0	0	0	0	2	2	-8	
総数	582	519	1,101	526	498	1,024	—	-77

出典：「年齢別男女別人口調」（久米島町）

※コーホート増減とは・・・コーホートとは、同年（または同期間）に出生した集団を意味します。

このコーホートを用いて分析し、時系列の変化を軸に人口の変化を捉えたものです。

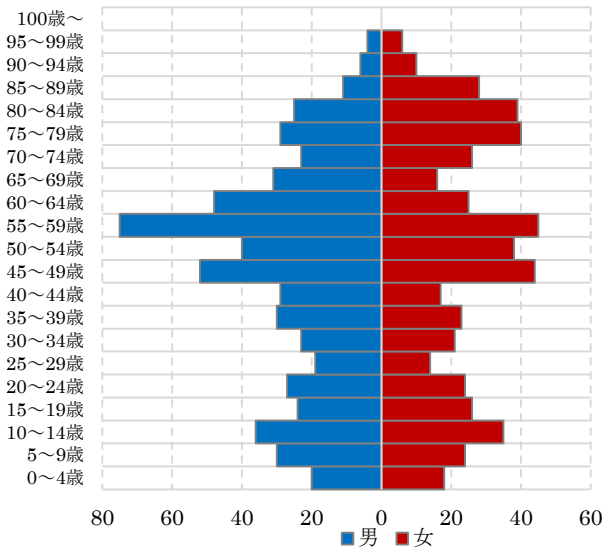
ここでは、H22.9 末時点のそれぞれの年齢層が、5 年後の H27.9 末時点には次の年齢層と比較して増加しているのか、減少しているのかを分析しています。

※3 階級増減とは・・・年少人口（0~14 歳）・生産年齢人口（15~64 歳）・老年人口（65 歳以上）の 3 階級の増減を捉えたものです。

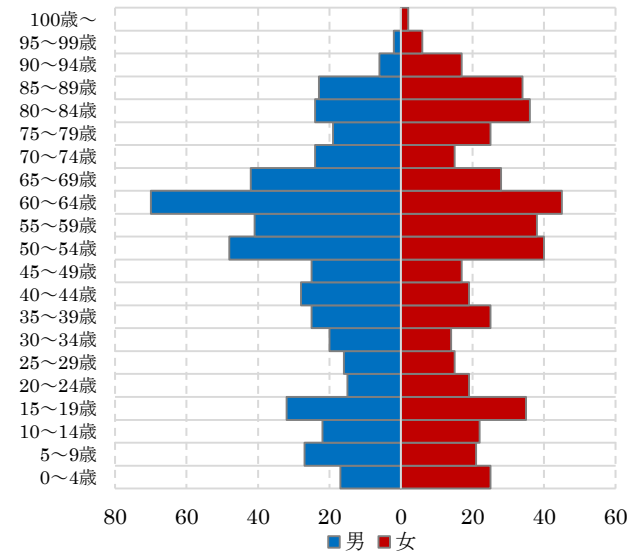
ここでは、H22.9 末時点と 5 年後の H27.9 末時点での 3 階級毎の増減を分析しています。

5. 町勢概要

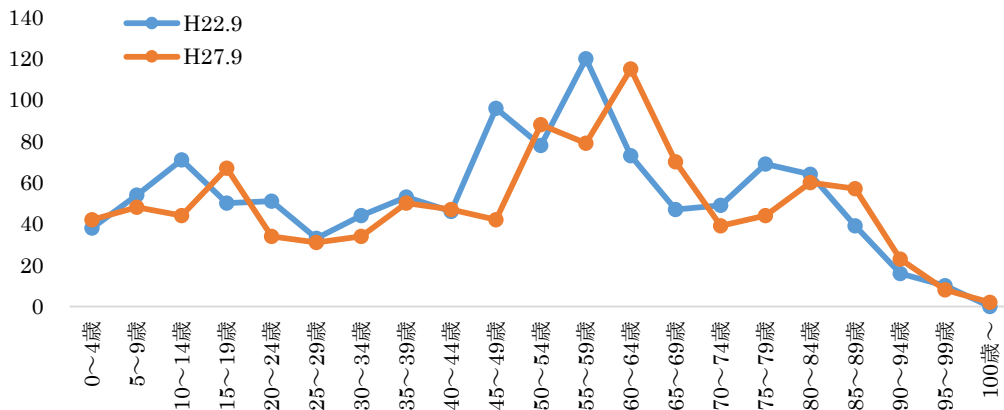
図表 平成 22 年 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



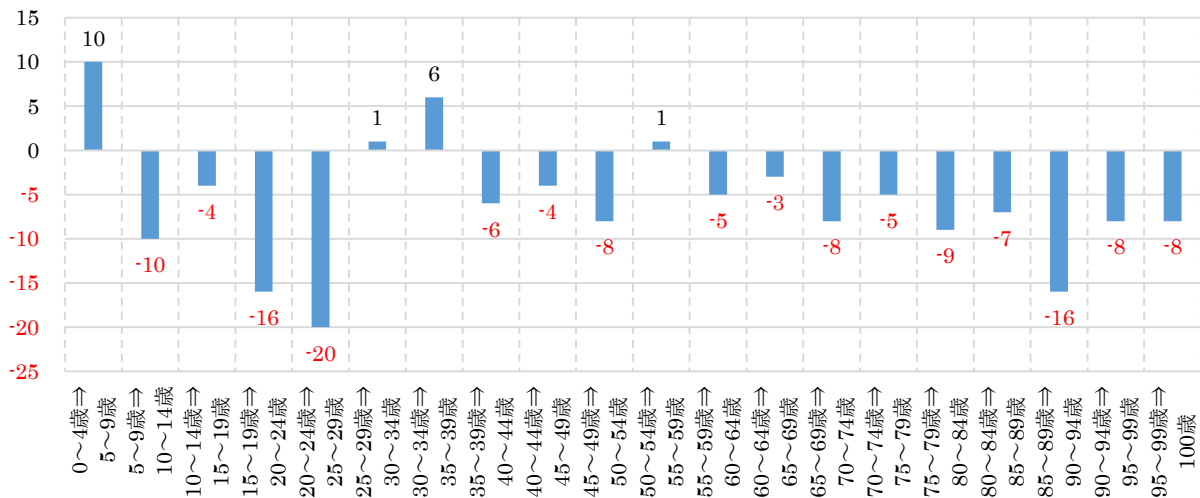
図表 平成 27 年 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)



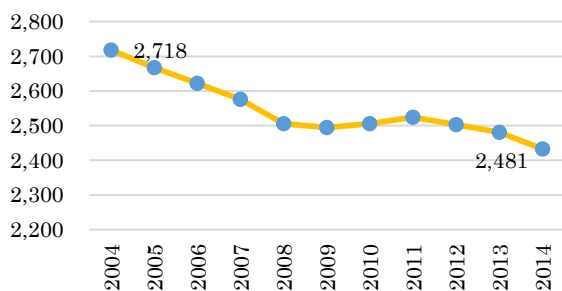
図表 5 歳階級別人口動態 (単位: 人)



5. 町勢概要

②清水小学校区

図表 過去10年間の人口推移



清水小学校区では、平成17年度（2005年度）の人口は2,718人、平成25年度（2013年度）では2,481人。人口で237人減少約9%の減少率です。

5歳階級別人口では、平成27年度（2015年度）、男性で、60～64歳、女性で55～59歳が多い状況です。

コーホート分析では、25～34歳の各年齢層・50～54歳の年齢層が増加、他の年齢層は減少しています。

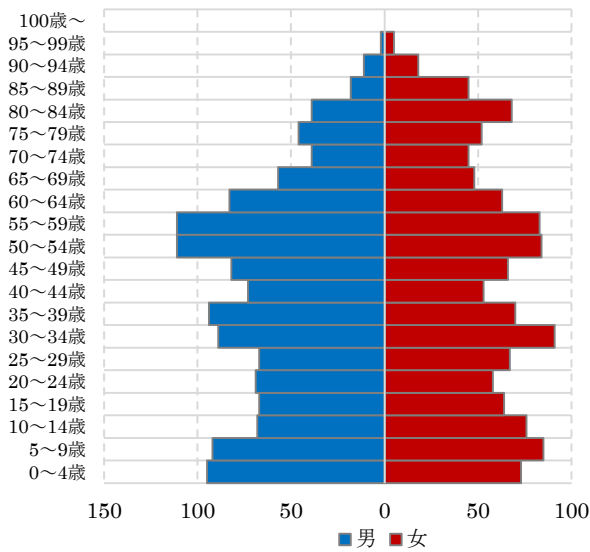
図表 5歳階級別男女別人口

	(H22.9 末時点)			(H27.9 末時点)			コーホート 増減	3階級 増減
	男	女	総数	男	女	総数		
0～4歳	95	73	168	84	64	148		
5～9歳	92	85	177	87	68	155	-13	-16
10～14歳	68	76	144	87	83	170	-7	
15～19歳	67	64	131	66	63	129	-15	
20～24歳	69	58	127	51	40	91	-40	
25～29歳	67	67	134	80	68	148	21	
30～34歳	89	91	180	85	72	157	23	
35～39歳	94	70	164	88	79	167	-13	
40～44歳	73	53	126	86	69	155	-9	-53
45～49歳	82	66	148	80	46	126	0	
50～54歳	111	84	195	81	75	156	8	
55～59歳	111	83	194	101	81	182	-13	
60～64歳	83	63	146	106	75	181	-13	
65～69歳	57	48	105	74	60	134	-12	
70～74歳	39	45	84	49	48	97	-8	
75～79歳	46	52	98	36	39	75	-9	
80～84歳	39	68	107	33	46	79	-19	23
85～89歳	18	45	63	28	51	79	-28	
90～94歳	11	18	29	10	30	40	-23	
95～99歳	2	5	7	6	6	12	-17	
100歳～	0	0	0	0	0	0	-7	
総数	1313	1,214	2,527	1318	1,163	2,481	-	-46

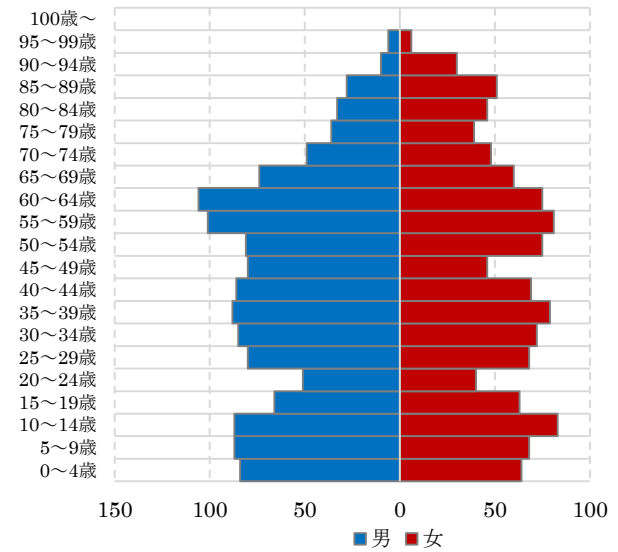
出典：「年齢別男女別人口調」（久米島町）

5. 町勢概要

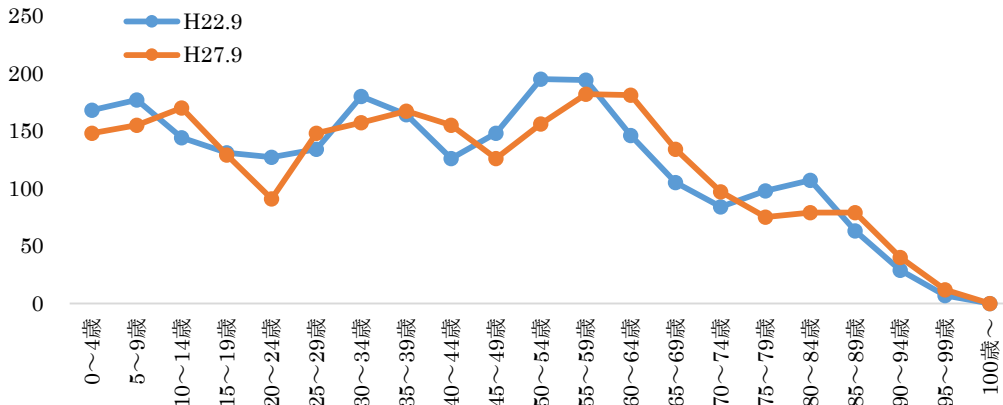
図表 平成 22 年 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



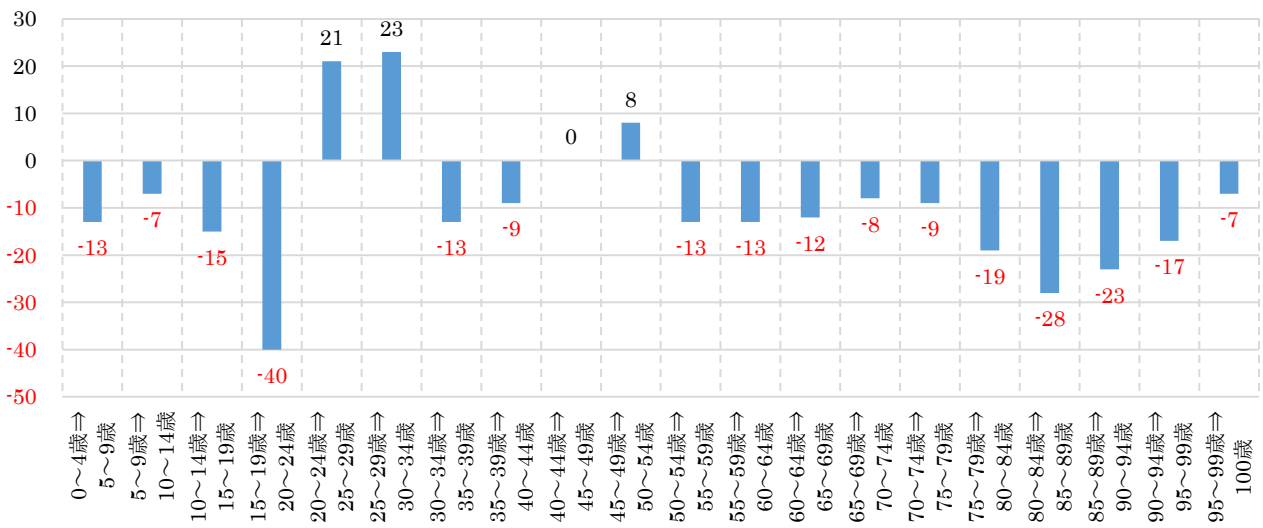
図表 平成 27 年 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)



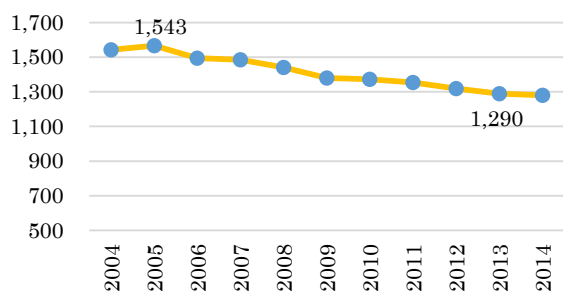
図表 5 歳階級別人口動態 (単位: 人)



5. 町勢概要

③久米島小学校区

図表 過去10年間の人口推移



久米島小学校区では、平成17年度（2005年度）の人口は1,543人、平成25年度（2013年度）では1,290人。人口で253人減少、約17%の減少率です。

5歳階級別人口では、平成27年度（2015年度）、男性で55～59歳、女性で50～59歳が多い状況です。

コーホート分析では、25～29歳・50～69歳の各年齢層が増加、他の年齢層は減少しています。

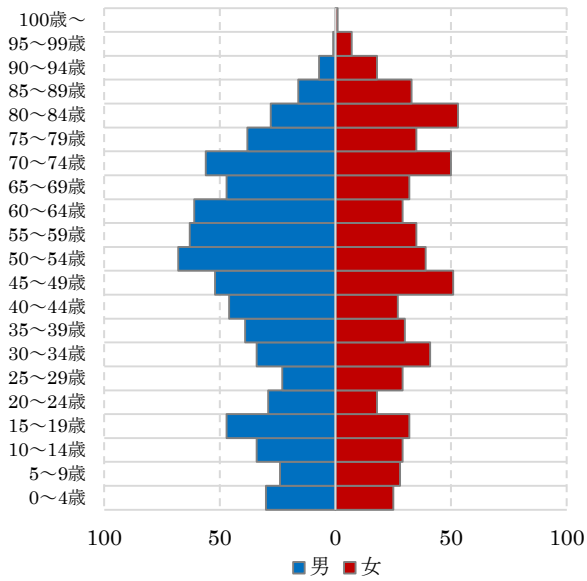
図表 5歳階級別男女別人口

	(H22.9 末時点)			(H27.9 末時点)			コーホート 増減	3階級 増減
	男	女	総数	男	女	総数		
0～4歳	30	25	55	30	19	49		
5～9歳	24	28	52	26	20	46	-9	-28
10～14歳	34	29	63	23	24	47	-5	
15～19歳	47	32	79	29	24	53	-10	
20～24歳	29	18	47	20	29	49	-30	
25～29歳	23	29	52	26	29	55	8	
30～34歳	34	41	75	22	24	46	-6	
35～39歳	39	30	69	26	35	61	-14	
40～44歳	46	27	73	29	23	52	-17	
45～49歳	52	51	103	41	23	64	-9	
50～54歳	68	39	107	60	47	107	4	
55～59歳	63	35	98	65	47	112	5	
60～64歳	61	29	90	64	39	103	5	
65～69歳	47	32	79	63	32	95	5	
70～74歳	56	50	106	42	32	74	-5	
75～79歳	38	35	73	48	46	94	-12	
80～84歳	28	53	81	27	35	62	-11	
85～89歳	16	33	49	16	43	59	-22	
90～94歳	7	18	25	11	22	33	-16	
95～99歳	1	7	8	2	13	15	-10	
100歳-	0	1	1	1	1	2	-7	
総数	743	642	1,385	671	607	1,278	-	-107

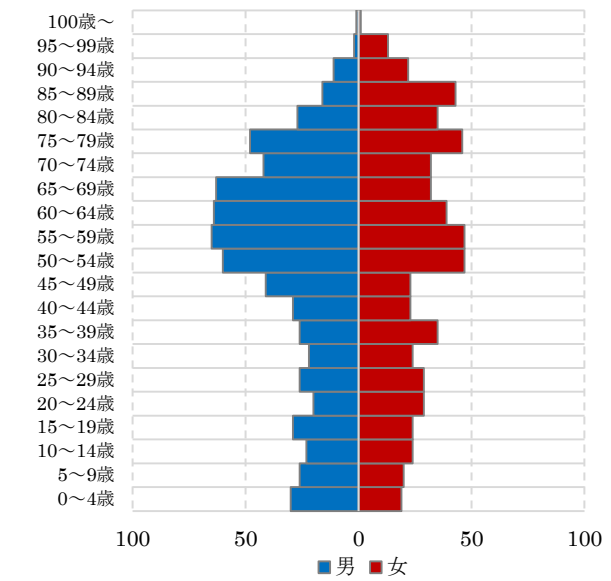
出典：「年齢別男女別人口調」（久米島町）

5. 町勢概要

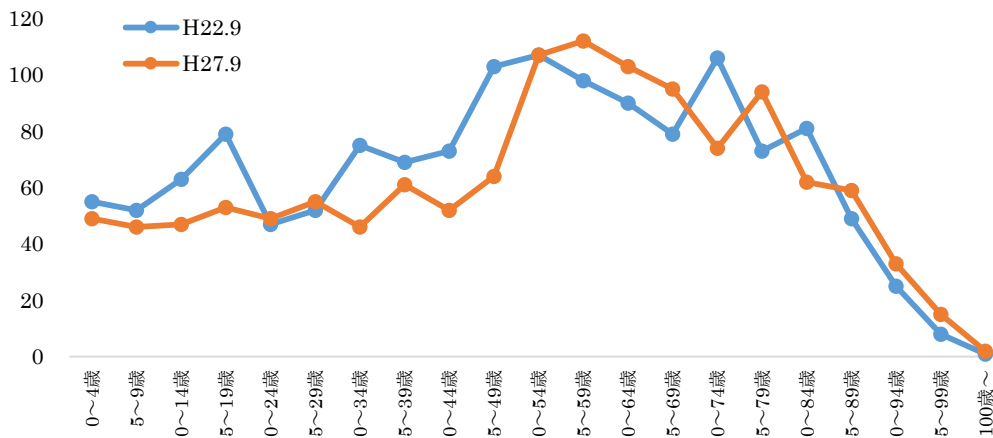
図表 平成 22 年 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



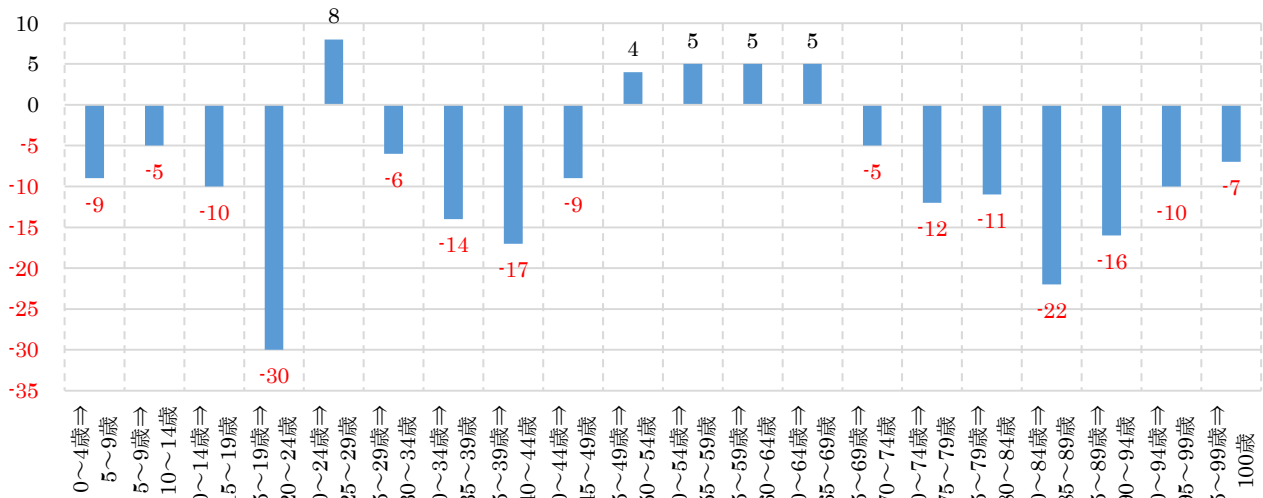
図表 平成 27 年 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)



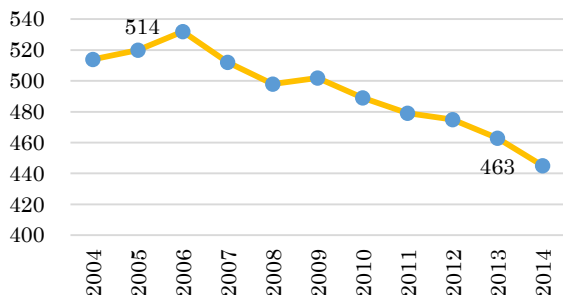
図表 5 歳階級別人口動態 (単位: 人)



5. 町勢概要

④比屋定小学校区

図表 過去10年間の比屋定小学校区別人口推移



比屋定小学校区では、平成17年度（2005年度）の人口は514人、平成25年度（2013年度）では463人。人口で51人減少、約10%の減少率です。

5歳階級別人口では、平成27年度（2015年度）、男女とも60～64歳が多い状況です。

コーホート分析では、5～9歳・15～24歳の各年齢層・60～69歳の年齢層が増加、他の年齢層は減少しています。

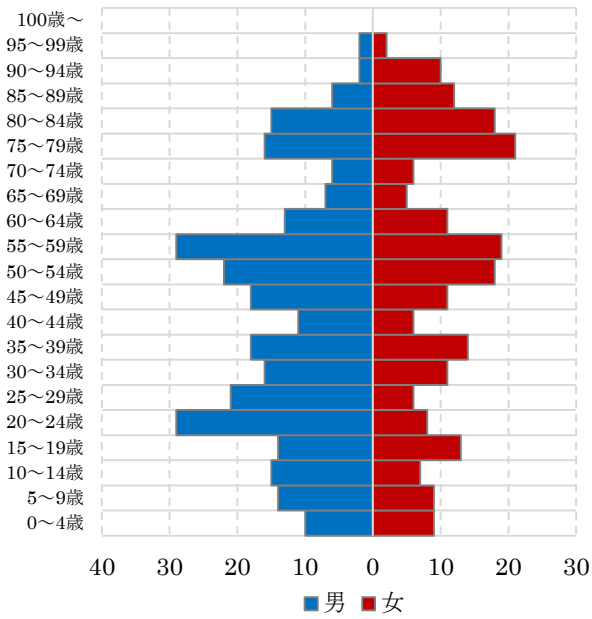
図表 5歳階級別男女別人口

	(H22.9 末時点)			(H27.9 末時点)			コーホート 増減	3階級 増減
	男	女	総数	男	女	総数		
0～4歳	20	18	38	17	25	42		
5～9歳	30	24	54	27	21	48	1	-14
10～14歳	36	35	71	22	22	44	-5	
15～19歳	24	26	50	32	35	67	4	
20～24歳	27	24	51	15	19	34	2	
25～29歳	19	14	33	16	15	31	-9	
30～34歳	23	21	44	20	14	34	-4	
35～39歳	30	23	53	25	25	50	-5	
40～44歳	29	17	46	28	19	47	-5	
45～49歳	52	44	96	25	17	42	-1	
50～54歳	40	38	78	48	40	88	-2	
55～59歳	75	45	120	41	38	79	-1	
60～64歳	48	25	73	70	45	115	3	
65～69歳	31	16	47	42	28	70	2	
70～74歳	23	26	49	24	15	39	-1	
75～79歳	29	40	69	19	25	44	-1	
80～84歳	25	39	64	24	36	60	-3	
85～89歳	11	28	39	23	34	57	-10	
90～94歳	6	10	16	6	17	23	-7	
95～99歳	4	6	10	2	6	8	-9	
100歳-	0	0	0	0	2	2	-4	
総数	582	519	1,101	526	498	1,024	-	-43

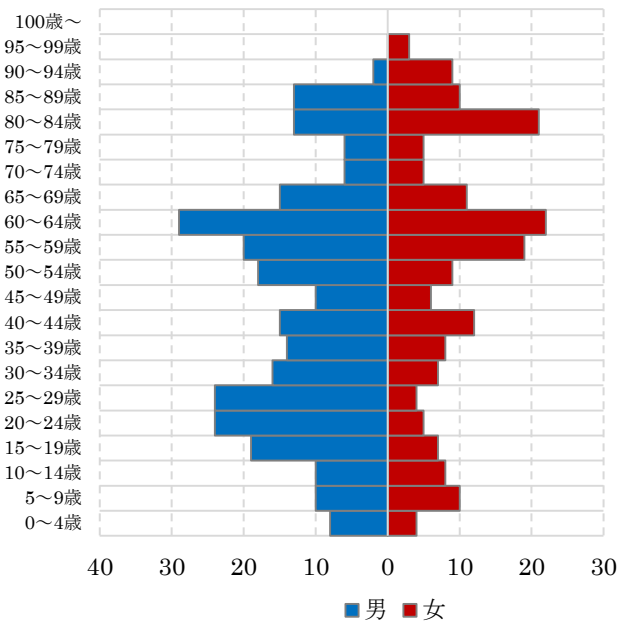
出典：「年齢別男女別人口調」（久米島町）

5. 町勢概要

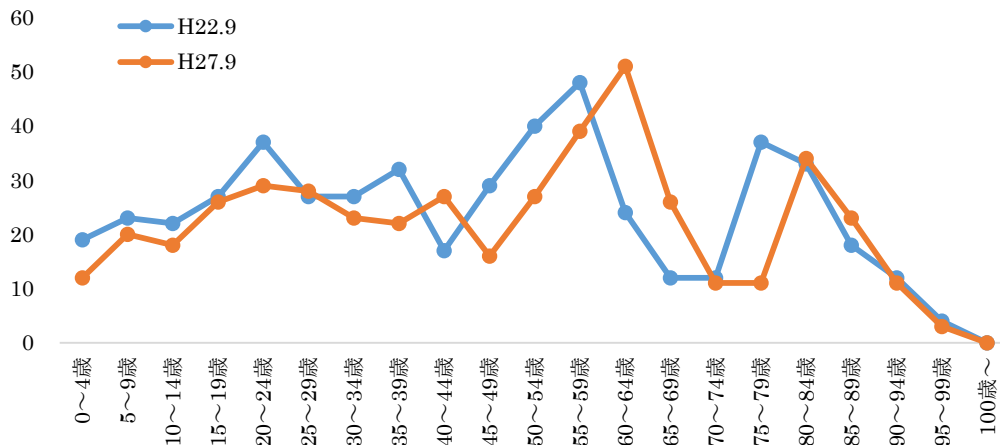
図表 平成 22 年 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



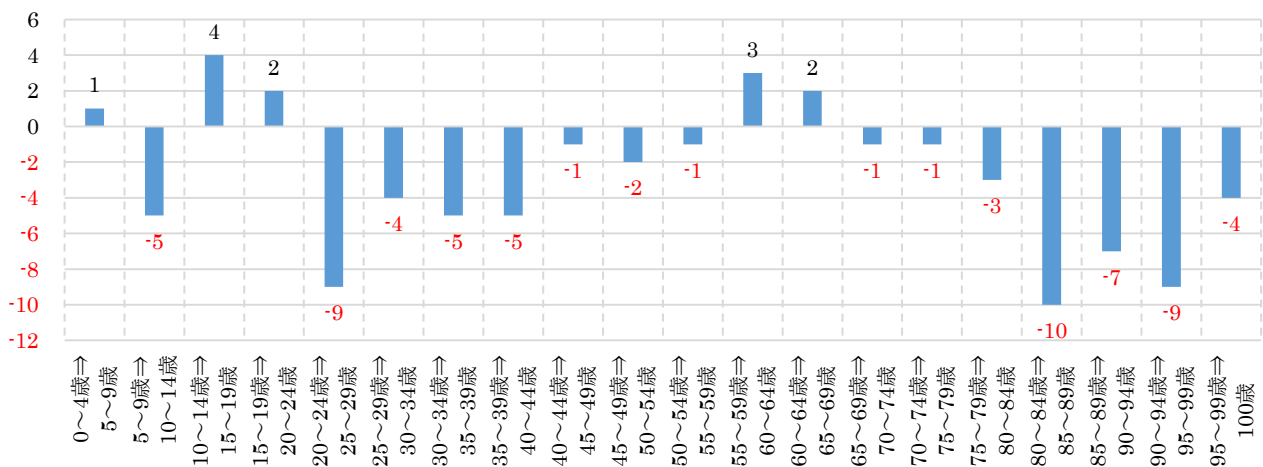
図表 平成 27 年 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)



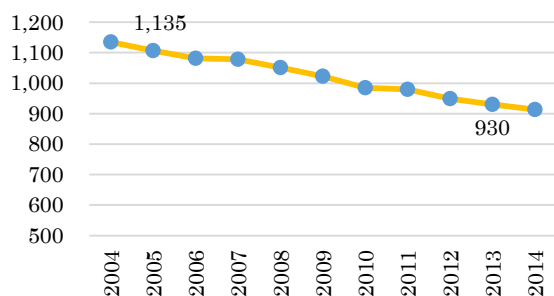
図表 5 歳階級別人口動態 (単位: 人)



5. 町勢概要

⑤美崎小学校区

図表 過去10年間の美崎校区別人口推移



美崎小学校区では、平成17年度（2003年度）の人口は1,135人、平成25年度（2013年度）では930人。人口で205人減少、約19%の減少率です。

5歳階級別人口では、平成27年度（2015年度）、男性では55～59歳、女性では60～64歳が多い状況です。

コーホート分析では、5～14歳の各年齢層・30～34歳・50～54歳・65～69歳の年齢層が増加、他の年齢層は減少しています。

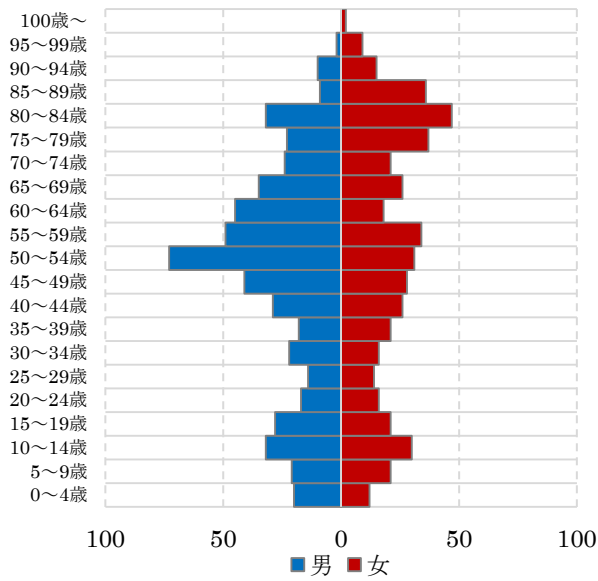
図表 5歳階級別男女別人口

	(H22.9 末時点)			(H27.9 末時点)			コーホート 増減	3階級 増減
	男	女	総数	男	女	総数		
0～4歳	20	12	32	12	23	35		
5～9歳	21	21	42	23	12	35	3	-23
10～14歳	32	30	62	19	24	43	1	
15～19歳	28	21	49	25	27	52	-10	
20～24歳	17	16	33	8	8	16	-33	
25～29歳	14	14	28	16	14	30	-3	
30～34歳	22	16	38	21	16	37	9	
35～39歳	18	21	39	14	19	33	-5	
40～44歳	29	26	55	18	24	42	3	-46
45～49歳	41	28	69	29	23	52	-3	
50～54歳	73	31	104	45	27	72	3	
55～59歳	49	34	83	71	28	99	-5	
60～64歳	45	18	63	46	36	82	-1	
65～69歳	35	26	61	46	21	67	4	
70～74歳	24	21	45	33	25	58	-3	
75～79歳	23	37	60	15	16	31	-14	
80～84歳	32	47	79	18	28	46	-14	
85～89歳	9	36	45	18	35	53	-26	
90～94歳	10	15	25	2	22	24	-21	
95～99歳	2	9	11	5	3	8	-17	
100歳一	0	2	2	0	2	2	-11	
総数	544	481	1,025	484	433	917	—	-108

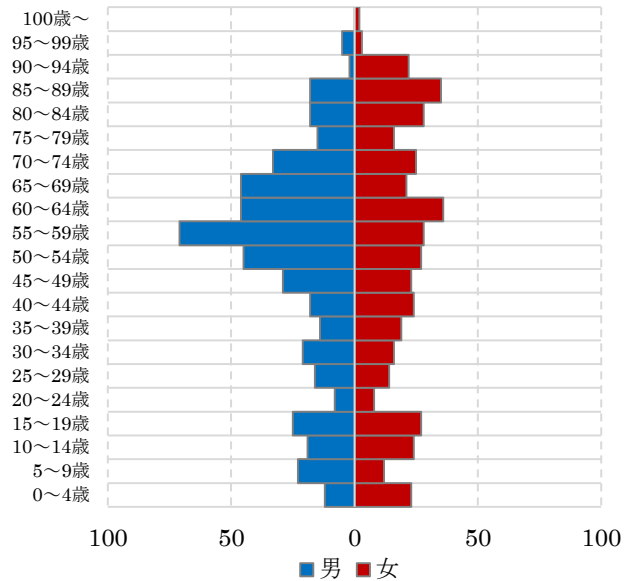
出典：「年齢別男女別人口調」（久米島町）

5. 町勢概要

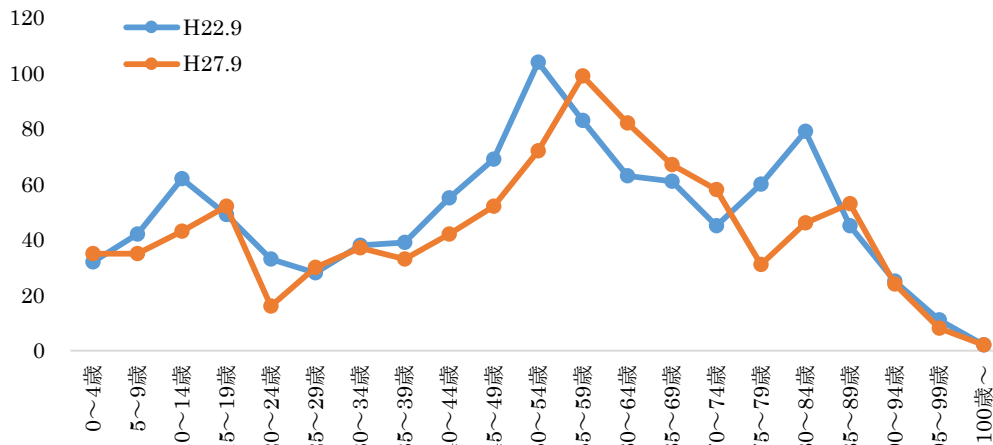
図表 平成 22 年 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



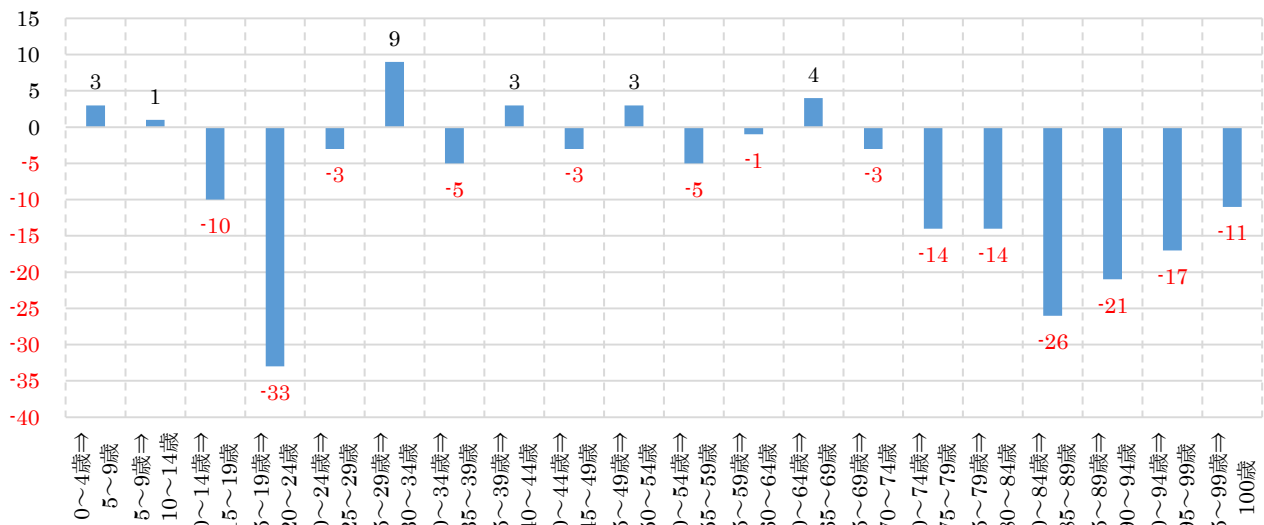
図表 平成 27 年 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)



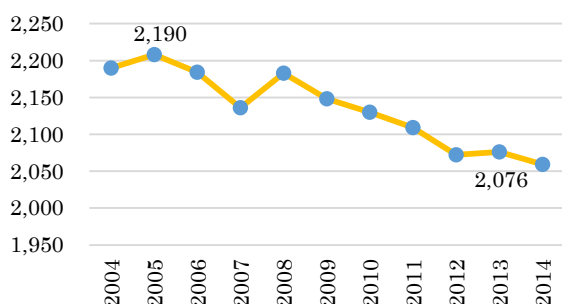
図表 5 歳階級別人口動態 (単位: 人)



5. 町勢概要

⑥仲里小学校区

図表 過去10年間の仲里校区別人口推移



仲里小学校区では、平成17年度（2005年度）の人口は2,190人、平成25年度（2013年度）では2,076人。人口で114人減少、約6%の減少率です。

5歳階級別人口では、平成27年度（2015年度）、男女とも60～64歳が多い状況です。

コーホート分析では、5～84歳の各年齢層が増加、他の年齢層は減少しています。

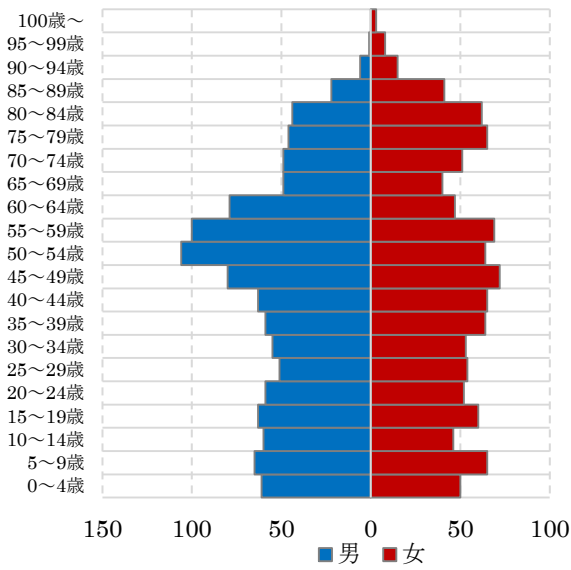
図表 5歳階級別男女別人口

	(H22.9 末時点)			(H27.9 末時点)			コーホート 増減	3階級 増減
	男	女	総数	男	女	総数		
0～4歳	20	18	38	17	25	42		
5～9歳	30	24	54	27	21	48	68	187
10～14歳	36	35	71	22	22	44	68	
15～19歳	24	26	50	32	35	67	41	
20～24歳	27	24	51	15	19	34	41	
25～29歳	19	14	33	16	15	31	78	
30～34歳	23	21	44	20	14	34	78	
35～39歳	30	23	53	25	25	50	85	
40～44歳	29	17	46	28	19	47	80	
45～49歳	52	44	96	25	17	42	80	
50～54歳	40	38	78	48	40	88	77	
55～59歳	75	45	120	41	38	79	62	
60～64歳	48	25	73	70	45	115	76	
65～69歳	31	16	47	42	28	70	58	
70～74歳	23	26	49	24	15	39	15	
75～79歳	29	40	69	19	25	44	42	
80～84歳	25	39	64	24	36	60	31	
85～89歳	11	28	39	23	34	57	-4	
90～94歳	6	10	16	6	17	23	-8	
95～99歳	4	6	10	2	6	8	-15	
100歳-	0	0	0	0	2	2	-12	
総数	582	519	1,101	526	498	1,024	-	1,054

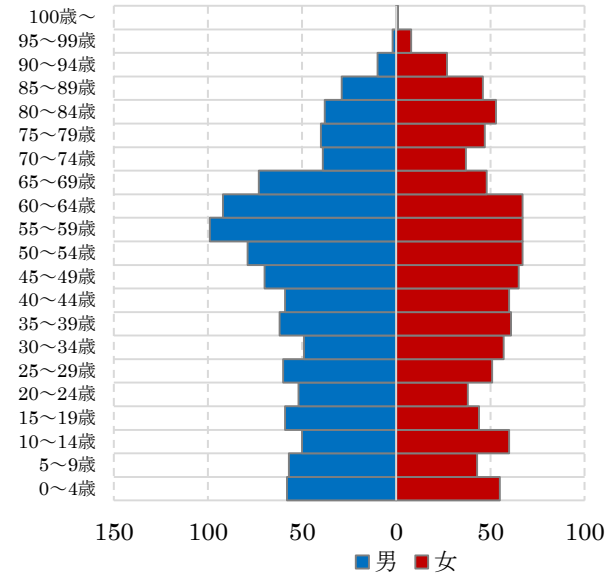
出典：「年齢別男女別人口調」（久米島町）

5. 町勢概要

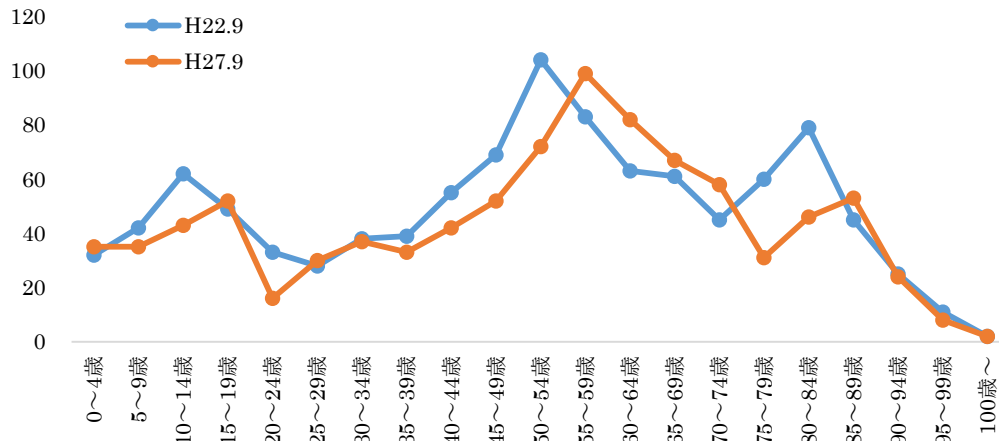
図表 平成 22 年 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



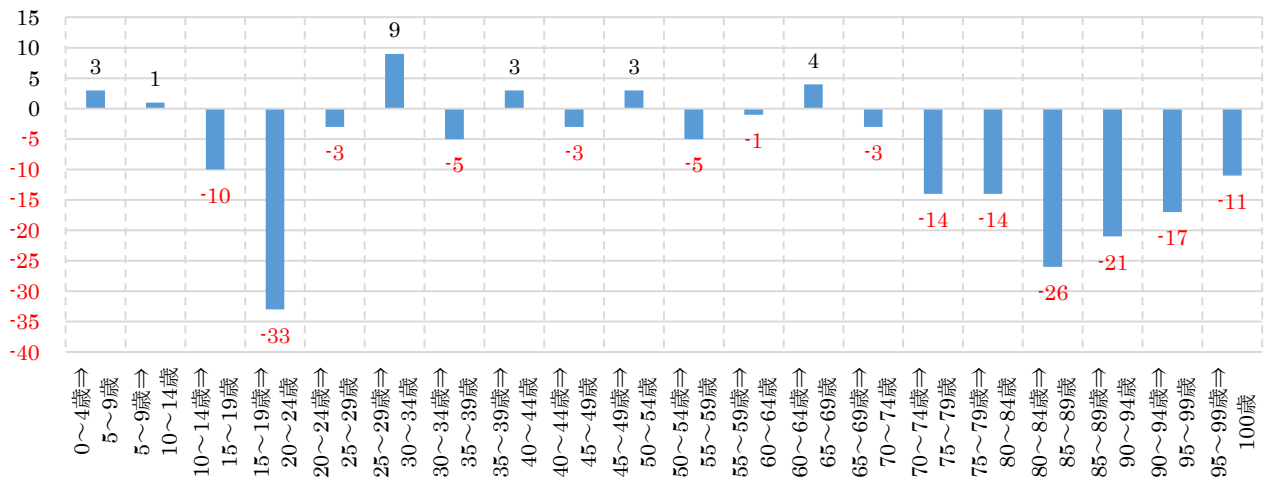
図表 平成 27 年 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)



図表 5 歳階級別人口動態 (単位: 人)



5. 町勢概要

人口が最も多い校区は、清水小学校区で平成 25 年度 2,481 人であり、逆に一番少ない校区は、比屋定小学校区で 463 人(平成 25 年度)です。

また、減少率が一番高いのは、美崎小学校区で 19%、一番減少率が低いのは、仲里小学校区の 6%です。6 小学校区のうち 4 小学校区が、10～20%の減少率を示しており、人口減少の状況にあります。

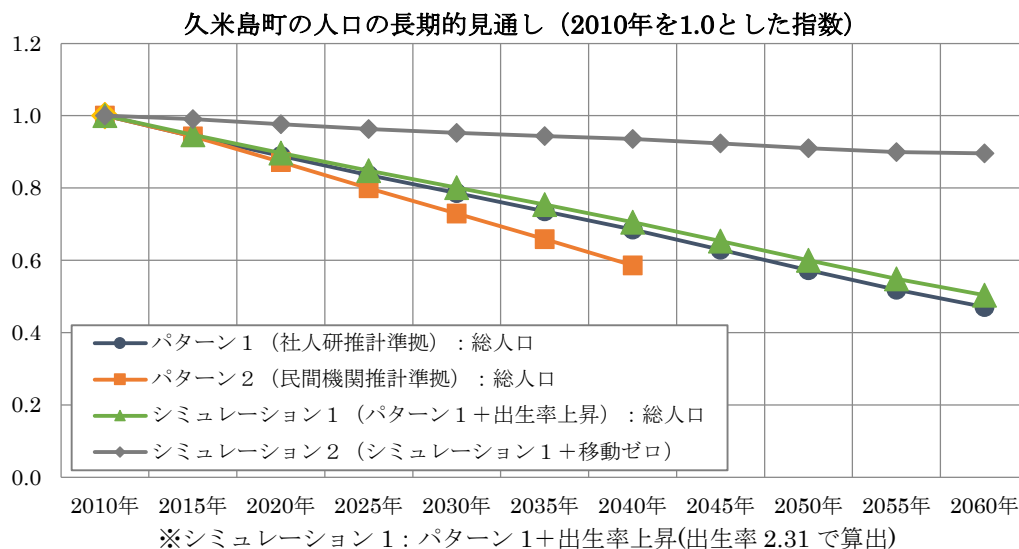
(5) 将来人口の見込み

2010年を1.0とした場合、国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）および民間機関の比較できる2040年には、0.68(社人研)・0.58(民間機関)と大幅な人口減少になります。

出生率を2.31で算出した場合のシミュレーションでも、社人研推計では0.70(2040年)と、30年間に3割減少という結果が出ています。

シミュレーション2によって、移動(転出)ゼロでも、社人研推計で0.93(2040年)と減少傾向にあります。

図表 久米島町の人口の長期的見通し（2010年を1.0とした指数）



出典：国立社会保障・人口問題研究所

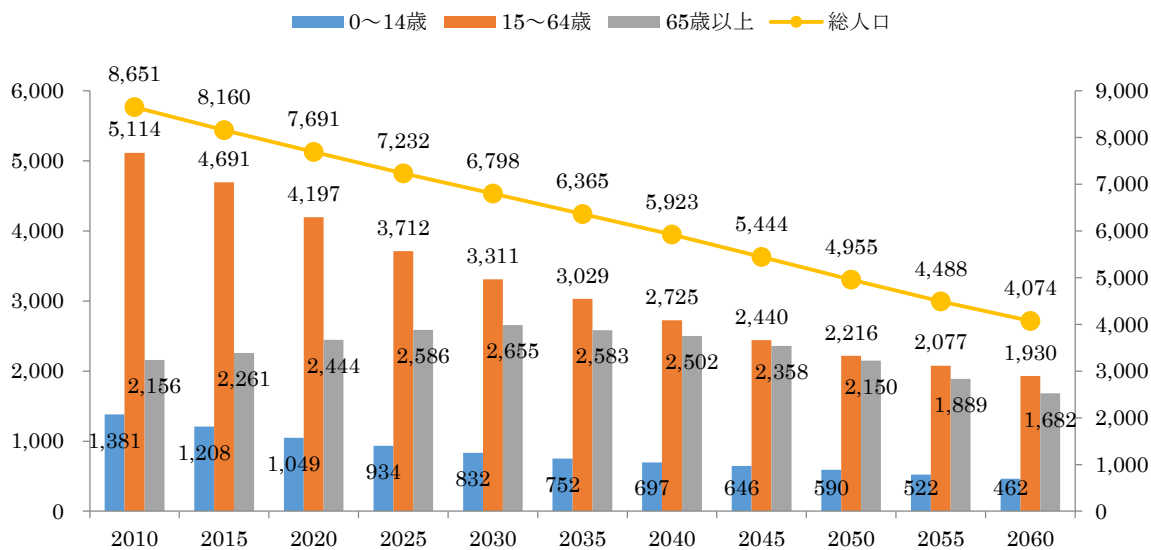
年代別見通しでも、

- ・0～14歳(年少人口)は、2010年を1.0とした場合、2040年には0.49と約51%減少します。
- ・15～64歳(生産年齢人口)は、2010年を1.0とした場合、2040年には0.53と約47%減少します。
- ・65歳以上(老年人口)は、2010年を1.0とした場合、2040年には1.14と約14%増加します。
- ・75歳以上は、2010年を1.0とした場合、2040年には1.23と約23%増加します。

次ページのように、0歳から64歳までの減少率が非常に高く、相対的に65歳以上の人口比率が高くなる少子高齢化時代を表しています。

5. 町勢概要

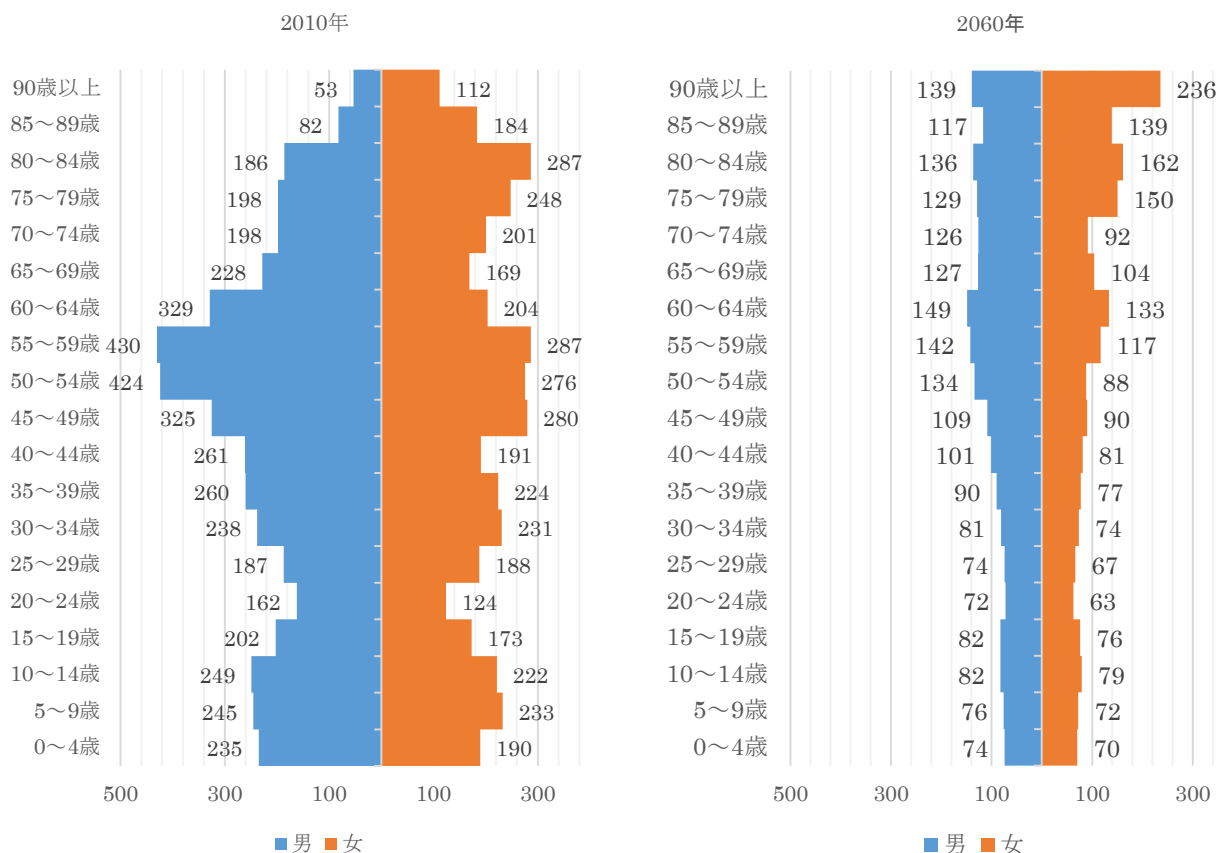
図表 人口の長期的見通し（年代別）



出典：「住民基本台帳年報」を基に作成（久米島町町民課）

2010年と50年後の2060年での人口ピラミッドを比較してみると、下図のようになります。2060年には、現状のままでいくと逆ピラミッドに近い年齢構成になる状況です。

図表 5歳階級別人口比較（2010年・2060年）



出典：国立社会保障・人口問題研究所

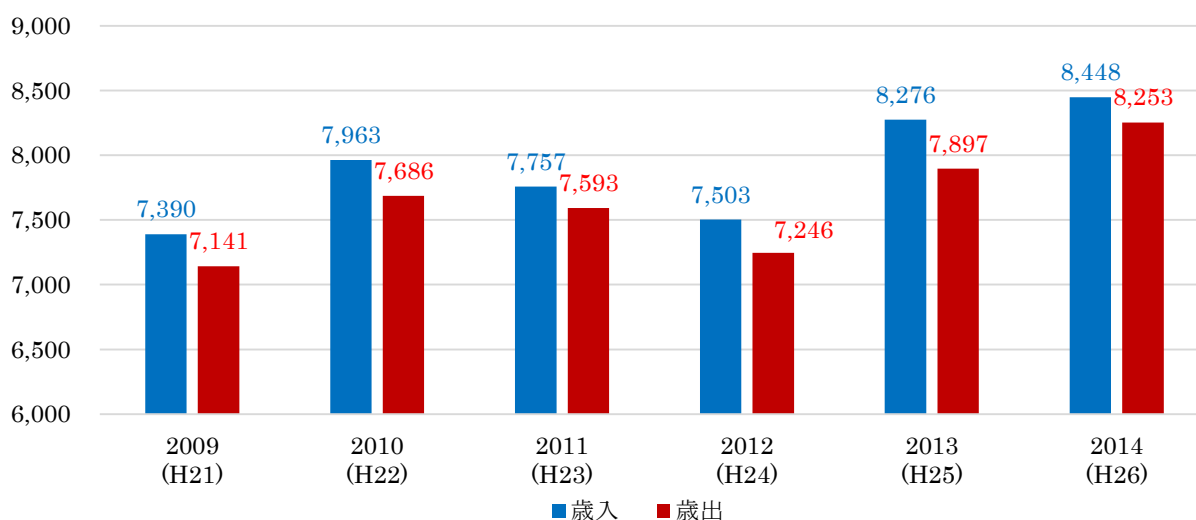
8. 財政・行政運営

(1) 歳入・歳出

平成 26 年度（2014 年度）の一般会計決算における歳入と歳出の状況では、歳入が 84 億 48 百万円、歳出が 82 億 53 百万円となっており、「沖縄振興特別推進交付金」の影響を受け県支出金が増加しております。

平成 26 年度（2014 年度）の歳入の内訳は地方交付税が 41.6%と最も多く、以下、県支出金が 24.9%、国庫支出金が 7.6%となっています。これを自主財源（地方税、繰越金、繰入金、諸収入等）と依存財源（地方交付税、地方債、国庫支出金、県支出金、地方消費税交付金等）に分類すると、自主財源が 16.4%、依存財源が 83.6%となり、依存財源の占める割合が高くなっています。地方交付税の縮減・見直しなどもあり、自主財源の確保をさらに推し進める必要があります。

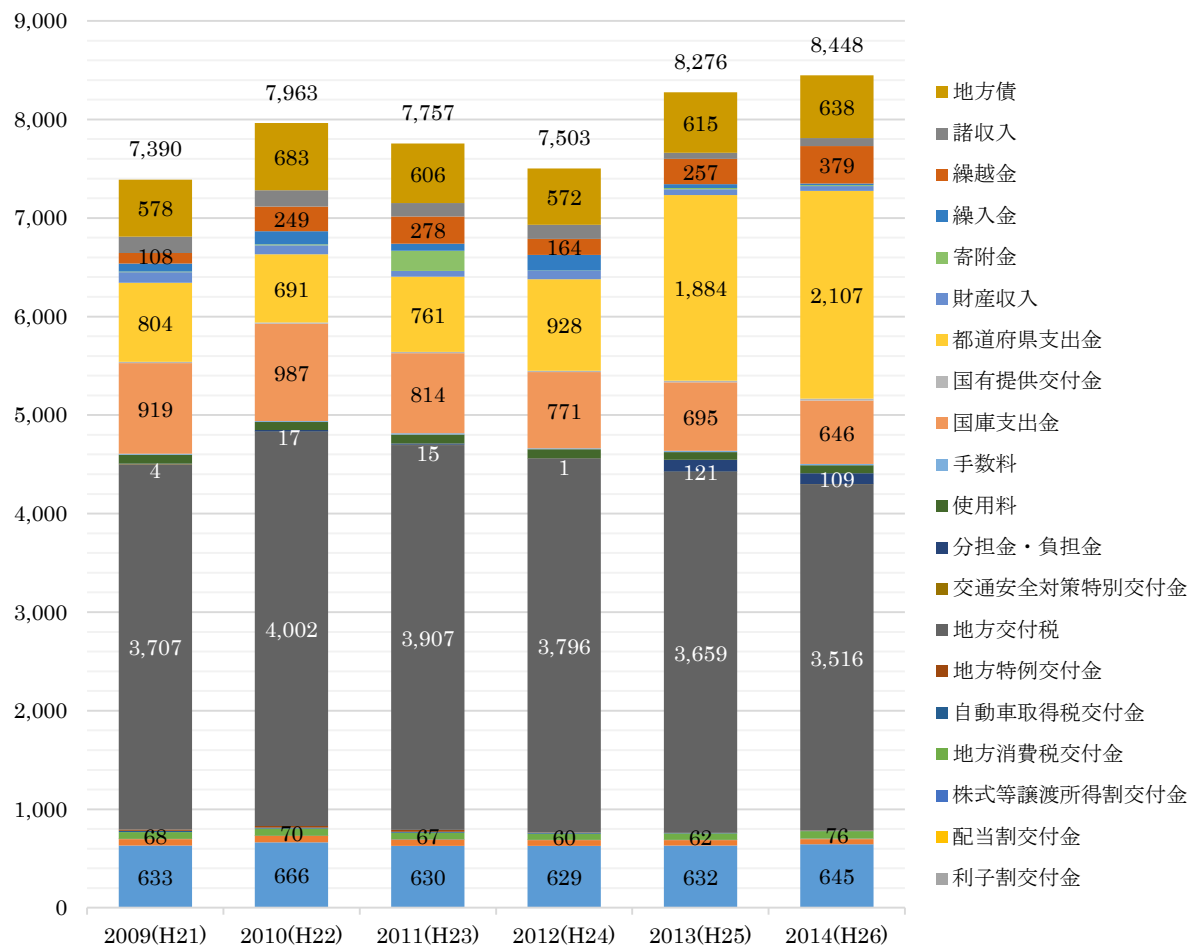
図表 一般会計決算状況（歳入、歳出の推移）（単位：百万円）



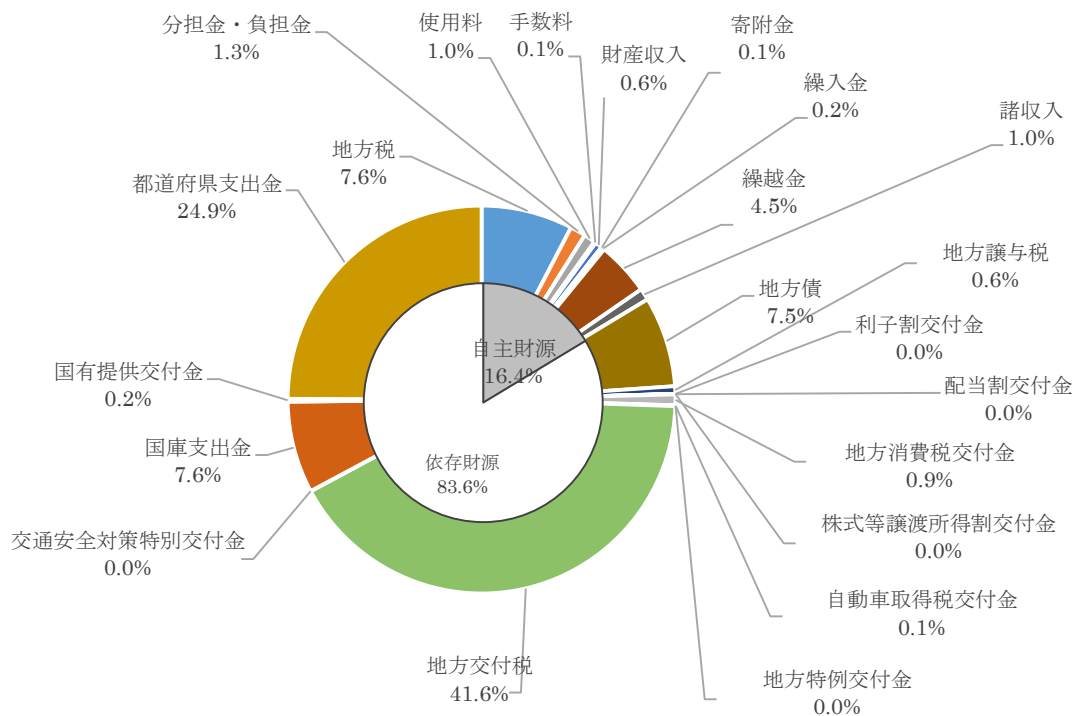
出典：「決算状況（H21～H26年度）」（久米島町）

5. 町勢概要

図表 一般会計歳入の内訳 (単位：百万円)



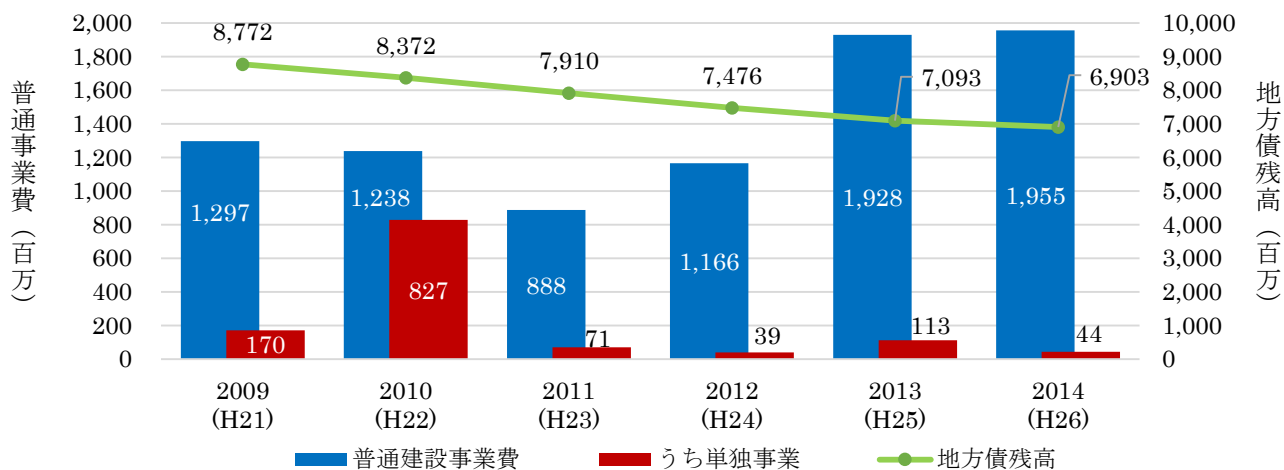
図表 平成 26 年度の歳入構成比



(2) 普通建設事業費・地方債残高の推移

一般会計における普通建設事業費は、平成26年度（2014年度）で19億55百万円となっており、平成25年度以降大きく増加しています。

図表 普通建設事業費・地方債残高の推移（単位：百万円）



出展：決算状況

5. 町勢概要

(3) 公会計

平成23年度(2011年度)より取組んでいる公会計(基準モデル:複式簿記)の数字を経年比較しました。

① 貸借対照表

下記の図表より、平成23年度からの4年間の推移を見てみると、金融資産は少しずつ増えている状況です。固定資産は微減の状況です。総資産(資産合計)は平成26年度で508億20百万円と微減という状況です。資産内に占める金融資産の割合が平成23年度では7.9%、平成24年度では8.4%、平成25年度では8.5%、平成26年度では8.9%と全国平均の10.0%に達していない状況にあり、今後の固定資産更新や新規建設時での補助金依存や地方債発行の増加につながるものと考えられます。

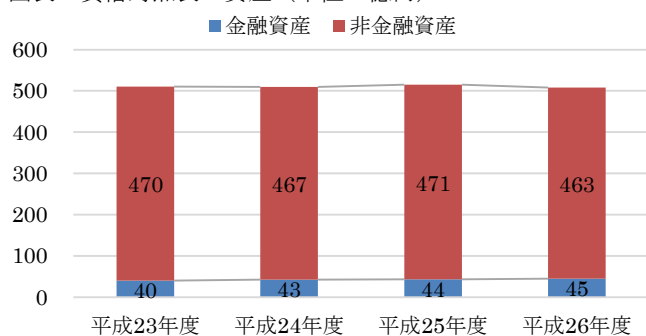
また、負債を見てみると、少しずつ減ってきていますが、平成26年度には前年度から増加に転じ、資産状況と同じく、今後の固定資産更新や新規建設時での地方債発行の増加につながるものと考えられます。

図表 貸借対照表経年比較(単位:千円)

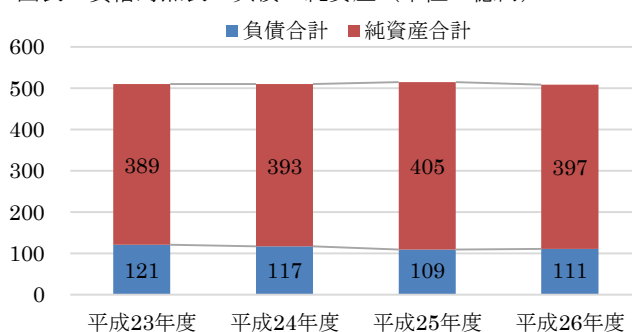
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	伸び率	
						H23→H26	H25→H26
資産	金融資産	4,016,826 7.9%	4,261,726 8.4%	4,357,013 8.5%	4,542,244 8.9%	13.1%	4.3%
	固定資産	47,014,545 92.1%	46,737,229 91.6%	47,119,007 91.5%	46,278,107 91.1%	▲1.6%	▲1.8%
資産合計		51,031,371 100.0%	50,998,956 100.0%	51,476,021 100.0%	50,820,350 100.0%	▲0.4%	▲1.3%
負債		12,095,906 23.7%	11,684,014 22.9%	10,940,036 21.3%	11,133,071 21.9%	▲8.0%	1.8%
純資産		38,935,466 76.3%	39,314,941 77.1%	40,535,985 78.7%	39,687,279 78.1%	1.9%	▲2.1%
負債・純資産合計		51,031,371 100.0%	50,998,956 100.0%	51,476,021 100.0%	50,820,350 100.0%	▲0.4%	▲1.3%

出展:久米島町公会計経年比較表

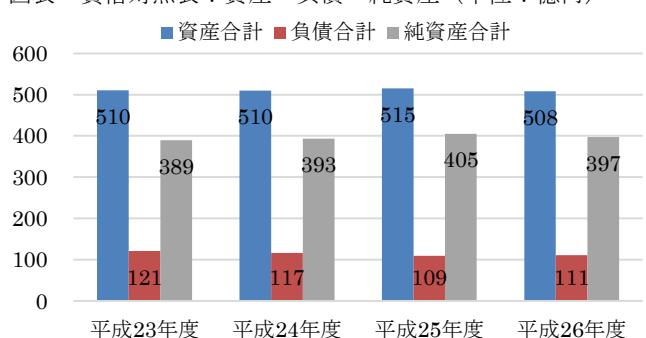
図表 貸借対照表:資産(単位:億円)



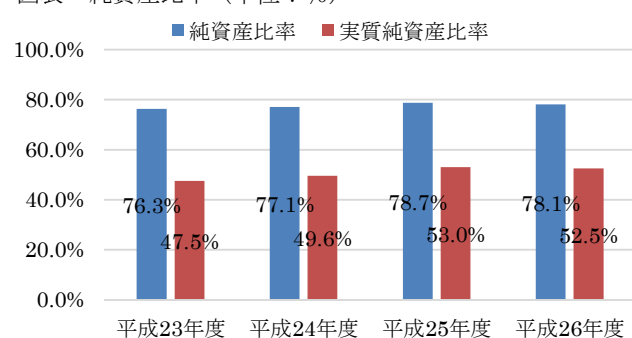
図表 貸借対照表:負債・純資産(単位:億円)



図表 貸借対照表:資産・負債・純資産(単位:億円)



図表 純資産比率(単位:%)



5. 町勢概要

次に主な勘定科目を見てみると、資金は平成 26 年度で 5 億 68 百万円と、平成 25 年度まで増加していましたが平成 26 年度は減少しています。次に基金・積立金は、今後の固定資産更新や新規建設時の負担を考えるとまだまだ足りない状況ですが、毎年増加している状況にあります。

固定資産の中身を事業用資産とインフラ資産に分けて見ると、事業用資産はあまり変わっていません。つまり、減った分増やしているという状況です。インフラ資産は、平成 24 年度に一旦減少しましたが、平成 25 年度は増加、平成 26 年度は減少している状況です。インフラ資産は、今後定期的に更新をおこなっていかねばならない重要な資産であるため、増え過ぎると反って財政負担を強いられる場合があります。

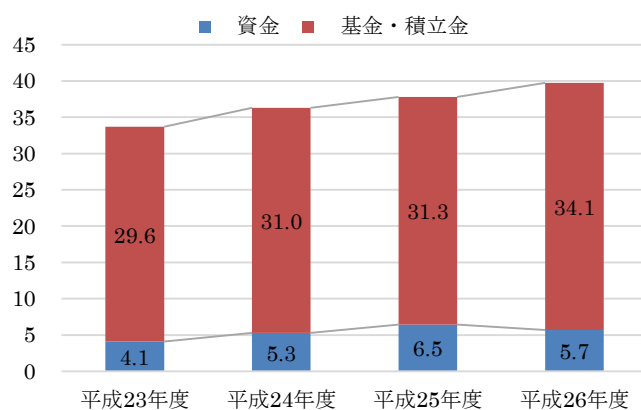
地方債は、毎年少しずつ減少していますが、元々資金力がないため今後の固定資産更新や新規建設時の負担を補助金や地方債に頼るしかない状況です。

図表 主な勘定科目の増減 (単位：千円)

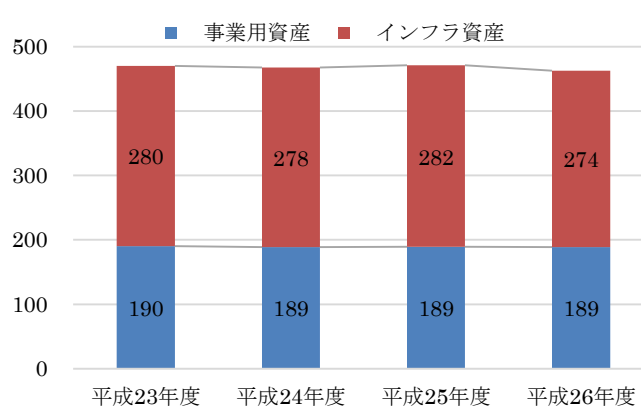
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	伸び率	
						H23→H26	H25→H26
金融資産	資金	410,505 12.2%	528,447 14.6%	645,647 17.1%	568,285 14.3%	38.4%	▲12.0%
	基金・積立金	2,959,280 87.8%	3,102,302 84.5%	3,132,174 82.9%	3,406,767 85.7%	15.1%	8.8%
固定資産	事業用資産	19,036,737 40.5%	18,899,214 40.4%	18,905,097 40.1%	18,881,483 40.8%	▲0.8%	▲0.1%
	インフラ資産	27,977,807 59.5%	27,838,016 59.6%	28,213,910 59.9%	27,396,624 59.2%	▲2.1%	▲2.9%
負債	地方債	10,279,965	9,707,458	9,253,111	8,972,443	▲14.6%	▲3.1%
	退職給付引当金	1,668,877	1,786,551	1,503,206	1,205,414	▲27.8%	▲19.8%

出展：久米島町公会計経年比較表

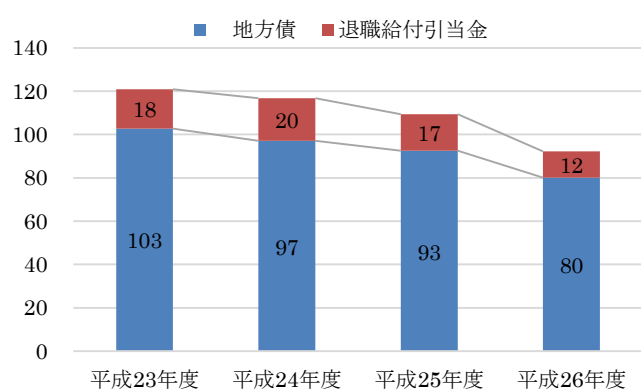
図表 貸借対照表：金融資産 (単位：億円)



図表 貸借対照表：非金融資産 (単位：億円)



図表 貸借対照表：負債 (単位：億円)



5. 町勢概要

② 行政コスト計算書

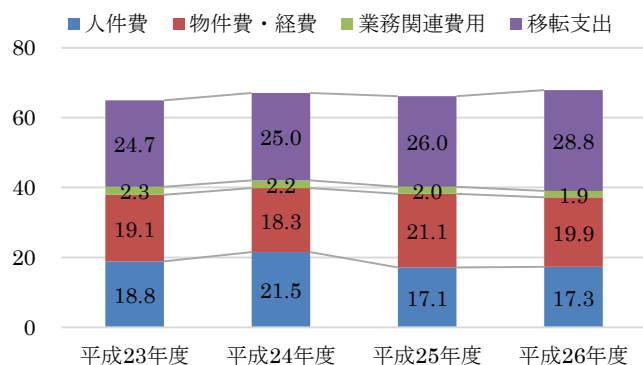
次に行政コスト計算書です。下図より、行政サービスを行うにあたり掛かった費用（経常費用という）を「人件費（議員・職員、およびパート・アルバイトに支払った給与）」・「物件費・経費（維持管理費や減価償却費等を含む）」・「業務関連費用（公債の利払い等）」「移転支出（他の団体等に出した補助金や扶助費等）」を見ていくと「人件費」は平均約30%。「物件費・経費」は年々増加傾向にあります。経常収益に関しては、毎年5億6千万円程度で推移しています。

図表 行政コスト計算書（単位：千円）

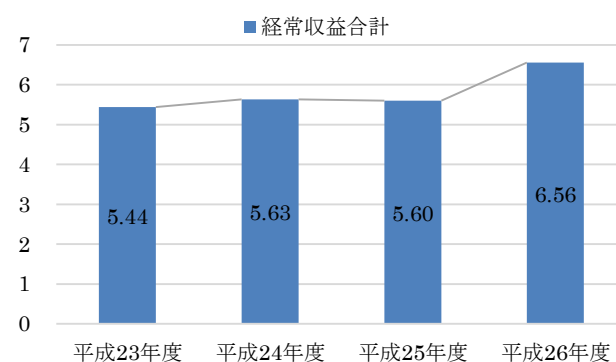
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	伸び率		
						H23→H26	H25→H26	
経常費用	人件費	1,881,674 29.0%	2,147,927 32.0%	1,714,986 25.9%	1,730,569 25.5%	▲8.0%	0.9%	
	物件費・経費	消耗品費	248,026	240,567	211,120	176,818	▲28.7%	▲16.2%
		減価償却費	627,565	645,212	657,562	662,466	5.6%	0.7%
		維持補修費	182,208	159,033	241,539	158,243	▲13.2%	▲34.5%
		その他物件費	173,499	168,673	169,037	166,749	▲3.9%	▲1.4%
		委託費	478,437	407,611	631,644	642,921	34.4%	1.8%
		その他経費	200,562	213,336	198,391	183,588	▲8.5%	▲7.5%
	小計	1,910,298 29.4%	1,834,432 27.3%	2,109,293 31.9%	1,990,786 29.3%	▲8.0%	0.9%	
	業務関連費用	229,383 3.5%	224,380 3.3%	200,505 3.0%	185,609 2.7%	▲19.1%	▲7.4%	
	移転支出	2,473,604 38.1%	2,503,836 37.3%	2,597,010 39.2%	2,884,541 42.5%	16.6%	11.1%	
経常費用合計	6,494,959	6,710,575	6,621,795	6,791,506	4.6%	2.6%		
経常収益合計	543,822	563,452	559,903	655,545	20.5%	17.1%		
純経常行政コスト	5,951,137	6,147,123	6,061,892	6,135,960	3.1%	1.2%		

出展：久米島町公会計経年比較表

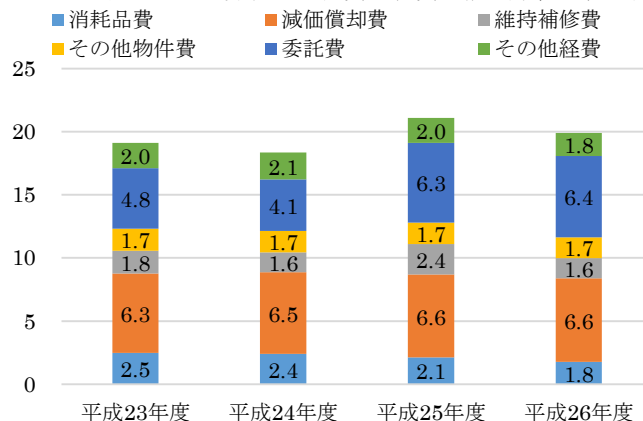
図表 行政コスト計算書：経常費用（単位：億円）



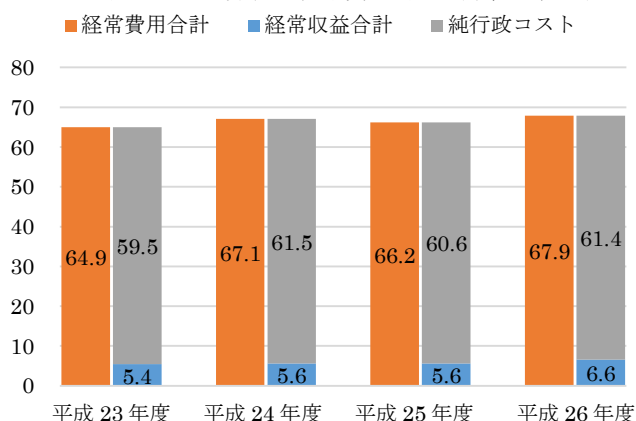
図表 行政コスト計算書：経常収益（単位：億円）



図表 行政コスト計算書：物件費・経費内訳（単位：億円）



図表 行政コスト計算書：経常費用合計（単位：億円）



5. 町勢概要

③ 純資産変動計算書

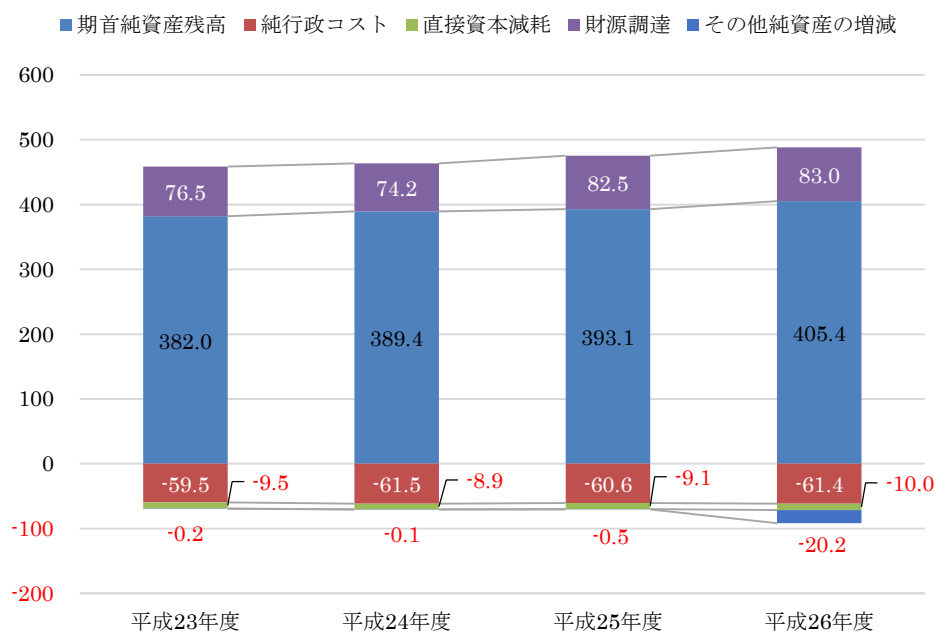
次に純資産変動計算書を見ていきます。特に見て頂きたい点は「財源の調達」です。「財源の調達」には「税金」・「社会保険料」・「補助金等」・「その他の移転収入」があります。この4つの財源は、平成24年度は一旦下がりますが、平成25年度、26年度には増加しています。各年度で見た場合「補助金」の「財源調達」に占める割合が、80.0%を優に超えており、ほとんどが補助金で賄われていることとなります。この補助金体質を少しでも改善していかなければいけない状況にあります。

図表 純資産変動計算書（単位：千円）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	伸び率	
					H23→H26	H25→H26
期首純資産残高	38,204,696	38,935,466	39,314,941	40,535,985	6.1%	3.1%
純経常行政費用	▲5,951,137	▲6,147,123	▲6,061,892	▲6,135,960	3.1%	1.2%
直接資本減耗	▲950,771	▲887,110	▲908,742	▲997,323	4.9%	9.7%
財源調達	7,651,682	7,422,675	8,246,576	8,301,571	8.5%	0.7%
その他純資産の残高	▲19,004	▲8,967	▲54,898	▲2,016,994	10,513.5%	3,574.1%
期末純資産残高	38,935,466	39,314,941	40,535,985	39,687,279	1.9%	▲2.1%

出展：久米島町公会計経年比較表

図表 純資産変動計算書（単位：億円）



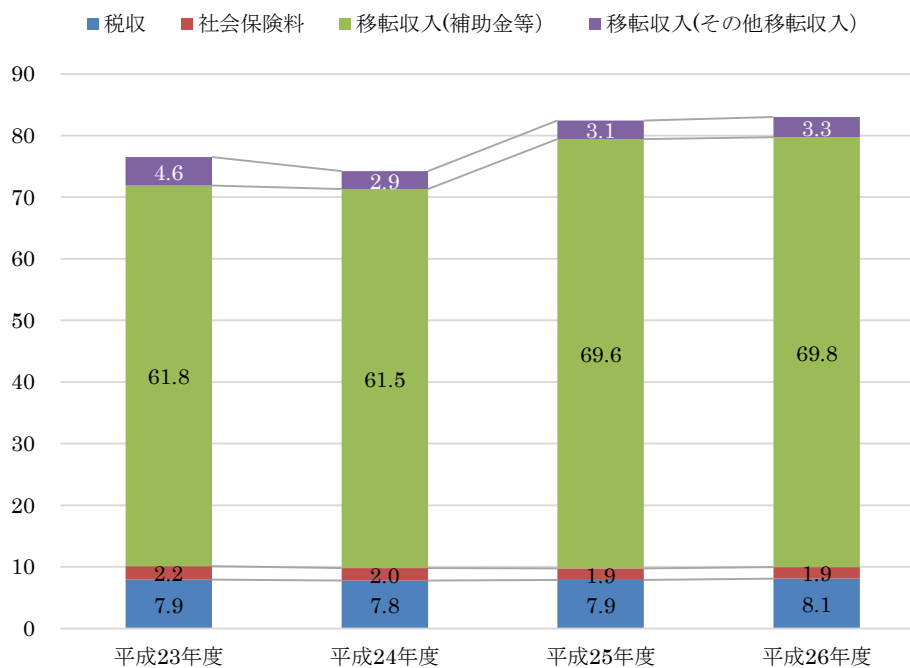
5. 町勢概要

図表 主な財源調達の変動（単位：千円）

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	伸び率	
					H23→H26	H25→H26
財源調達	7,651,682 100.0%	7,422,675 100.0%	8,246,576 100.0%	8,301,571 100.0%	8.5%	0.7%
税金	791,994 10.4%	778,389 10.5%	789,416 9.6%	807,093 9.7%	1.9%	2.2%
社会保険料	218,088 2.9%	202,629 2.7%	186,729 2.3%	185,529 2.2%	▲14.9%	▲0.6%
補助金等	6,176,795 80.7%	6,149,180 82.8%	6,964,769 84.5%	6,980,269 84.1%	13.0%	0.2%
その他移転収入	464,805 6.1%	292,477 3.9%	305,662 3.7%	328,680 4.0%	▲29.3%	7.5%

出展：久米島町公会計経年比較表

図表 財源内訳（単位：億円）



5. 町勢概要

④ 資金収支計算書

最後に資金収支計算書です。基礎的財政収支（プライマリーバランス）は毎年黒字で推移しています。これは、公債に頼らない財政運営を示しており良い傾向と言えるでしょう。しかし、現在は「沖縄振興特別推進交付金」による補助金が財政運営上大きな役割を担っているため、公債発行を抑えて公債償還を行っている状況ですが、いずれ国・県からの交付金や補助金が減額になると公債発行額が増加し、手元資金を圧迫していくものと考えられます。

図表 資金収支計算書（単位：千円）

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	伸び率	
					H23→H26	H25→H26
経常的収支	2,424,663	2,207,117	2,775,416	2,662,445	9.8%	▲4.1%
資本的収支	▲1,658,688	▲1,335,410	▲2,031,715	▲2,305,168	39.0%	13.5%
基礎的財政収支	765,975	871,707	743,701	357,277	▲53.4%	▲52.0%
財務的収支	▲877,813	▲753,764	▲626,501	▲434,639	▲50.5%	▲30.6%
当期収支	▲111,839	117,942	117,200	▲77,362	▲30.8%	▲166.0%
期首資金残高	522,344	410,505	528,447	645,647	23.6%	22.2%
期末資金残高	410,505	528,447	645,647	568,285	38.4%	▲12.0%

出展：久米島町公会計経年比較表

用語説明

- 貸借対照表とは・・・久米島町の財政状況が一目でわかる資料です。
 - ・資産とは・・・現在までの世代が積み上げてきた金融資産（基金等）や固定資産（建物・道路・水道施設など）です。
 - ・負債とは・・・将来世代が負担する地方債などです。
 - ・純資産とは・・・現在までの世代が負担した、返済の必要がない正味の資産です。
- 行政コスト計算書とは・・・行政サービス提供に要したコスト（費用）と町民の方々に負担していただいたコスト（収益）を明らかにしたものです。
- 純資産変動計算書とは・・・貸借対照表の純資産の変動を明らかにしたものです。特に財源調達では、どこから資金を調達してきたのかがわかります。
- 資金収支計算書とは・・・一年間のお金の流れを把握することができる資料です。

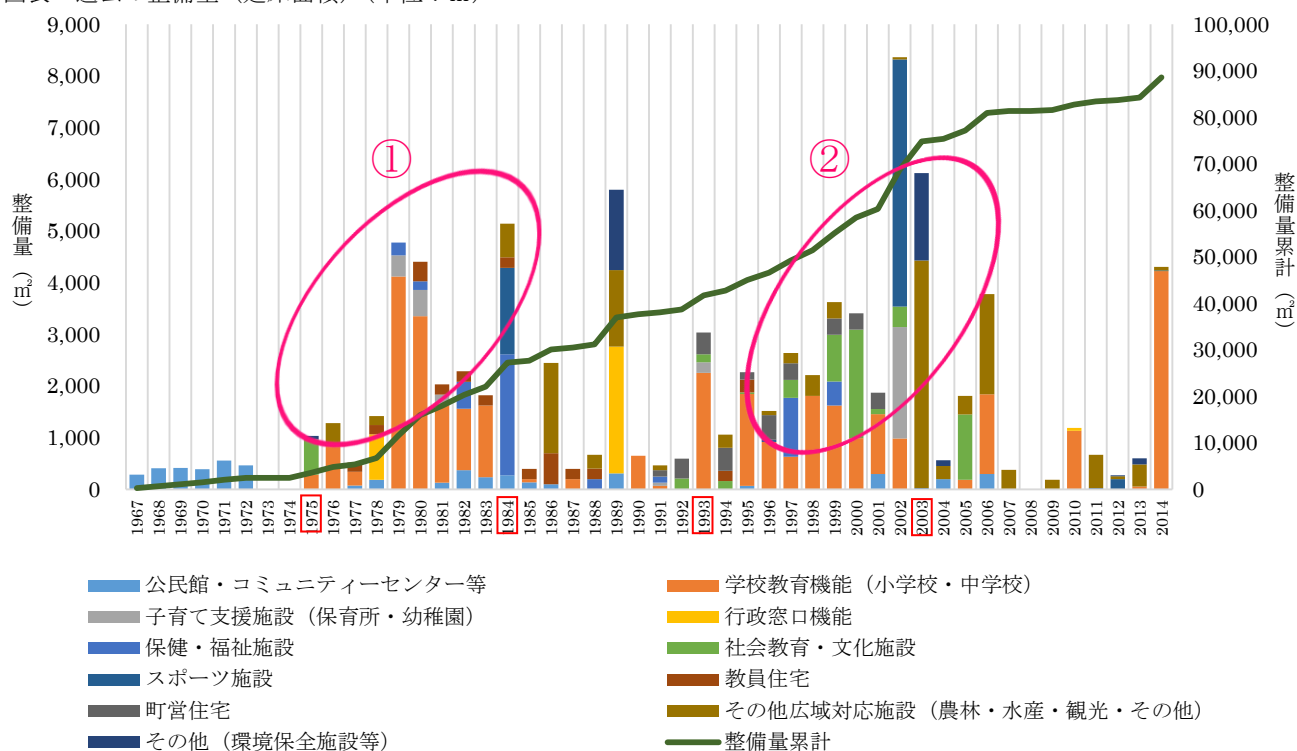
6. 公共施設等の現状と分析

1. 公共建築物

(1) 過去の整備量（延床面積）

過去の整備量（延床面積）は、全体で約 8.9 万㎡です。整備のピークはグラフ内に示しているとおり第 1 回目のピークが、1975 年から 1984 年の 10 年間です。第 2 のピークが 1993 年から 2003 年の約 10 年間となっています。第 1 回目のピーク時の施設は、築後 30 年から 39 年ほど経っており建替えの検討に入るべき施設群です。第 2 のピークは、築後 10 年から 19 年ほど経っています。

図表 過去の整備量（延床面積）（単位：㎡）



6. 公共施設等の現状と分析

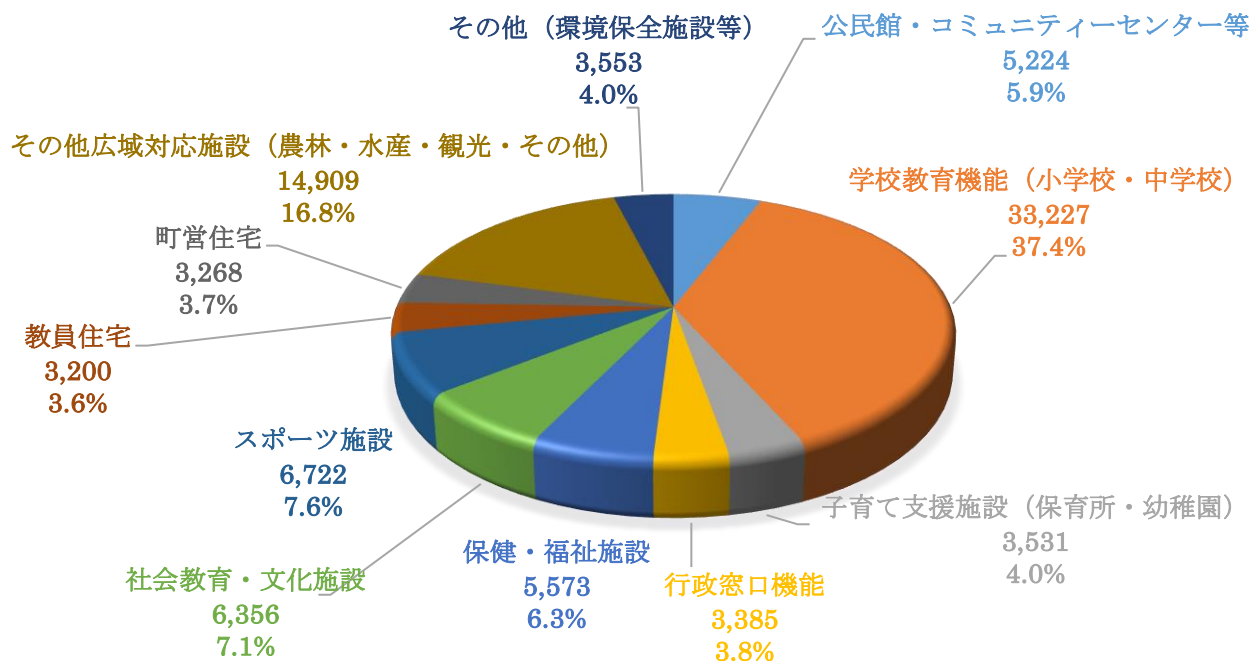
図表 過去の整備量（延床面積）（単位：㎡）

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	累計
	公民館 コミュニティ センター等	学校教育 機能	子育て支援 施設	行政窓口 機能	保健・ 福祉施設	社会教育・ 文化施設	スポーツ施設	教員住宅	町営住宅	その他 広域対応施設	その他 (環境保全 施設等)	
1967	284	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	284
1968	412	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	696
1969	415	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,111
1970	394	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,505
1971	560	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,065
1972	464	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,529
1973	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,529
1974	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,529
1975	0	284	0	0	370	686	0	0	0	0	65	3,933
1976	0	846	0	0	0	0	0	0	0	440	0	5,219
1977	76	266	0	0	0	0	0	180	0	0	0	5,741
1978	185	0	0	884	0	0	0	180	0	171	0	7,162
1979	0	4,122	406	0	251	0	0	0	0	0	0	11,941
1980	0	3,353	507	0	165	0	0	380	0	0	0	16,346
1981	135	1,494	205	0	0	0	0	200	0	0	0	18,380
1982	373	1,186	0	0	525	0	0	200	0	0	0	20,664
1983	237	1,385	0	0	0	0	0	200	0	0	0	22,486
1984	274	0	0	0	2,339	0	1,678	202	0	650	0	27,628
1985	136	62	0	0	0	0	0	200	0	0	0	28,026
1986	98	0	0	0	0	0	0	604	0	1,746	0	30,474
1987	0	200	0	0	0	0	0	200	0	0	0	30,874
1988	0	0	0	0	200	0	0	202	0	269	0	31,546
1989	312	0	0	2,451	0	0	0	0	0	1,476	1,555	37,340
1990	0	651	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37,991
1991	0	70	59	0	120	0	0	0	125	93	0	38,458
1992	0	0	0	0	0	211	0	0	385	0	0	39,054
1993	0	2,257	203	0	0	158	0	0	416	0	0	42,088
1994	0	0	0	0	0	160	0	202	445	256	0	43,151
1995	71	1,776	0	0	0	30	0	250	143	0	0	45,421
1996	0	919	0	0	0	0	0	0	477	122	0	46,939
1997	0	632	0	0	1,138	348	0	0	321	202	0	49,580
1998	0	1,810	0	0	0	0	0	0	0	400	0	51,790
1999	0	1,625	0	0	465	901	0	0	321	312	0	55,413
2000	0	994	0	0	0	2,096	0	0	319	0	0	58,822
2001	300	1,155	0	0	0	100	0	0	315	0	0	60,692
2002	0	989	2,151	0	0	397	4,782	0	0	44	0	69,054
2003	0	0	0	0	0	0	29	0	0	4,400	1,689	75,172
2004	200	0	0	0	0	0	0	0	0	253	113	75,738
2005	0	185	0	0	0	1,268	0	0	0	360	0	77,551
2006	299	1,544	0	0	0	0	0	0	0	1,938	0	81,333
2007	0	0	0	0	0	0	0	0	0	380	0	81,713
2008	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81,713
2009	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186	0	81,898
2010	0	1,138	0	50	0	0	0	0	0	0	0	83,086
2011	0	0	0	0	0	0	25	0	0	648	0	83,759
2012	0	0	0	0	0	0	198	0	0	60	13	84,031
2013	0	59	0	0	0	0	0	0	0	427	119	84,636
2014	0	4,225	0	0	0	1	10	0	0	70	0	88,941

(2) 機能別延床面積

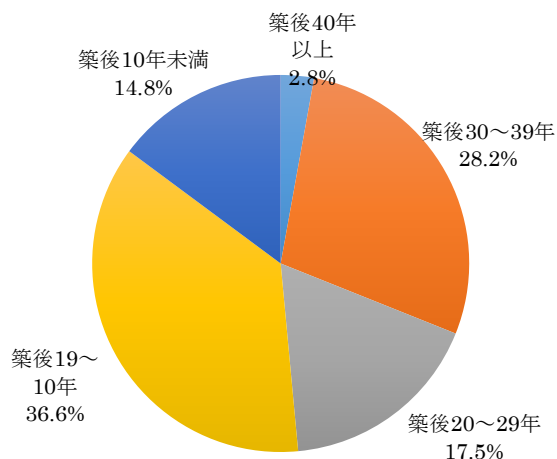
総延床面積：8.9 万㎡に対して、各々の機能別施設の割合は、学校教育機能(小学校・中学校)が 37.4%と一番高く、次にその他広域施設(農林・水産・観光・その他)で 16.8%になっています。

図表 機能別延床面積 (㎡)



機能別施設	延床面積	比率
01 公民館コミュニティーセンター等	5,224 ㎡	5.9%
02 学校教育機能	33,227 ㎡	37.4%
03 子育て支援施設	3,531 ㎡	4.0%
04 行政窓口機能	3,385 ㎡	3.8%
05 保健・福祉施設	5,573 ㎡	6.3%
06 社会教育・文化施設	6,356 ㎡	7.1%
07 スポーツ施設	6,722 ㎡	7.6%
08 教員住宅	3,200 ㎡	3.6%
09 町営住宅	3,268 ㎡	3.7%
10 その他広域対応施設	14,909 ㎡	16.8%
11 その他 (環境保全施設等)	3,553 ㎡	4.0%
合計	88,948 ㎡	100.0%

図表 建築後年数による割合



過去の全体の整備量(延床面積)は、約 8.9 万㎡です。建築後年数による割合は、

- ・ 築後 40 年以上は、約 2.8%
- ・ 築後 30~39 年は、約 28.2%
- ・ 築後 20~29 年は、約 17.5%
- ・ 築後 10~19 年は、約 36.6%
- ・ 築後 10 年未満は、約 14.8%

となっており、築後 20 年以上の施設が約 48%以上となっています。

全体の整備量(延床面積)を人口で割った一人あたりの整備量は、10.9 ㎡となっています。

6. 公共施設等の現状と分析

(3) 施設老朽化の現状と課題

①地域対応施設の現状と課題

- ・公民館・コミュニティーセンター等は、約7割以上が更新検討施設(老朽化比率：60%以上)です。
- ・子育て支援施設(保育所・幼稚園)は、幼稚園8園中5園が更新検討施設(老朽化比率：60%以上)です。
- ・上記の内容から、地域対応施設の4割以上は更新検討施設(老朽化比率：60%以上)であり、老朽化が進んでいる状況です。

②広域対応施設の現状と課題

- ・行政窓口機能は、具志川庁舎が更新検討施設(老朽化比率：60%以上)です。
- ・保健・福祉施設は、診療所・歯科診療所が特に古く(老朽化比率：80%以上)、早急な対応が必要です。
- ・社会教育・文化施設は、西銘保育所跡 訓練所が老朽化比率100%に達しているため、早急な対応が必要です。
- ・スポーツ施設・公園は、プロ野球のキャンプ地等でもあるため、老朽化比率が低い状況です。
- ・教員住宅は、約6割以上(13施設中8施設)が更新検討施設(老朽化比率：60%以上)です。
- ・町営住宅は、全ての施設において老朽化比率が低い状況です。
- ・その他(環境保全施設等)は、火葬場が更新検討施設(老朽化比率：60%以上)で、その他は低い状況です。
- ・上記の内容から、公民館・コミュニティーセンター等、診療所・歯科診療所等の老朽化比率が高いため、早急な対応が必要です。

図表 施設老朽化比率

地域対応施設		件数	80%以上	60%以上	40%以上	20%以上	20%未満	平均比率
01	公民館・コミュニティーセンター等	29	12	10	3	2	2	68.5%
02	学校教育機能(小学校・中学校)	8			6	2		47.5%
03	子育て支援施設(保育園・幼稚園)	8		5	2	1		58.2%
地域対応施設合計		45	12	15	11	5	2	
地域対応内での比率			26.7%	33.3%	24.4%	11.1%	4.4%	
広域対応施設		件数	80%以上	60%以上	40%以上	20%以上	20%未満	平均比率
04	行政窓口機能	2		1	1			62.0%
05	保健・福祉施設	9	4	3	2			72.0%
06	社会教育・文化施設	10	1	2	3	3	1	50.0%
07	スポーツ施設	7	1	1	1	3	1	44.8%
08	教員住宅	13		8	5			61.5%
09	町営住宅	14			8	6		39.6%
10	その他広域対応施設(農林・水産・観光・その他)	24	2	2	7	8	6	41.3%
11	その他(環境保全施設等)	5	1		2	1	1	40.4%
広域対応施設合計		83	9	16	29	21	8	
広域対応内での比率			10.8%	19.3%	34.9%	25.3%	9.6%	
合計施設数		129	21	31	40	26	10	

6. 公共施設等の現状と分析

(4) コスト状況（平成26年度）

- ・人件費は、子育て支援施設（保育園・幼稚園）に全体の約42%がかかっています。
- ・物件費は、学校教育機能（小学校・中学校）に全体の約34%がかかっています。
- ・経費は、子育て支援施設（保育園・幼稚園）に全体の約39%がかかっています。
- ・維持補修費は、学校教育機能（小学校・中学校）に全体の約31%がかかっています。

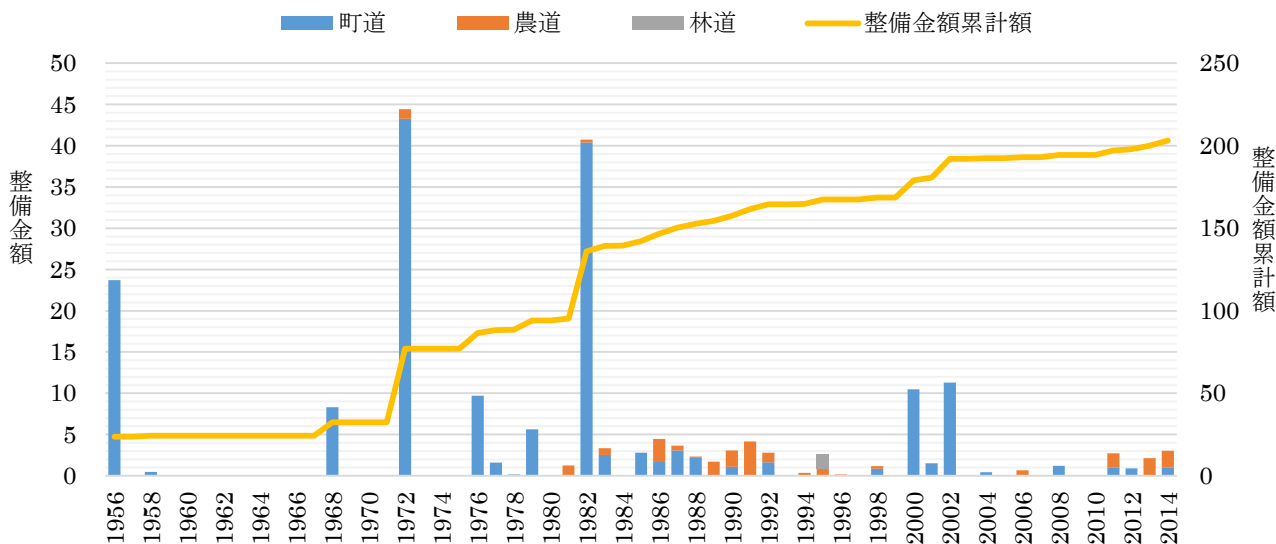
図表 コスト状況

			コスト					
地域対応施設		件数	01 人件費	02 物件費	03 経費	04 減価償却費	05 維持補修費	総合計
01	公民館・コミュニティーセンター等	29	2,305,039 0.42%	0 0.00%	31,030,800 4.57%	25,914,489 3.62%	2,848,611 5.51%	62,098,939 2.95%
02	学校教育機能 (小学校・中学校)	8	94,159,915 17.05%	24,874,370 23.92%	78,875,059 11.62%	152,687,162 21.31%	15,890,605 30.74%	366,487,111 15.79%
03	子育て支援施設 (保育園・幼稚園)	8	234,509,600 42.46%	4,750,817 4.57%	262,490,295 38.66%	24,654,676 3.44%	219,542 0.42%	526,624,930 25.04%
地域対応施設合計		45	330,974,554	29,625,187	372,396,154	203,256,327	18,958,758	955,210,980
地域対応施設平均		—	110,324,851	9,875,062	124,132,051	67,752,109	6,319,586	318,403,660
広域対応施設		件数	01 人件費	02 物件費	03 経費	04 減価償却費	05 維持補修費	総合計
04	行政窓口機能	2	3,841,734 0.70%	13,107,392 12.61%	10,138,962 1.49%	25,344,716 3.54%	768,383 1.49%	53,201,187 2.53%
05	保健・福祉施設	9	5,614,202 1.02%	25,108 0.02%	47,651,271 7.02%	24,796,154 3.46%	965,022 1.87%	79,051,757 3.76%
06	社会教育・文化施設	10	47,018,362 8.51%	8,804,588 8.47%	29,176,401 4.30%	64,799,749 9.04%	3,231,425 6.25%	153,030,525 7.28%
07	スポーツ施設	7	31,349,512 5.68%	9,887,272 9.51%	12,898,351 1.90%	121,511,981 16.96%	2,314,528 4.48%	177,961,644 8.46%
08	教員住宅	13	94,805 0.02%	0 0.00%	1,640,302 0.24%	15,807,433 2.21%	4,546,922 8.80%	22,089,462 1.05%
09	町営住宅	14	11,525,201 2.09%	0 0.00%	694,554 0.10%	16,981,663 2.37%	2,010,296 3.89%	31,211,714 1.48%
10	その他広域対応施設 (農林・水産・観光・その他)	24	79,363,309 14.37%	19,800,768 19.04%	176,122,763 25.94%	133,062,528 18.57%	7,112,172 13.76%	415,461,540 19.75%
11	その他 (環境保全施設等)	5	42,524,228 7.70%	22,721,368 21.85%	28,250,370 4.16%	110,902,795 15.48%	11,778,209 22.79%	216,176,970 10.28%
広域対応施設合計		84	221,331,353	74,346,496	306,572,974	513,207,019	32,726,957	1,148,184,799
広域対応施設平均		—	27,666,419	9,293,312	38,321,622	64,150,877	4,090,870	143,523,100
総コスト		129	552,305,907	103,971,683	678,969,128	716,463,346	51,685,715	2,103,395,779

2. インフラ資産

道路（町道・農道・林道）の年度別整備状況は下図のようになります。

図表 道路全体の年度別整備金額（単位：億円）



出典：固定資産台帳

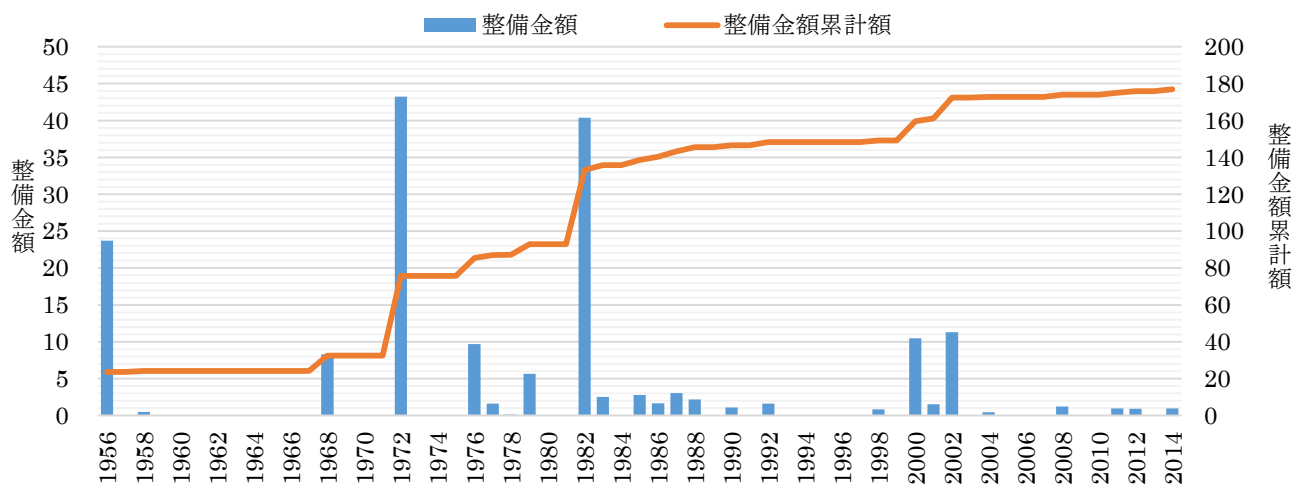
2-1. 町道

町道整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

総延長は366路線で約20万mになり、整備が多い時期は、昭和31年度（1956年度）、昭和47年度（1972年度）、昭和57年度（1982年度）になっています。昭和31年度（1956年度）には32路線で約2.6万m、昭和47年度（1972年度）には48路線で約3.9万m、昭和57年度（1982年度）には108路線で約5.5万mとなっており、約半分以上がこの3年間に集中しています。

今後、H28年度に長寿命化計画の策定を予定しています。

図表 町道の年度別整備金額（単位：億円）



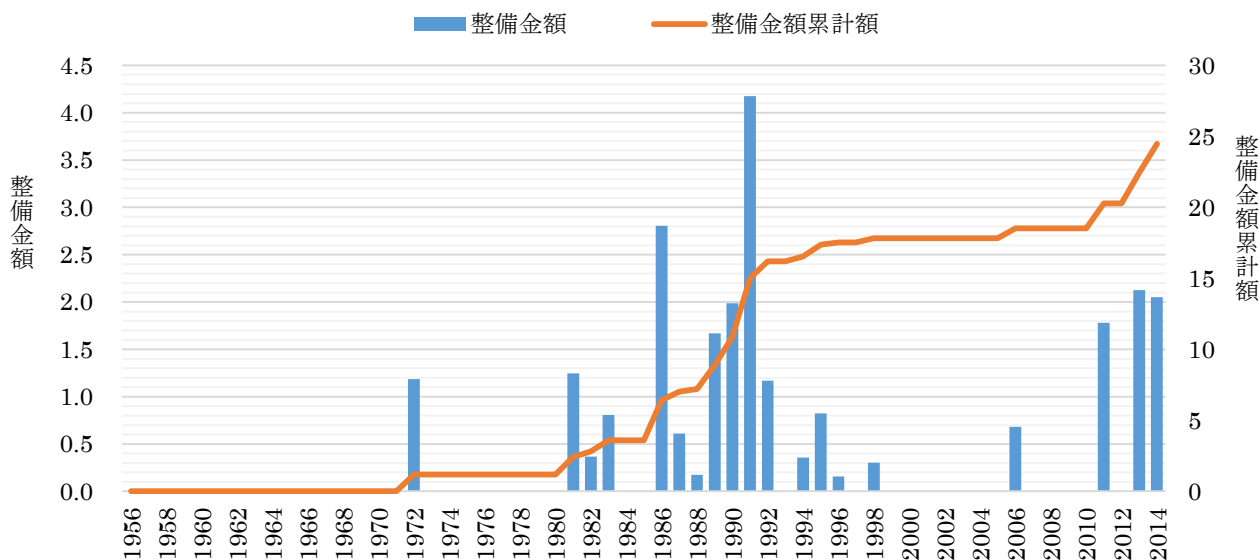
出典：固定資産台帳

2-2. 農 道

農道整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

総延長は 297 路線で約 8 万mになり、整備が多い時期は、昭和 61 年度（1986 年度）、平成元年度（1989 年度）から平成 3 年度（1991 年度）になっています。昭和 61 年度（1986 年度）には 31 路線で約 1.1 万m、平成元年度（1989 年度）から平成 3 年度（1991 年度）には 49 路線で約 3.2 万mとなっており、約半分以上がこの 4 年間に集中しています。

図表 農道の年度別整備金額（単位：億円）

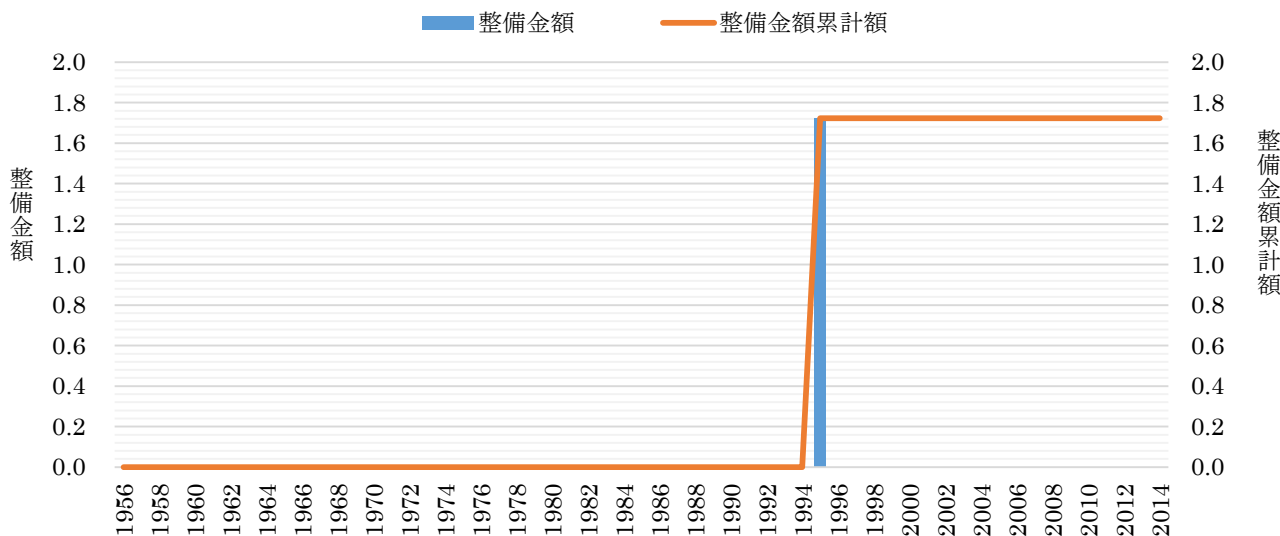


出典：固定資産台帳

2-3. 林 道

林道は、平成 7 年度（1995 年度）に整備された、黒石林道のみです。

図表 林道の年度別整備金額（単位：千円）



出典：固定資産台帳

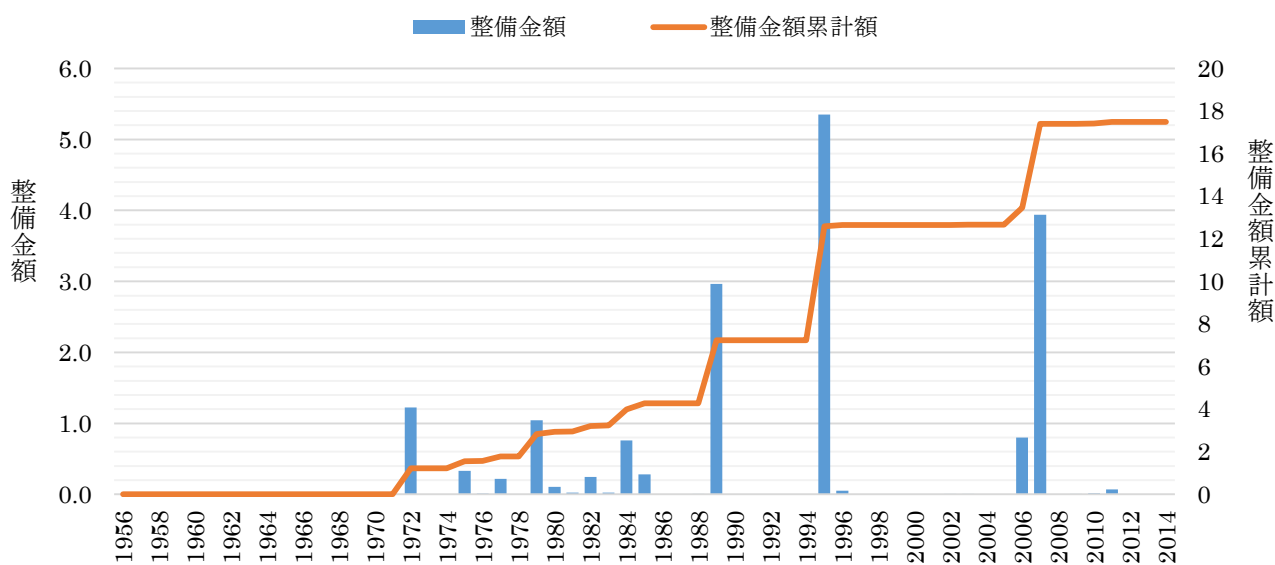
3. 橋 梁

橋梁整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

町が管理している橋梁は79本あり、総延長は896mになり、整備が多い時期は、平成元年度（1989年度）、平成7年度（1995年度）、平成19年度（2007年度）になっています。平成元年度（1989年度）には三栄橋・浦地大橋の整備、平成7年度（1995年度）には新奥武橋（上り線）・美崎橋の整備、平成19年度（2007年度）には新奥武橋（下り線）の整備となっています。

H28・29年度には長寿命化計画を更新し、全橋梁とも5年に1度の定期点検を実施し、順次架け替えを予定しています。

図表 橋梁の年度別整備金額（単位：億円）

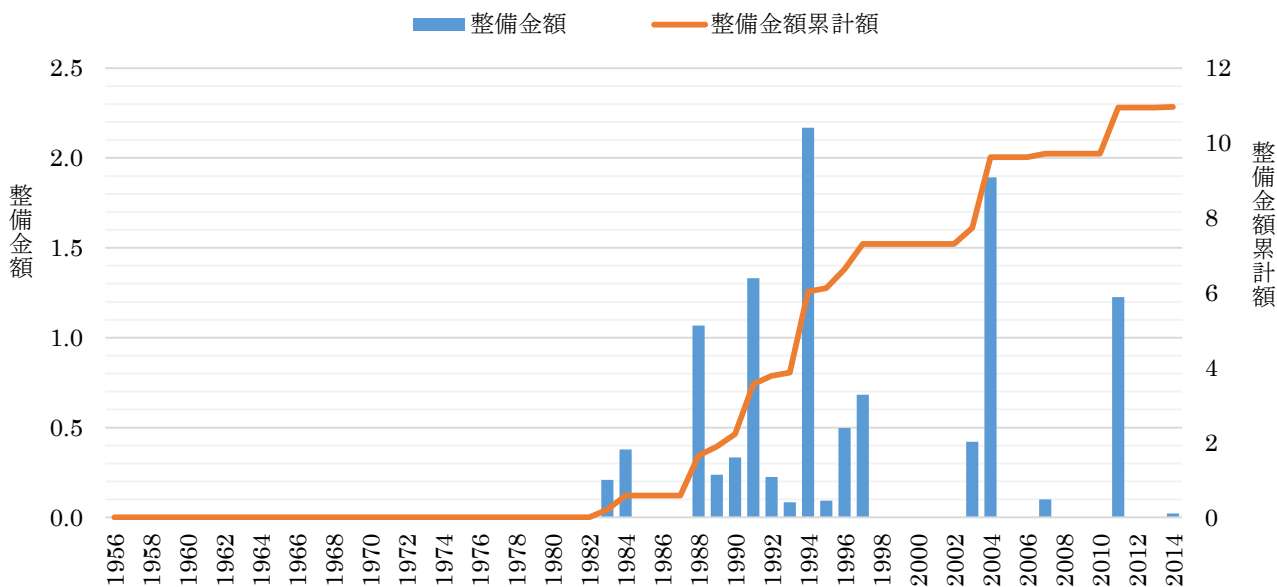


出典：固定資産台帳

4. 公園

公園整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

図表 公園の年度別整備金額（単位：億円）



出典：固定資産台帳

町が管理している主な公園は、「シンリ浜海浜公園」・「ふれあい公園」・「だるま山公園」・「白瀬川公園」・「銭田森林公園」と19ヶ所の農村公園です。

主な公園内の施設は下図のとおりです。

図表 主な公園名称および施設

地区	主な公園名称	所在地	整備年月	主な施設
清水小	シンリ浜海浜公園	清水小学校区内	1988	管理棟
	ふれあい公園	清水小学校区内	1991	トイレ・ステージ
	だるま山公園	清水小学校区内	1994	管理棟・東屋・トイレ
	白瀬川公園	清水小学校区内	1997	トイレ
仲里小	銭田森林公園	仲里小学校区内	1983	管理棟・トイレ

老朽化状況は、「銭田森林公園」が60%以上（更新検討施設：図表内“オレンジ”にて表示）となっています。

図表 老朽化状況（単位：千円）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
清水小	シンリ浜海浜公園	昭和63年度	108,935	40	26	59,946	55.0%
	ふれあい公園	平成03年度	123,900	40	23	67,407	54.4%
	だるま山公園	平成06年度	124,422	40	20	70,062	56.3%
	白瀬川公園	平成09年度	68,197	40	17	25,574	37.5%
仲里小	銭田森林公園	昭和58年度	149,293	40	31	12,074	61.1%

6. 公共施設等の現状と分析

施設単位のコストは下図のとおりです。

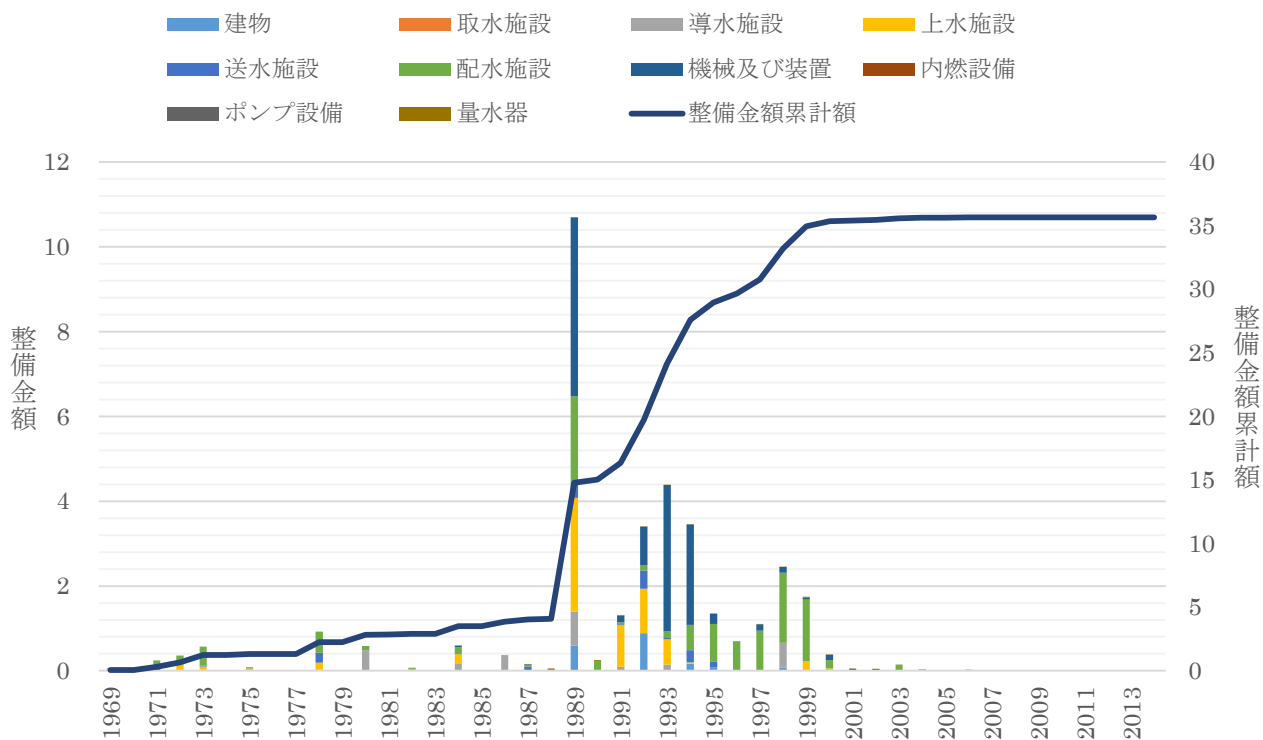
図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	H26 施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
清水小	シンリ浜海浜公園	257,718	126,993	373,257	2,448,181	0	3,206,149
	ふれあい公園	257,718	600,772	21,058	2,574,476	35,100	3,489,124
	だるま山公園	863,633	29,132	1,625,922	2,219,765	133,468	4,871,919
	白瀬川公園	473,370	15,967	891,191	1,216,685	73,156	2,670,369
仲里小	銭田森林公園	1,036,267	34,955	1,950,932	2,663,479	160,147	5,845,779

5. 上水処理施設

上水処理施設に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
 整備が集中している 1989 年度は浄水場薬注室管理室と導水管、浄水施設、配水場施設等の整備がおこなわれています。その後、1991 年度から 1999 年度にかけて整備がおこなわれています。

図表 上水処理施設の年度別整備金額（単位：億円）



出典：固定資産台帳

6. 公共施設等の現状と分析

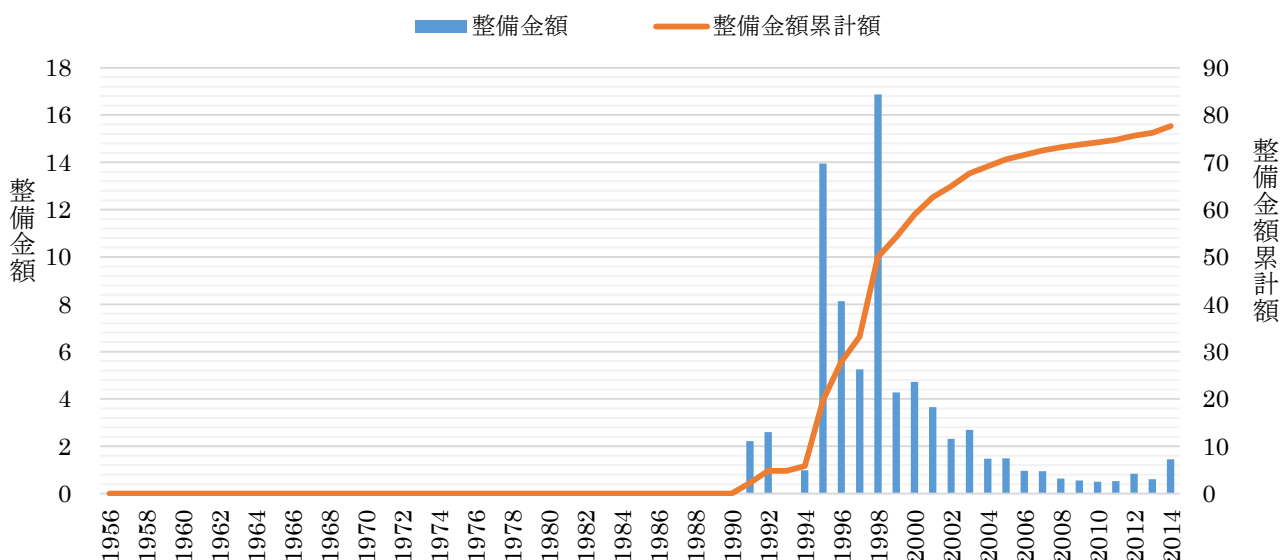
図表 上水処理施設の年度別整備金額（単位：円）

	建物	取水施設	導水施設	上水施設	送水施設	配水施設	機械及び装置	内燃設備	ポンプ設備	量水器	累計
1969	0	0	2,423,895	0	0	3,076,224	0	0	0	0	5,500,119
1970	1,679,459	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,179,578
1971	859,536	0	0	0	3,891,104	19,710,342	0	0	0	0	31,640,560
1972	1,160,813	0	2,124,270	13,927,220	5,674,015	12,465,151	0	0	0	10,663	67,002,692
1973	160,898	0	2,515,315	7,163,405	2,743,208	44,626,049	0	0	0	0	124,211,567
1974	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,130	124,225,697
1975	0	0	0	5,597,844	0	3,099,935	0	0	0	0	132,923,476
1976	0	0	0	0	0	0	0	0	0	785	132,924,261
1977	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132,924,261
1978	2,291,959	0	1,275,806	15,631,900	23,617,710	49,485,042	0	0	0	0	225,226,678
1979	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	225,226,678
1980	256,530	789,320	47,663,844	0	0	9,440,114	0	0	0	0	283,376,486
1981	0	0	0	0	0	0	1,190,530	0	0	23,260	284,590,276
1982	0	0	3,069,000	0	0	3,149,241	0	0	0	18,720	290,827,237
1983	0	0	0	0	0	0	0	0	0	420,085	291,247,322
1984	0	253,307	15,875,455	22,370,000	0	17,330,200	3,111,779	0	0	3,992	350,192,055
1985	0	0	0	0	0	0	0	0	0	204,160	350,396,215
1986	0	0	35,886,682	0	0	817,099	0	0	0	157,630	387,257,626
1987	0	0	0	0	9,710,000	3,918,691	1,727,292	0	0	39,350	402,652,959
1988	0	0	1,880,000	0	0	0	0	0	0	3,899,100	408,432,059
1989	59,382,545	0	79,614,689	269,104,071	38,598,115	200,752,139	421,853,023	0	0	346,453	1,478,083,094
1990	0	0	0	0	0	23,136,941	0	0	0	2,028,410	1,503,248,445
1991	0	178,895	8,995,853	98,501,600	2,318,715	4,176,285	16,381,652	0	0	1,273,683	1,635,075,128
1992	88,705,000	0	0	104,809,195	43,158,719	12,442,738	91,101,922	0	0	76,590	1,975,369,292
1993	1,305,559	0	13,654,876	59,363,107	2,698,634	16,352,118	345,201,615	0	0	132,780	2,414,077,981
1994	16,830,353	0	0	2,837,289	28,863,474	59,731,387	237,055,944	0	0	88,001	2,759,484,429
1995	8,966,447	0	0	0	13,479,084	88,409,244	24,237,728	0	0	368,950	2,894,945,882
1996	0	0	0	0	0	67,982,779	1,176,603	0	0	1,006,950	2,965,112,214
1997	0	0	0	0	0	94,739,311	15,366,986	0	0	181,480	3,075,399,991
1998	7,575,238	0	58,095,238	0	0	166,078,543	13,363,543	0	0	89,400	3,320,601,953
1999	0	0	0	23,356,127	0	144,622,488	5,311,337	0	0	1,412,250	3,495,304,155
2000	0	0	0	5,677,224	0	19,766,128	12,615,698	0	0	632,500	3,533,995,705
2001	0	0	0	400,000	0	749,526	3,547,480	0	0	706,550	3,539,399,261
2002	946,000	0	0	0	0	0	3,000,000	0	0	343,650	3,543,688,911
2003	0	0	0	0	0	14,285,715	0	0	0	411,000	3,558,385,626
2004	0	0	0	0	0	0	0	0	2,699,370	264,400	3,561,349,396
2005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	328,500	3,561,677,896
2006	0	0	0	0	0	0	0	600,000	960,000	727,900	3,563,965,796
2007	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,563,965,796
2008	0	0	0	0	0	0	0	0	694,000	632,000	3,565,291,796
2009	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79,000	3,565,370,796
2010	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79,000	3,565,449,796
2011	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140,000	3,565,589,796
2012	0	0	0	0	0	0	0	0	0	231,500	3,565,821,296
2013	0	0	0	0	0	0	0	0	0	309,500	3,566,130,796
2014	0	0	0	0	0	0	0	0	0	307,500	3,566,438,296

6. 下水処理施設等

下水道処理施設等整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。整備が多い時期は、1995年度のイーフ浄化センター整備、1998年度の清水浄化センター整備がおこなわれています。

図表 下水処理施設の年度別整備金額（単位：億円）



出典：固定資産台帳

主な下水道処理施設は、「清水浄化センター」と「イーフ浄化センター」があります。

図表 主な下水道処理施設

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独複合
清水小	清水浄化センター	鳥島 143-1	平成 10 年度 (1998 年度)	420	1	単独
仲里小	イーフ浄化センター	比嘉 149-3	平成 07 年度 (1995 年度)	360	1	単独

老朽化の状況に関しては、いずれもまだ新しい施設です。

図表 老朽化状況（単位：千円）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
清水小	清水浄化センター	平成 10 年度	943,789	38	16	397,146	42.1%
仲里小	イーフ浄化センター	平成 7 年度	1,296,147	38	19	845,389	65.2%

施設別のコストは下図のとおりです。

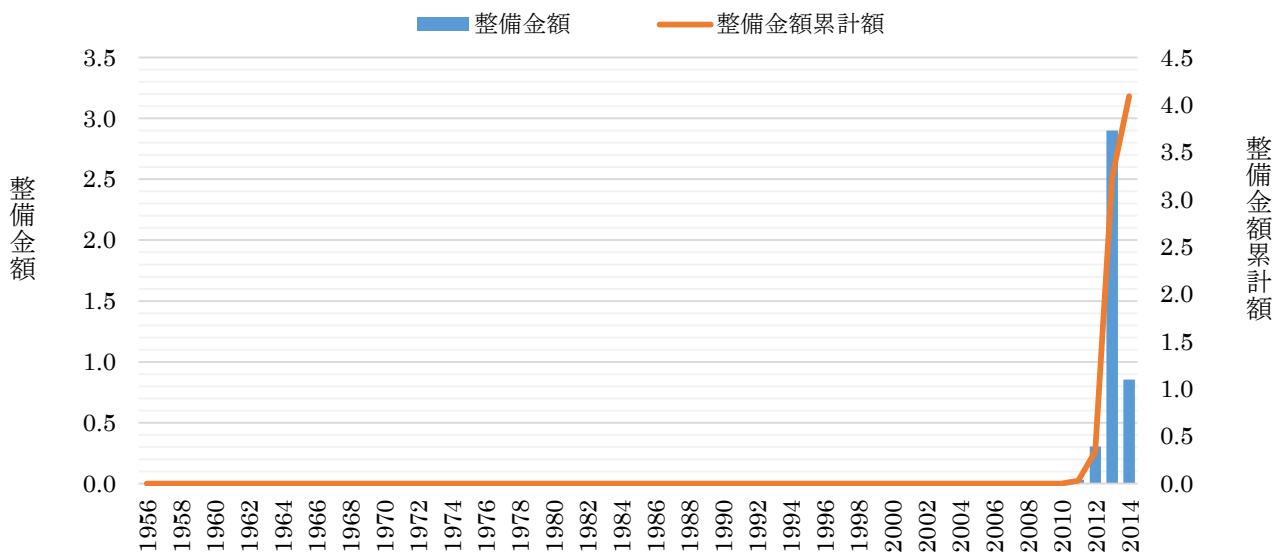
図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	H26 施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
清水小	清水浄化センター	8,944,388	4,561,294	8,264,096	24,821,650	4,943,310	51,534,738
仲里小	イーフ浄化センター	8,663,249	4,417,925	8,004,341	21,838,625	4,787,933	47,712,073

7. 農業施設

農業施設整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。2011年度から整備がおこなわれています。

図表 農業施設の年度別整備金額（単位：億円）

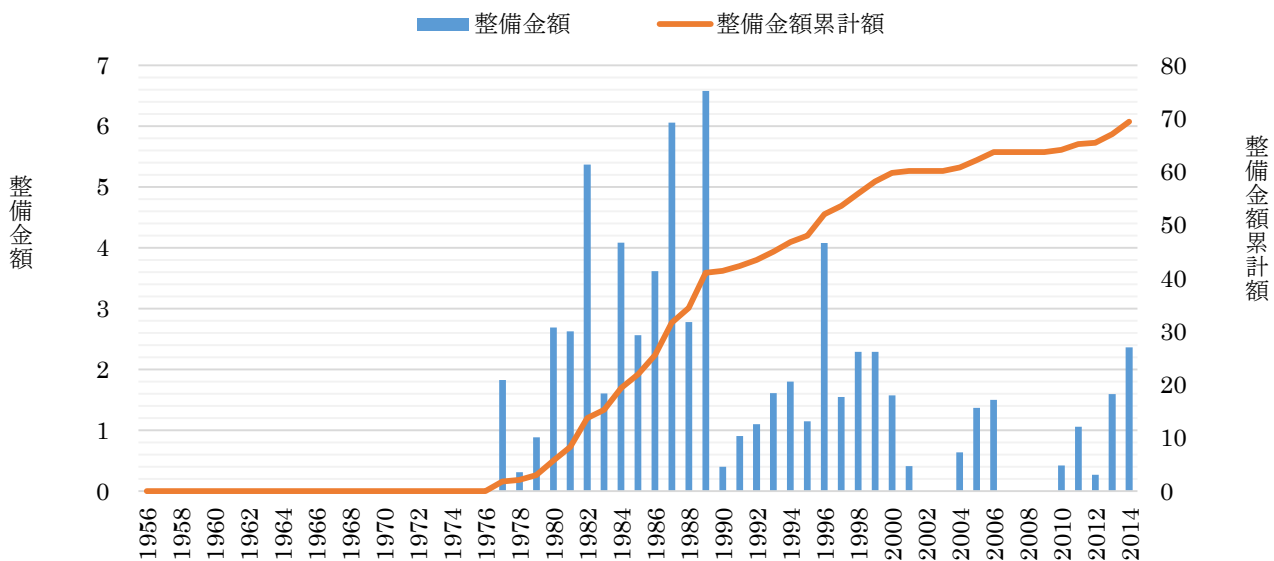


出典：固定資産台帳

8. 漁港・港湾

漁港・港湾整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。1977年度から整備がおこなわれています。

図表 漁港・港湾の年度別整備金額（単位：億円）

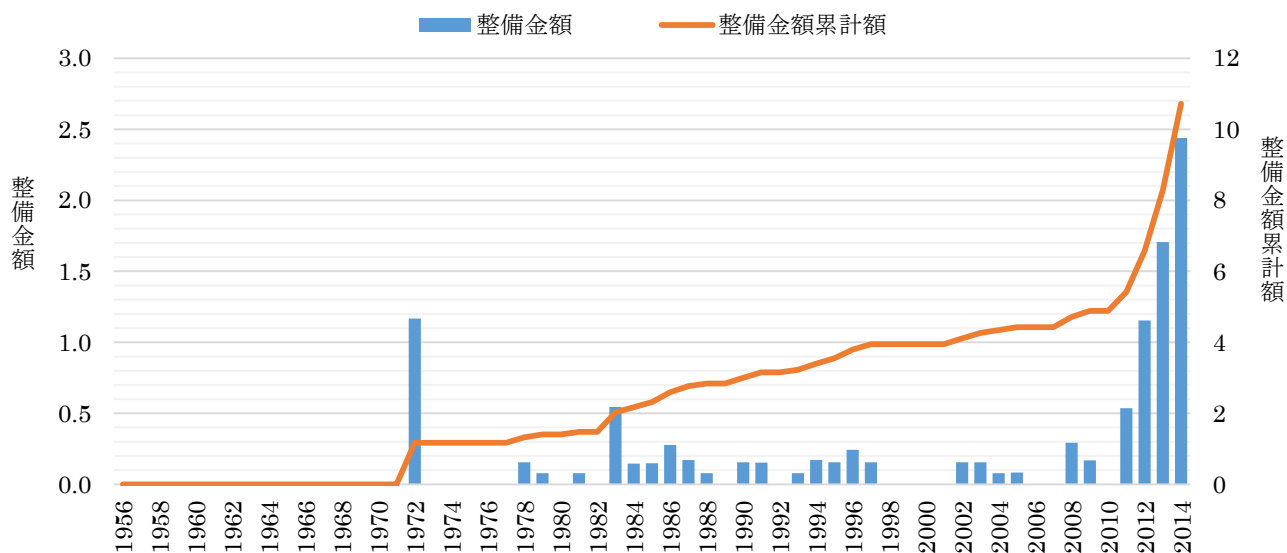


出典：固定資産台帳

9. その他公共施設

その他公共施設整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。1972年度から防火水槽整備がおこなわれています。2012年度から2014年度にかけて、防犯灯設置がおこなわれています。

図表 農業施設の年度別整備金額（単位：億円）



10. (株)オーランド

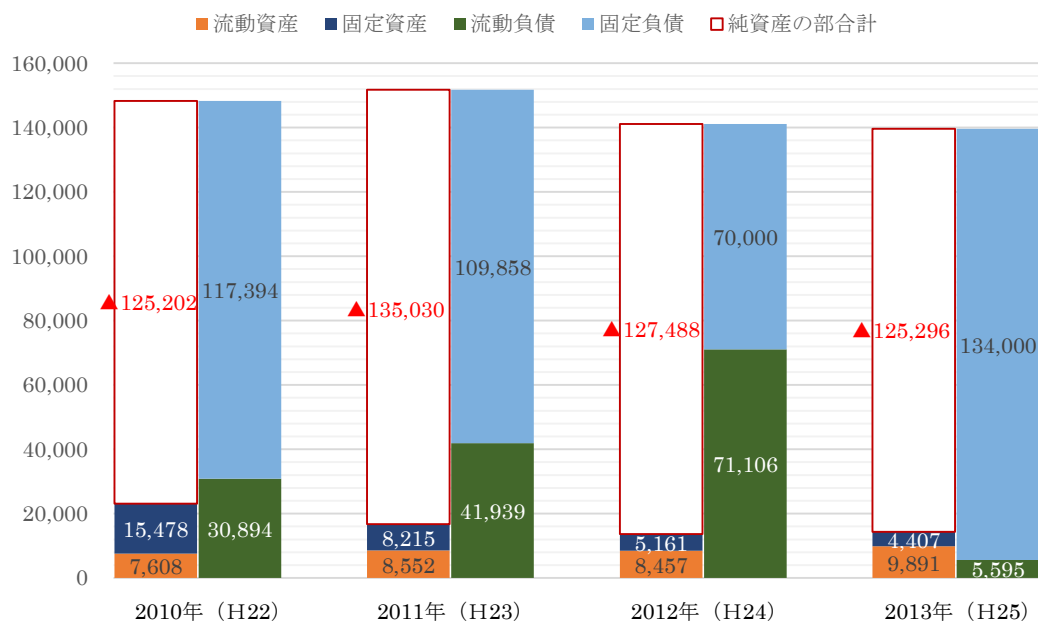
久米島町では、平成 12 年（2000 年）の沖縄県海洋深層水研究所建設の際に、本島周辺の海底地形を調査し、真謝地区が最適な位置として選定された経緯があり、海洋深層水複合利用の一環として、第三セクター『株式会社オーランド』を平成 15 年度（2003 年度）に設立しました。

『株式会社オーランド』は、海洋深層水による温浴施設の運営（バーデハウス久米島）やキャンプ場の管理（奥武島キャンプ場）等で収益の柱としていますが、平成 22 年度（2010 年度）から平成 25 年度（2013 年度）までの経営状況をまとめてみました。

(1) 貸借対照表

貸借対照表上では、平成 22 年度（2010 年度）から平成 25 年度（2013 年度）までの 4 年間は累積赤字を埋めきれない状況です。

図表 貸借対照表（単位：千円）



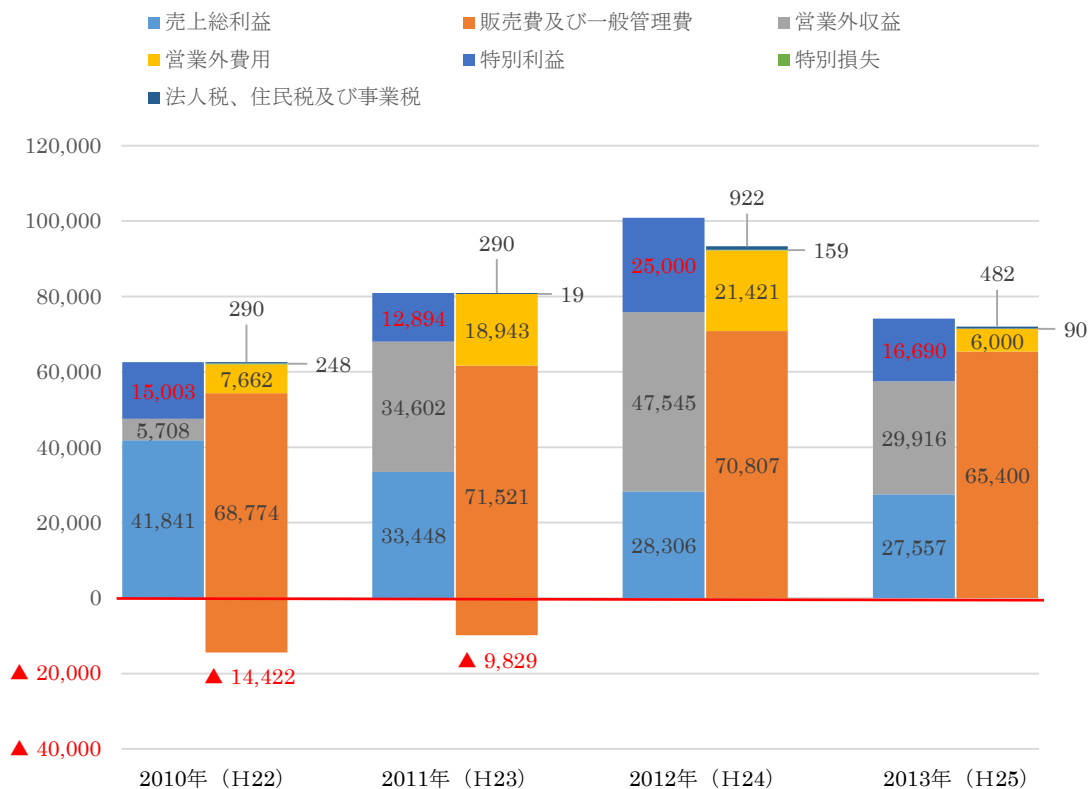
(2) 損益計算書

損益計算書上では図表①を見ると、平成 22・23 年度は赤字であり、売上は毎年減少しています。赤字幅を圧縮するために一般会計からの繰出し金（特別利益）にて補てんしている状況です。

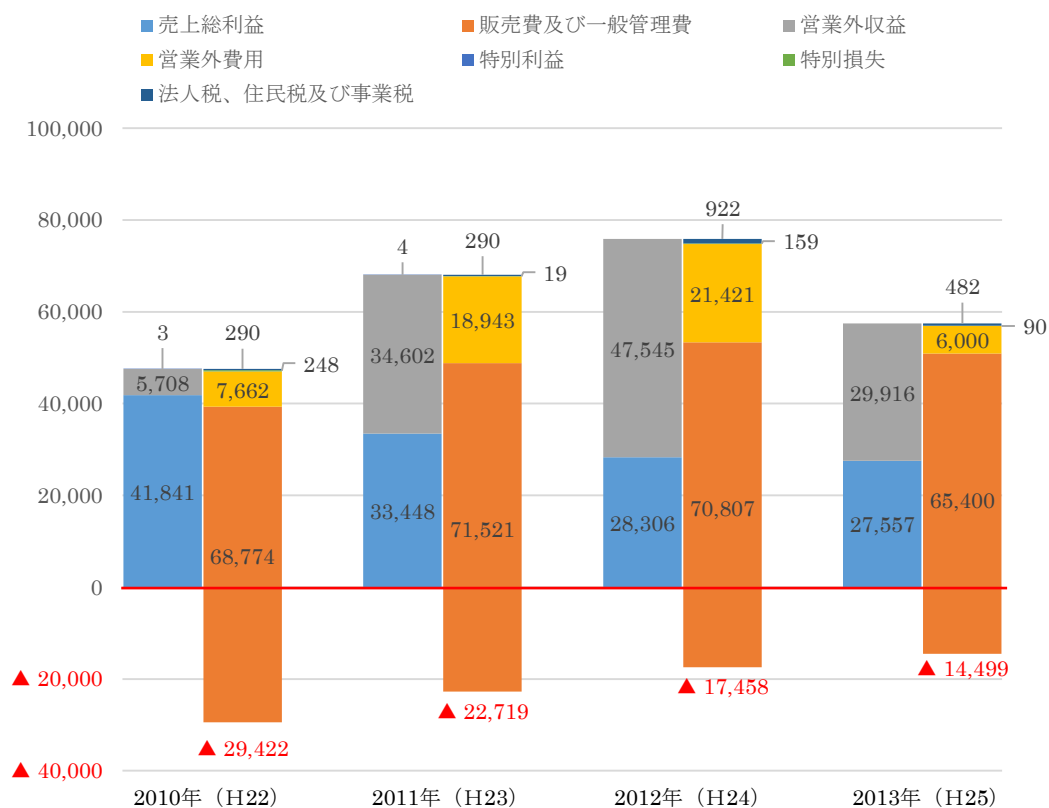
図表②は、もし一般会計からの繰出し金（特別利益）がないとした場合を仮定したもので、全ての年度で赤字というのがわかります。

6. 公共施設等の現状と分析

図表① 損益計算書 (単位: 千円)



図表② 損益計算書 (単位: 千円)



7. 機能別の現状と分析

1. 公民館・コミュニティーセンター等

公民館・コミュニティーセンター等について分析を行います。

(1) 施設概要

①施設一覧

公民館・コミュニティーセンター等の施設は、全体で29施設あり、総延床面積は5,225㎡です。大岳小学校区に7施設、清水小学校区に6施設、久米島小学校区に3施設、比屋定小学校区に4施設、美崎小学校区に3施設、仲里小学校区に6施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合	主管課
大岳小	仲村渠公民館	仲村渠 273 番地 1	1972 年度 (昭和 47 年度)	120	1	単独	総務課
	具志川公民館	具志川 647 番地	1982 年度 (昭和 57 年度)	174	1	単独	総務課
	仲地公民館	仲地 15 番地	2001 年度 (平成 13 年度)	300	1	単独	総務課
	山里地区構造改善センター	山里 243 番地	1989 年度 (平成 01 年度)	170	1	単独	総務課
	上江洲公民館	上江洲 229 番地	1995 年度 (平成 07 年度)	71	1	単独	総務課
	西銘公民館	西銘 849 番地	1972 年度 (昭和 47 年度)	172	1	単独	総務課
	久間地公民館	上江洲 457 番地 40	1982 年度 (昭和 57 年度)	66	1	単独	総務課
清水小	北原農村振興集落センター	北原 416 番地	1984 年度 (昭和 59 年度)	171	1	単独	総務課
	大原公民館	大原 237 番地 1	1970 年度 (昭和 45 年度)	190	1	単独	総務課
	鳥島公民館	鳥島 370 番地	1970 年度 (昭和 45 年度)	204	1	単独	総務課
	仲泊公民館	仲泊 455 番地	1971 年度 (昭和 46 年度)	346	1	単独	総務課
	大田公民館	大田 362 番地	1969 年度 (昭和 44 年度)	177	1	単独	総務課
	兼城公民館	兼城 183 番地 1	2004 年度 (平成 16 年度)	200	1	単独	総務課
久米島小	嘉手苺公民館	嘉手苺 86 番地	1972 年度 (昭和 47 年度)	172	1	単独	総務課
	山城集会所	山城 48 番地	1981 年度 (昭和 56 年度)	135	1	単独	総務課
	儀間公民館	儀間 170 番地	1967 年度 (昭和 42 年度)	284	2	単独	総務課
比屋定小	宇江城地区会館	宇江城 798 番地	2006 年度 (平成 18 年度)	299	1	単独	総務課
	比屋定集会所	比屋定 99 番地 1	1982 年度 (昭和 57 年度)	134	1	単独	総務課
	上阿嘉集会所	比屋定 2245 番地 55	1986 年度 (昭和 61 年度)	98	1	単独	総務課
	下阿嘉集会所	阿嘉 156 番地 12	1984 年度 (昭和 59 年度)	103	1	単独	総務課
美崎小	真謝公民館	真謝 60 番地	1968 年度 (昭和 43 年度)	200	1	単独	総務課
	宇根公民館	宇根 62 番地 2	1968 年度 (昭和 43 年度)	212	2	単独	総務課
	真泊公民館	宇根 556 番地	1971 年度 (昭和 46 年度)	213	2	単独	総務課
仲里小	泊集会所	宇根 1740 番地	1985 年度 (昭和 60 年度)	136	1	単独	総務課
	謝名堂集会所	謝名堂 91 番地	1983 年度 (昭和 58 年度)	237	1	単独	総務課
	比嘉公民館	比嘉 33 番地 1	1969 年度 (昭和 44 年度)	238	1	単独	総務課
	真我里公民館	真我里 485 番地	1977 年度 (昭和 52 年度)	76	1	単独	総務課
	漁民研修センター	銭田 947 番地	1978 年度 (昭和 53 年度)	185	1	単独	総務課
	島尻公民館	島尻 50 番地	1989 年度 (平成 01 年度)	142	1	単独	総務課

②運営状況

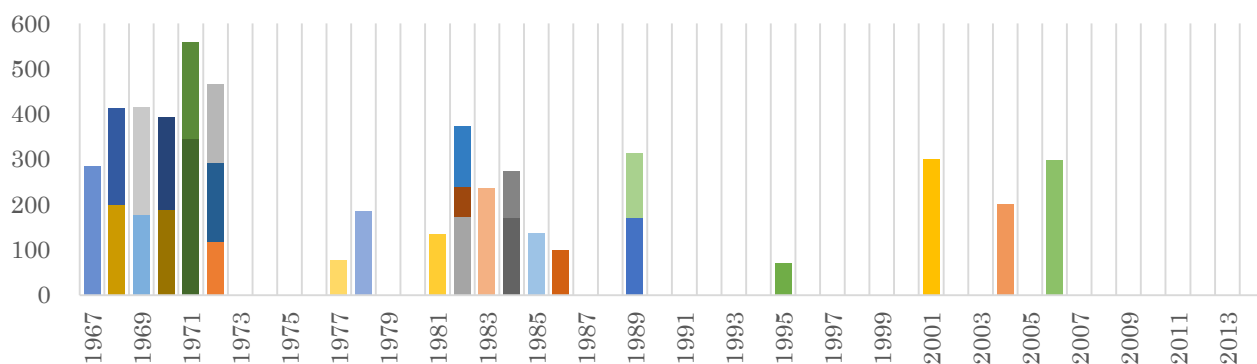
運営状況については、全ての公民館がその地区に指定管理しています。

③整備状況

公民館建築は、昭和 42 年度（1967 年度）「儀間公民館（久米島小校区）」を皮切りに、昭和 43 年度（1968 年度）「真謝公民館（美崎小校区）」・「宇根公民館（美崎小校区）」、昭和 44 年度（1969 年度）「大田公民館（清水小校区）」・「比嘉公民館（仲里小校区）」、昭和 45 年度（1970 年度）に「大原公民館（清水小校区）」・「鳥島公民館（清水小校区）」が建築され、昭和 46 年度（1971 年度）に「仲泊公民館（清水小校区）」、さらに昭和 47 年度（1972 年度）「仲村渠公民館（大岳小校区）」・「西銘公民館（大岳小校区）」・「嘉手苺公民館（久米島小校区）」が建築されました。

昭和 56 年（1981 年）以前に建築された公民館が 15 施設あり、約半数は耐震基準を満たしていません。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------------|
| ■ 仲村渠公民館 | ■ 具志川公民館 | ■ 仲地公民館 | ■ 山里地区構造改善センター |
| ■ 上江洲公民館 | ■ 西銘公民館 | ■ 久間地公民館 | ■ 北原農村振興集落センター |
| ■ 大原公民館 | ■ 鳥島公民館 | ■ 仲泊公民館 | ■ 大田公民館 |
| ■ 兼城公民館 | ■ 嘉手苺公民館 | ■ 山城集会所 | ■ 儀間公民館 |
| ■ 宇江城地区会館 | ■ 比屋定集会所 | ■ 上阿嘉集会施設 | ■ 下阿嘉集会所 |
| ■ 真謝公民館 | ■ 宇根公民館 | ■ 真泊公民館 | ■ 泊集会所 |
| ■ 謝名堂集会所 | ■ 比嘉公民館 | ■ 真我里公民館 | ■ 漁民研修センター |
| ■ 島尻公民館 | | | |

出典：平成 26 年度固定資産台帳

7. 機能別の現状と分析

④建物状況

耐震診断については、29 施設中約半数の 15 施設が耐震基準に適合済みとなっており、残りの 14 施設が不適合となっています。

バリアフリー対応については、「段差なし」となっている施設が 29 施設中 9 施設となっています。

図表 建物状況

地区	施設名称	全棟数	耐震診断		バリアフリー		トイレ			授乳室
			適合	不適合	段差なし	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	
大岳小	仲村渠公民館	1		1	○	—	—	—	—	—
	具志川公民館	1	1		—	—	—	—	—	—
	仲地公民館	1	1		○	—	—	—	—	—
	山里地区構造改善センター	1	1		○	—	—	—	—	—
	上江洲公民館	1	1		—	—	—	—	—	—
	西銘公民館	1		1	—	—	—	—	—	—
	久間地公民館	1	1		—	—	—	—	—	—
清水小	北原農村振興集落センター	1	1		—	—	—	—	—	—
	大原公民館	1		1	—	—	—	—	—	—
	鳥島公民館	1		1	○	—	—	—	—	—
	仲泊公民館	1		1	—	—	—	—	—	—
	大田公民館	1		1	○	—	—	—	—	—
	兼城公民館	1	1		○	—	—	—	—	—
久米島小	嘉手苺公民館	1		1	—	—	—	—	—	—
	山城集会所	1		1	—	—	—	—	—	—
	儀間公民館	1	1		—	—	—	—	—	—
比屋定小	宇江城地区会館	1	1		○	—	—	—	—	—
	比屋定集会所	1	1		—	—	—	—	—	—
	上阿嘉集会施設	1	1		—	—	—	—	—	—
	下阿嘉集会所	1	1		—	—	—	—	—	—
美崎小	真謝公民館	1		1	○	—	—	—	—	—
	宇根公民館	1		1	○	—	—	—	—	—
	真泊公民館	1		1	—	—	—	—	—	—
仲里小	泊集会施設	1	1		—	—	—	—	—	—
	謝名堂集会所	1	1		—	—	—	—	—	—
	比嘉公民館	1		1	—	—	—	—	—	—
	真我里公民館	1		1	—	—	—	—	—	—
	漁民研修センター	1		1	—	—	—	—	—	—
	島尻公民館	1	1		—	—	—	—	—	—

7. 機能別の現状と分析

⑤老朽化状況

老朽化の状況は、29 施設中、老朽化比率 80%以上（更新検討時期施設：図表内“赤”にて表示）が 12 施設あります。また、60%以上（更新検討施設：図表内“オレンジ”にて表示）が 10 施設あり、約 7 割以上が更新検討施設となっています。全体としても老朽化比率が高い状況にあり、老朽化がかなり進んでいる状況です。

特に、老朽化比率が 90%に達している清水小校区内の「大田公民館」、久米島小校区内の「儀間公民館」、美崎小校区内の「真謝公民館」・「宇根公民館」、仲里小校区の「比嘉公民館」は早急の対応が必要です。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
大岳小	仲村渠公民館	昭和 47 年度	28,732,800	50	42	24,135,552	84.0%
	具志川公民館	昭和 57 年度	41,760,000	50	32	26,726,400	64.0%
	仲地公民館	平成 13 年度	85,722,504	50	13	22,287,850	26.0%
	山里地区構造改善センター	平成 01 年度	40,824,000	50	25	20,412,000	50.0%
	上江洲公民館	平成 07 年度	16,972,800	50	19	6,449,664	38.0%
	西銘公民館	昭和 47 年度	41,344,800	50	42	34,729,632	84.0%
	久間地公民館	昭和 57 年度	15,722,400	50	32	10,062,336	64.0%
清水小	北原農村振興集落センター	昭和 59 年度	41,059,200	50	30	24,635,520	60.0%
	大原公民館	昭和 45 年度	45,480,000	50	44	40,022,400	88.0%
	鳥島公民館	昭和 45 年度	49,032,000	50	44	43,148,160	88.0%
	仲泊公民館	昭和 46 年度	83,104,800	50	43	71,470,128	86.0%
	大田公民館	昭和 44 年度	42,528,000	50	45	38,275,200	90.0%
	兼城公民館	平成 16 年度	60,923,384	50	10	12,184,674	20.0%
久米島小	嘉手苜公民館	昭和 47 年度	41,282,400	50	42	34,677,216	84.0%
	山城集会所	昭和 56 年度	23,647,971	47	33	16,544,116	70.0%
	儀間公民館	昭和 42 年度	69,635,400	50	47	65,457,276	94.0%
比屋定小	宇江城地区会館	平成 18 年度	77,995,289	50	8	15,357,913	19.7%
	比屋定集会所	昭和 57 年度	28,109,219	47	32	19,069,292	67.8%
	上阿嘉集会所	昭和 61 年度	23,231,554	47	28	13,790,246	59.4%
	下阿嘉集会所	昭和 59 年度	22,392,766	47	30	14,241,796	63.6%
美崎小	真謝公民館	昭和 43 年度	66,488,000	50	46	61,168,960	92.0%
	宇根公民館	昭和 43 年度	51,009,000	50	46	46,928,280	92.0%
	真泊公民館	昭和 46 年度	51,255,000	50	43	44,079,300	86.0%
仲里小	泊集会所	昭和 60 年度	31,699,019	47	29	19,488,556	61.5%
	謝名堂集会所	昭和 58 年度	47,510,363	47	31	31,223,807	65.7%
	比嘉公民館	昭和 44 年度	57,064,000	50	45	51,357,600	90.0%
	真我里公民館	昭和 52 年度	18,248,000	50	37	13,503,520	74.0%
	漁民研修センター	昭和 53 年度	44,400,000	50	36	31,968,000	72.0%
	島尻公民館	昭和 64 年度	32,720,653	47	25	17,341,942	53.0%

7. 機能別の現状と分析

(2) 施設コストの実態

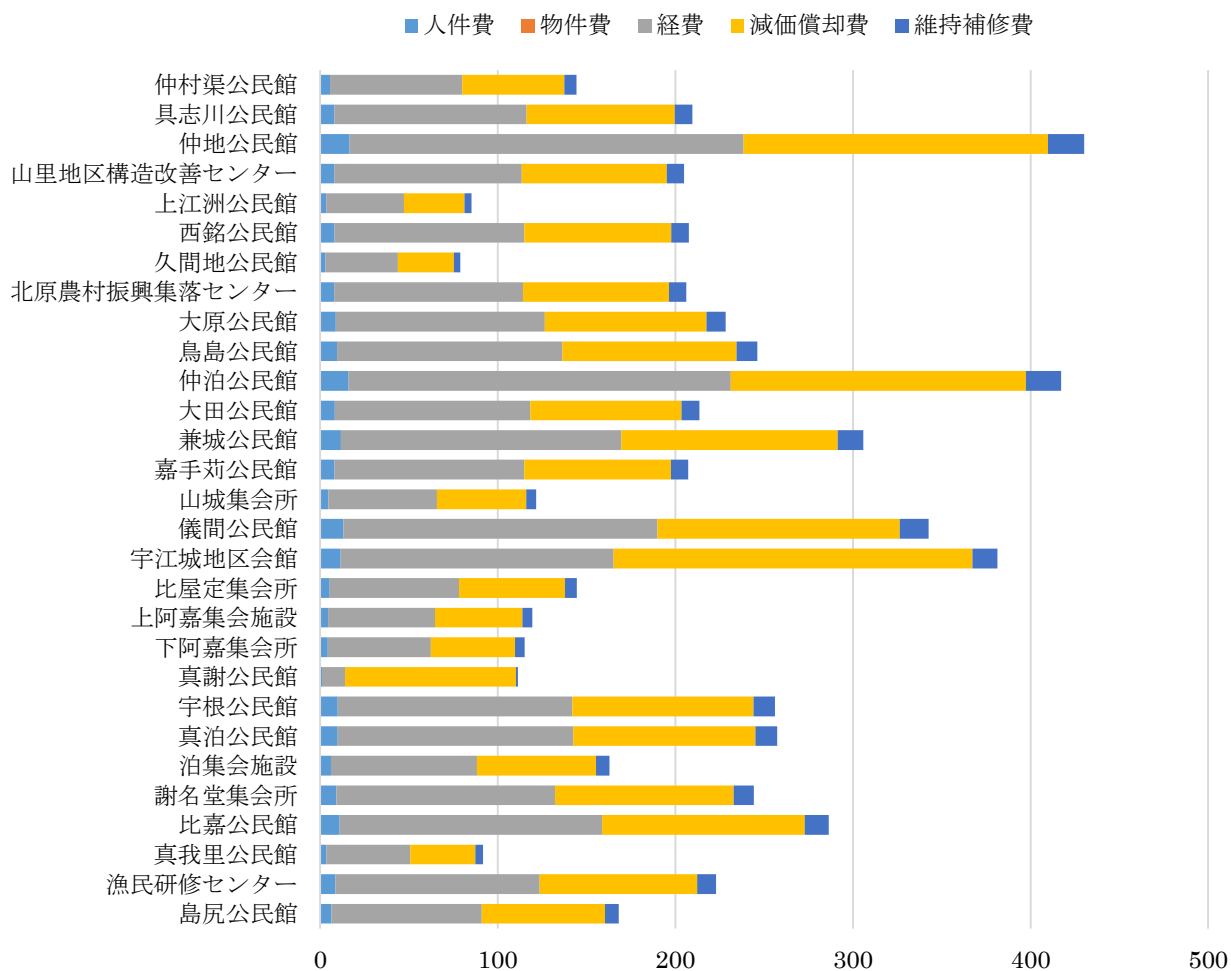
平均コストは2,141千円ですが、仲地公民館・大原公民館・鳥島公民館・仲泊公民館・兼城公民館・儀間公民館・宇江城地区会館・宇根公民館・真泊公民館・謝名堂集会所・比嘉公民館・漁民研修センターが平均より高い状況にあります。老朽化比率の高い施設が多いため、今後は維持管理コストの他に建替えコストが発生すると思われます。

図表 稼働コスト状況 (単位:円)

地区	施設名称	H26 施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
大岳小	仲村渠公民館	55,261	0	743,935	574,656	68,293	1,442,145
	具志川公民館	80,318	0	1,081,259	835,200	99,259	2,096,036
	仲地公民館	164,872	0	2,219,532	1,714,450	203,752	4,302,606
	山里地区構造改善センター	78,518	0	1,057,024	816,480	97,034	2,049,056
	上江洲公民館	32,643	0	439,443	339,456	40,341	851,883
	西銘公民館	79,518	0	1,070,487	826,896	98,270	2,075,171
	久間地公民館	30,239	0	407,077	314,448	37,369	789,133
清水小	北原農村振興集落センター	78,970	0	1,063,108	821,184	97,593	2,060,855
	大原公民館	87,473	0	1,177,578	909,600	108,101	2,282,752
	鳥島公民館	94,305	0	1,269,547	980,640	116,544	2,461,036
	仲泊公民館	159,837	0	2,151,746	1,662,096	197,529	4,171,208
	大田公民館	81,796	0	1,101,144	850,560	101,084	2,134,584
	兼城公民館	117,175	0	1,577,431	1,218,467	144,807	3,057,880
久米島小	嘉手苜公民館	79,399	0	1,068,882	825,648	98,123	2,072,052
	山城集会所	45,481	0	612,273	501,336	56,206	1,215,296
	儀間公民館	131,307	0	1,767,678	1,365,400	162,272	3,426,657
比屋定小	宇江城地区会館	114,198	0	1,537,350	2,021,308	141,128	3,813,984
	比屋定集会所	54,063	0	727,804	595,915	66,812	1,444,594
	上阿嘉集会所施設	44,681	0	601,502	492,508	55,218	1,193,909
	下阿嘉集会所	43,067	0	579,778	474,726	53,223	1,150,794
美崎小	真謝公民館	9,705	0	130,644	961,080	11,993	1,113,422
	宇根公民館	98,108	0	1,320,751	1,020,180	121,244	2,560,283
	真泊公民館	98,581	0	1,327,117	1,025,100	121,829	2,572,627
仲里小	泊集会所施設	60,968	0	820,757	672,019	75,345	1,629,089
	謝名堂集会所	91,378	0	1,230,139	1,007,219	112,926	2,441,662
	比嘉公民館	109,754	0	1,477,524	1,141,280	135,636	2,864,194
	真我里公民館	35,097	0	472,483	364,960	43,374	915,914
	漁民研修センター	85,396	0	1,149,614	888,000	105,534	2,228,544
	島尻公民館	62,931	0	847,193	693,677	77,772	1,681,573
合 計		2,305,039	0	31,030,800	25,914,489	2,848,611	62,098,939
平 均		79,484	0	1,070,028	893,603	98,228	2,141,343

7. 機能別の現状と分析

図表 稼働コスト状況（単位：万円）



7. 機能別の現状と分析

図表 位置図 公民館・コミュニティーセンター等



出典：国土地理院の電子国土 web

2. 学校教育機能（小学校・中学校）

学校教育機能（小学校・中学校）について分析を行います。

（1）施設概要

①施設一覧

学校教育機能（小学校・中学校）の施設は、全体で8施設あります。小学校は6校、中学校2校となっています。総延床面積は34,007㎡です。

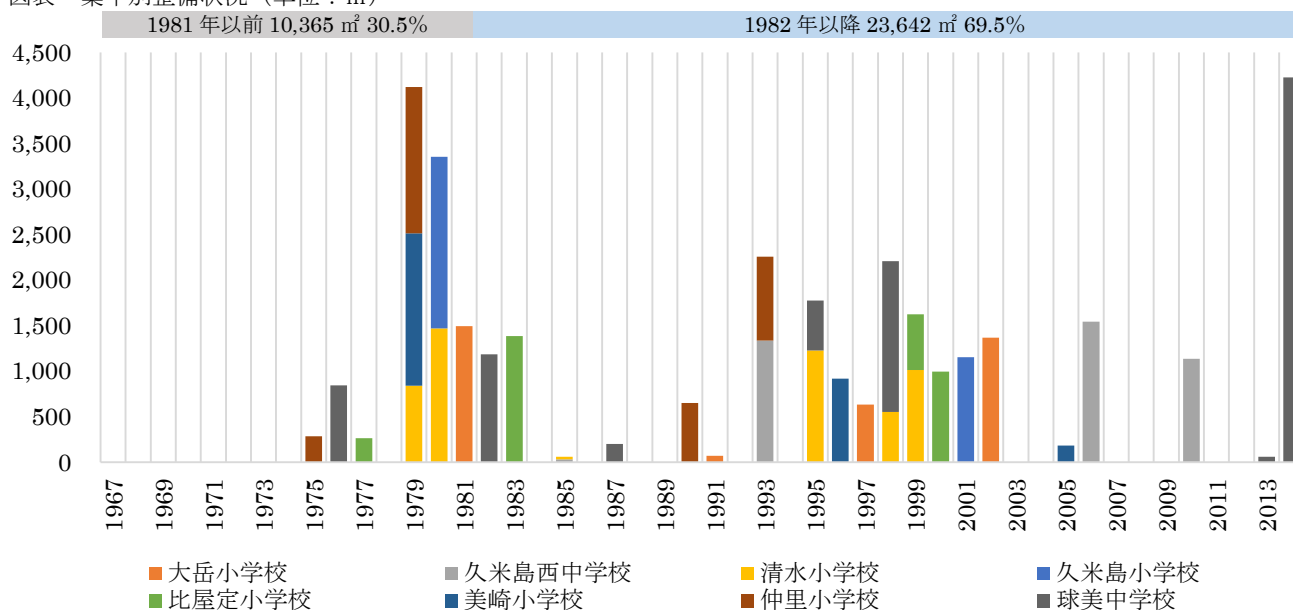
図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合	主管課
大岳小	大岳小学校	山里 177 番地	1981 年度 (昭和 56 年度)	3,565	3	単独	教育委員会
	久米島西中学校	西銘 1324 番地 1	1993 年度 (平成 05 年度)	4,052	2	単独	教育委員会
清水小	清水小学校	鳥島 198 番地	1979 年度 (昭和 54 年度)	5,134	3	単独	教育委員会
久米島小	久米島小学校	儀間 1 番地	1980 年度 (昭和 55 年度)	3,038	2	単独	教育委員会
比屋定小	比屋定小学校	宇江城 2220 番地	1977 年度 (昭和 52 年度)	3,256	2	単独	教育委員会
美崎小	美崎小学校	真謝 103 番地	1979 年度 (昭和 54 年度)	2,778	2	単独	教育委員会
仲里小	仲里小学校	謝名堂 970 番地	1975 年度 (昭和 50 年度)	3,462	2	単独	教育委員会
	球美中学校	比嘉 2856 番地	1995 年度 (平成 07 年度)	8,722	2	単独	教育委員会

②整備状況

小・中学校は、築後30年以上の仲里小学校（1975年）、比屋定小学校（1977年）、清水小学校・美崎小学校（共に1979年）、清水小学校・久米島小学校（共に1980年）、大岳小学校（1981年）があり、耐震基準を満たしていない建物等があります。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



③建物状況

耐震診断については、8 施設中 2 施設が耐震基準に適合済みとなっており、残りの 6 施設が不適合となっています。

バリアフリー対応については、「段差なし」・「車いす用」となっている施設が 8 施設中 2 施設となっており、全て中学校です。

図表 建物状況①

地区	施設名称	耐震診断		バリアフリー経路		トイレ			授乳室
		適合	不適合	段差なし	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	
大岳小	大岳小学校		○	—	—	—	—	—	—
	久米島西中学校	○		○	—	○	—	—	—
清水小	清水小学校		○	—	—	—	—	—	—
久米島小	久米島小学校		○	—	—	—	—	—	—
比屋定小	比屋定小学校		○	—	—	—	—	—	—
美崎小	美崎小学校		○	—	—	—	—	—	—
仲里小	仲里小学校		○	—	—	—	—	—	—
	球美中学校	○		○	—	○	—	—	—

7. 機能別の現状と分析

④老朽化状況

老朽化の状況は、以下のとおりです。「仲里小学校」の特別教室棟と、「球美中学校」の特別教室棟が老朽化比率 80%以上となっており、早急な対応が必要です。また、老朽化比率 60%以上の棟も多数あることから、今後計画的に建替えや大規模修繕等を行っていく必要があります。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	資産名	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
大岳小	大岳小学校	校舎	昭和 56 年度	267,650,000	47	33	187,247,940	70.0%
		校舎(特別教室)	平成 09 年度	98,003,407	47	17	35,320,426	36.0%
		校舎(普通教室)	平成 03 年度	14,140,000	47	23	6,894,664	48.8%
		体育館	平成 14 年度	242,744,771	47	12	61,754,269	25.4%
	久米島西中学校	特別教室棟	平成 05 年度	223,614,000	47	21	99,552,949	44.5%
		多目的教室棟	平成 05 年度	46,662,000	47	21	20,773,920	44.5%
		管理棟	平成 18 年度	142,519,520	47	8	24,171,307	17.0%
		普通教室棟	平成 18 年度	197,169,863	47	8	33,440,008	17.0%
清水小	清水小学校	屋内運動場	平成 22 年度	313,639,000	47	4	26,596,584	8.5%
		特別教室棟	平成 11 年度	273,868,575	47	15	87,090,203	31.8%
		普通教室棟	昭和 54 年度	169,680,000	47	35	125,902,560	74.2%
		普通教室棟	昭和 55 年度	142,410,000	47	34	102,649,128	72.1%
		管理棟	昭和 55 年度	150,490,000	47	34	108,473,192	72.1%
		放送室	昭和 55 年度	4,040,000	47	34	2,912,032	72.1%
		クラブハウス	平成 07 年度	47,809,309	47	19	19,257,588	40.3%
		屋内運動場	平成 07 年度	225,173,825	47	19	90,700,016	40.3%
久米島小	久米島小学校	管理・普通・特別教室棟	昭和 55 年度	281,446,835	47	34	202,866,875	72.1%
		特別教室棟	昭和 55 年度	53,328,000	47	34	38,438,820	72.1%
		屋内運動場	平成 13 年度	248,018,609	47	13	68,353,926	27.6%
		屋内運動場	平成 13 年度	61,046,000	47	13	16,824,276	27.6%
比屋定小	比屋定小学校	校舎	昭和 52 年度	38,986,000	47	37	30,580,617	78.4%
		校舎	昭和 58 年度	220,768,333	47	31	145,088,945	65.7%
		校舎	昭和 58 年度	29,355,798	47	31	19,292,626	65.7%
		校舎	平成 11 年度	40,400,000	47	15	12,847,200	31.8%
		校舎(特別教室)	平成 11 年度	83,022,000	47	15	26,400,994	31.8%
		体育館	平成 12 年度	274,882,650	47	14	81,585,169	29.7%
美崎小	美崎小学校	校舎	昭和 54 年度	294,420,494	47	35	218,460,004	74.2%
		校舎	昭和 54 年度	129,280,000	47	35	95,925,760	74.2%
		特別教室棟	平成 17 年度	37,370,000	47	9	7,130,196	19.1%
		体育館	平成 08 年度	280,708,388	47	18	107,118,317	38.2%
仲里小	仲里小学校	特別教室棟	昭和 50 年度	47,859,518	47	39	39,570,246	82.7%
		管理・普通・特別教室棟	昭和 54 年度	262,099,764	47	35	194,478,020	74.2%
		普通・特別教室	平成 02 年度	142,667,576	47	24	72,589,260	50.9%
		体育館	平成 05 年度	273,500,752	47	21	121,762,531	44.5%
	球美中学校	特別教室棟	昭和 51 年度	170,892,000	47	38	137,670,593	80.6%
		普通教室・特別教室棟	昭和 57 年度	203,508,286	47	32	138,060,018	67.8%
		特別教室棟	平成 07 年度	144,619,047	47	19	58,252,548	40.3%
		9号棟	平成 26 年度	261,713,307	47	0	392,306	0.1%
クラブハウス	昭和 62 年度	39,648,287	47	27	22,694,676	57.2%		
屋内運動場	平成 10 年度	318,605,458	47	16	108,070,968	33.9%		

(2) 利用の実態

①利用状況

■小学校

小学校の児童数は、平成 19 年（2007 年）をピークに徐々に減少傾向にあります

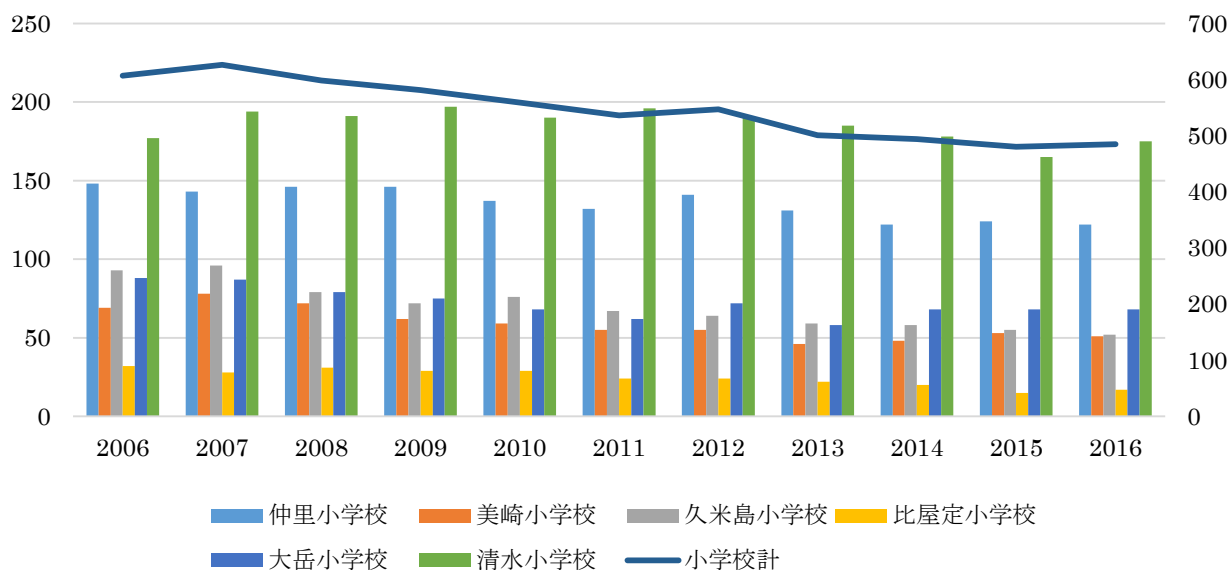
各小学校単位の減少率（2016 年度）は、下記の通りです。（2006 年を 100 とした場合）

- 仲里小学校 82.4（17.6 ポイント減少）
- 美崎小学校 73.9（26.1 ポイント減少）
- 久米島小学校 55.9（44.1 ポイント減少）
- 比屋定小学校 53.1（46.9 ポイント減少）
- 大岳小学校 77.3（22.7 ポイント減少）
- 清水小学校 98.9（1.1 ポイント減少）
- 小学校全体 79.9（20.1 ポイント減少）

小学校全体の平均（79.9 ポイント）より、下がっている小学校は美崎小学校・久米島小学校・比屋定小学校・大岳小学校の 4 校です。特に、減少幅が大きいのは比屋定小学校（53.1 ポイント）です。6 校中 4 校が平均以下です。

図表 小学校児童数推移表（単位：人）

小学校名	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
仲里小学校	148	143	146	146	137	132	141	131	122	124	122
美崎小学校	69	78	72	62	59	55	55	46	48	53	51
久米島小学校	93	96	79	72	76	67	64	59	58	55	52
比屋定小学校	32	28	31	29	29	24	24	22	20	15	17
大岳小学校	88	87	79	75	68	62	72	58	68	68	68
清水小学校	177	194	191	197	190	196	191	185	178	165	175
小学校計	607	626	598	581	559	536	547	501	494	480	485



■中学校

中学校の統合について

○比屋定中学校と具志川中学校が統合され、平成20年（2008年）から久米島西中学校となりました。

○仲里中学校と久米島中学校が統合され、平成26年（2014年）から球美中学校となりました。

各中学校単位の減少率（2016年度）は、下記の通りです。（2006年を100とした場合）

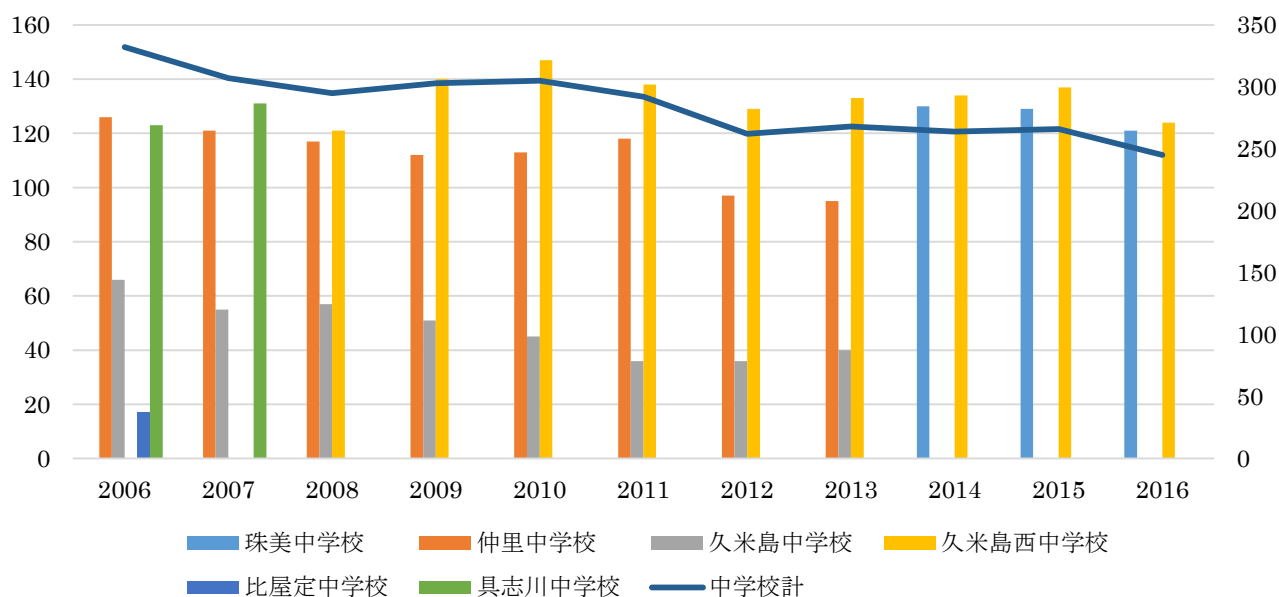
○球美中学校 63.0（37.0ポイント減少）※2006年の仲里中学校と久米島中学校を合算。

○久米島西中学校 88.6（11.4ポイント減少）※2006年の比屋定中学校と具志川中学校を合算。

○中学校全体 73.8（26.2ポイント減少）

図表 中学校生徒数推移表（単位：人）

中学校名	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
球美中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	130	129	121
仲里中学校	126	121	117	112	113	118	97	95	0	0	0
久米島中学校	66	55	57	51	45	36	36	40	0	0	0
久米島西中学校	0	0	121	140	147	138	129	133	134	137	124
比屋定中学校	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
具志川中学校	123	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校計	332	307	295	303	305	292	262	268	264	266	245



7. 機能別の現状と分析

(3) 施設コストの実態

小学校の平均コストは約 41,170 千円です。中学校の平均コストは約 59,735 千円です。

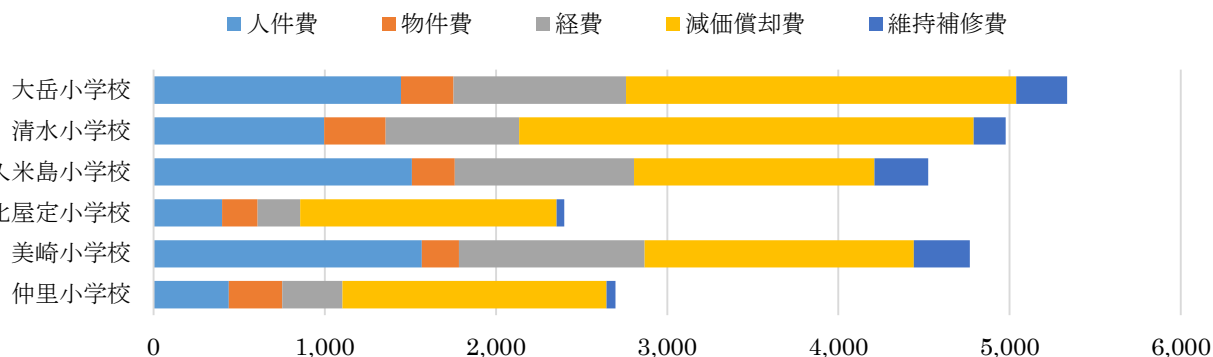
小学校の平均コストは 41,170 千円ですが、コストを児童一人当たりで見ると、児童数の多い清水小学校と仲里小学校以外は平均コスト（児童一人当たり）より低い状況あります。6校とも老朽化比率が高いため、今後は維持管理コストの他に建替コストが発生すると思われます。

図表 稼働コスト状況（単位：円）

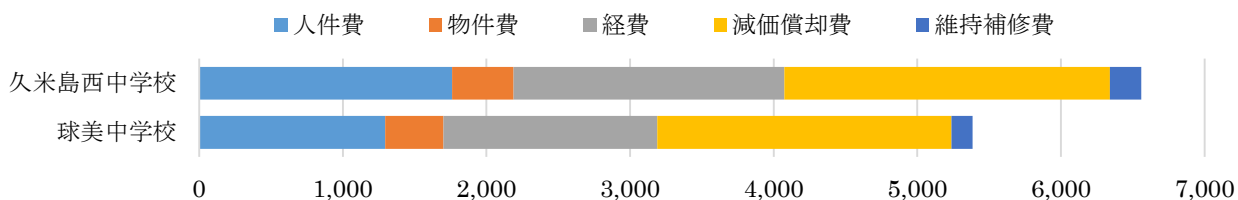
地区	施設名称	H26 施設費用					総額	児童一人当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費		
大岳小	大岳小学校	14,453,201	3,075,836	10,067,458	22,781,471	2,974,024	53,351,990	784,588
清水小	清水小学校	9,973,656	3,590,317	7,782,459	26,545,310	1,885,419	49,777,161	279,647
久米島小	久米島小学校	15,084,005	2,516,040	10,463,800	14,048,461	3,127,320	45,239,626	779,994
比屋定小	比屋定小学校	3,997,851	2,075,011	2,483,412	14,992,474	433,197	23,981,945	1,199,097
美崎小	美崎小学校	15,677,223	2,166,886	10,836,465	15,725,711	3,271,482	47,677,767	993,287
仲里小	仲里小学校	4,403,557	3,116,629	3,510,543	15,426,306	531,791	26,988,826	221,220
合計		63,589,493	16,540,719	45,144,137	109,519,733	12,223,233	247,017,315	4,257,833
平均		10,598,249	2,756,787	7,524,023	18,253,289	2,037,206	41,169,553	709,639

地区	施設名称	H26 施設費用					総額	生徒一人当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費		
大岳小	久米島西中学校	17,616,230	4,277,909	18,846,672	22,680,562	2,185,964	64,440,975	508,584
仲里小	球美中学校	12,954,192	4,055,742	14,884,250	20,486,867	1,481,408	122,285,753	393,157
合計		30,570,422	8,333,651	33,730,922	43,167,429	3,667,372	119,469,796	901,741
平均		15,285,211	4,166,826	16,865,461	21,583,715	1,833,686	59,734,898	450,870

図表 稼働コスト状況（小学校）（単位：万円）



図表 稼働コスト状況（中学校）（単位：万円）



図表 位置図 学校教育機能（小学校・中学校）



出典：国土地理院の電子国土 web

3. 子育て支援施設（保育所・幼稚園）

子育て支援施設（保育所・幼稚園）について分析を行います。

(1) 施設概要

①施設一覧

子育て支援施設（保育所・幼稚園）の施設は、全体で8施設あります。幼稚園は6施設、保育所は2施設です。（平成28年4月1日現在では幼稚園が2施設になっています。）

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合	主管課	備考
大岳小	大岳幼稚園	山里 177 番地	1981 年度 (昭和 56 年度)	1,115	1	単独	教育委員会	平成 28 年 3 月閉園
清水小	清水幼稚園	鳥島 198 番地	1980 年度 (昭和 55 年度)	314	1	単独	教育委員会	
	なでしこ第2保育園	仲泊 862 番地 33	2002 年度 (平成 14 年度)	1,288	1	単独	福祉課	
久米島小	久米島幼稚園	儀間 1 番地	1980 年度 (昭和 55 年度)	205	1	単独	教育委員会	平成 28 年 3 月閉園
比屋定小	比屋定幼稚園	宇江城 2220 番地	1993 年度 (平成 05 年度)	203	1	単独	教育委員会	平成 28 年 3 月閉園
美崎小	美崎幼稚園	真謝 103 番地	1979 年度 (昭和 54 年度)	203	1	単独	教育委員会	平成 28 年 3 月閉園
仲里小	仲里幼稚園	謝名堂 970 番地	1991 年度 (平成 03 年度)	262	1	単独	教育委員会	
	中央保育所	比嘉 2939 番地 1	2002 年度 (平成 14 年度)	863	1	単独	福祉課	

③ 運営状況

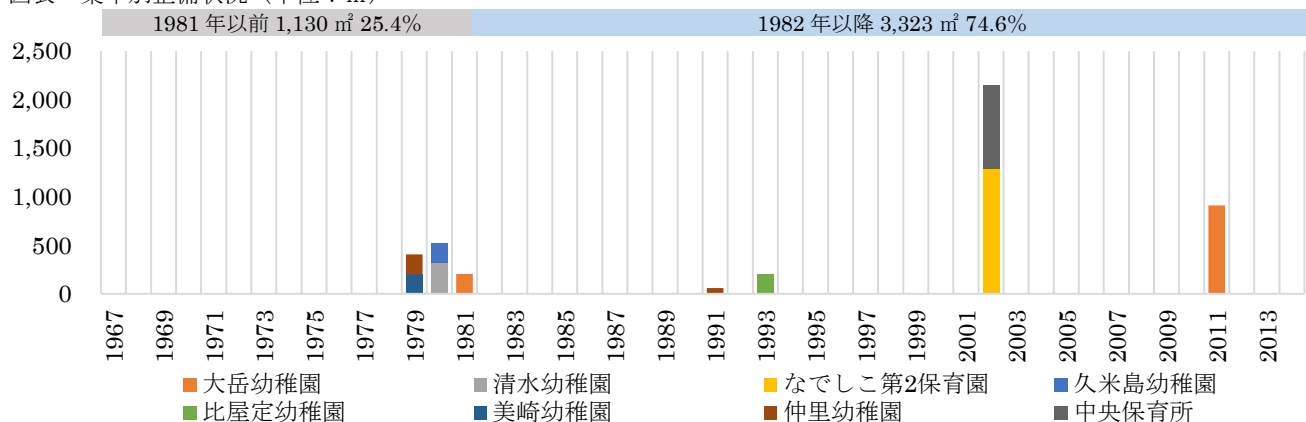
保育所：中央保育所は直営で、なでしこ第2保育園は民間が運営しています。

幼稚園：2園とも直営です。

③整備状況

保育所・幼稚園は、築後30年以上として、大岳幼稚園・清水幼稚園・久米島幼稚園・美崎幼稚園があり、耐震基準を満たしていない建物があります。保育所は、2施設とも築後10年程度です。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：固定資産台帳

7. 機能別の現状と分析

④建物状況

耐震診断については、8施設中約半数の4施設が耐震基準に適合済みとなっており、残りの4施設が不適合となっています。

バリアフリー対応については、「段差なし」・「ベビーシート」となっている施設が8施設中2施設となっており、全て保育所です。

図表 建物状況

地区	施設名称	全棟数	耐震診断		バリアフリー経路		トイレ			授乳室
			適合	不適合	段差なし	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	
大岳小	大岳幼稚園	1		1	—	—	—	—	—	—
清水小	清水幼稚園	1		1	—	—	—	—	—	—
	なでしこ第2保育園	1	1		○	—	—	—	○	—
久米島小	久米島幼稚園	1		1	—	—	—	—	—	—
比屋定小	比屋定幼稚園	1	1		—	—	—	—	—	—
美崎小	美崎幼稚園	1		1	—	—	—	—	—	—
仲里小	仲里幼稚園	1	1		—	—	—	—	—	—
	中央保育所	1	1		○	—	—	—	○	—

⑤老朽化状況

老朽化の状況は、8施設中、老朽化比率60%以上（更新検討施設）が5棟あります。その全てが幼稚園となっています。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
大岳小	大岳幼稚園	昭和56年度	43,989,275	47	33	29,222,029	66.4%
清水小	清水幼稚園	昭和55年度	61,308,500	47	34	44,063,030	71.9%
	なでしこ第2保育園	平成14年度	339,629,499	47	12	95,935,949	28.2%
久米島小	久米島幼稚園	昭和55年度	38,750,399	47	34	27,931,285	72.1%
比屋定小	比屋定幼稚園	平成05年度	59,706,344	47	21	26,581,262	44.5%
美崎小	美崎幼稚園	昭和54年度	35,703,321	47	35	26,491,862	74.2%
仲里小	仲里幼稚園	昭和54年度	36,333,211	47	35	26,959,242	74.2%
	仲里幼稚園	平成03年度	11,918,000	47	23	5,811,214	48.8%
	中央保育所	平成14年度	301,523,436	47	12	122,764,456	40.7%

(2) 利用の実態

①利用状況

■幼稚園

幼稚園の園児数は、平成19年（2007年）をピークに徐々に減少傾向にあります。

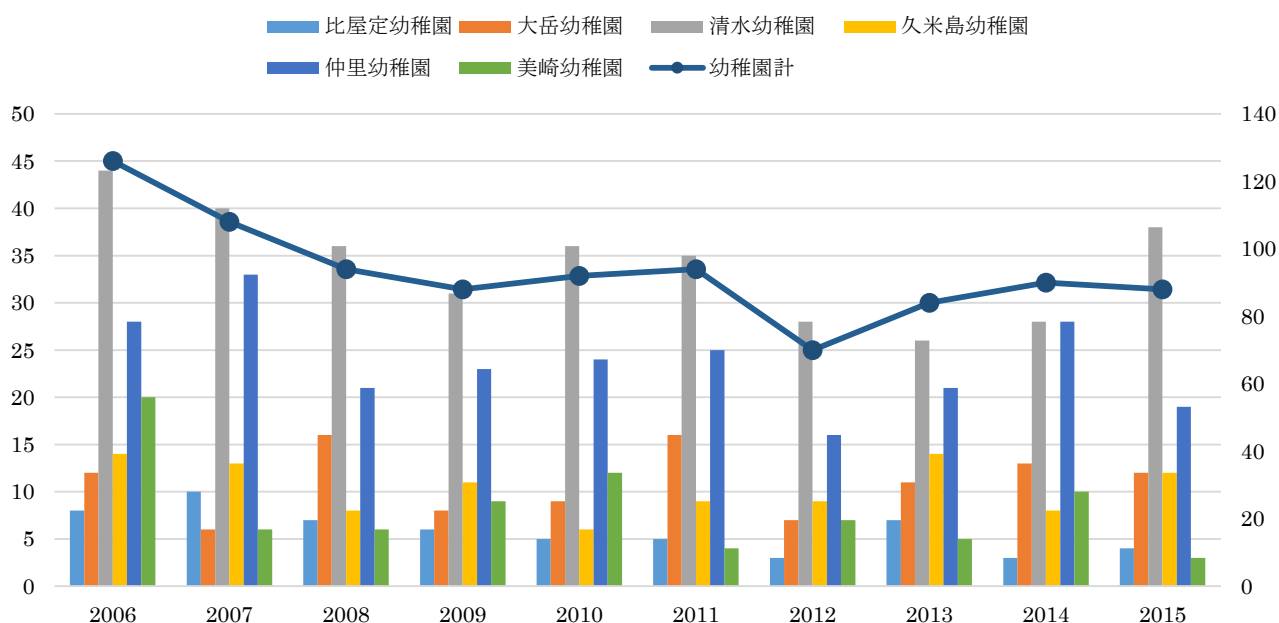
各幼稚園単位の減少率（2015年度）は、下記の通りです。（2006年を100とした場合）

- 比屋定幼稚園 50.0（50.0ポイント減少）
- 大岳幼稚園 100.0（増減なし）
- 清水幼稚園 86.3（13.7ポイント減少）
- 久米島幼稚園 85.7（14.3ポイント減少）
- 仲里幼稚園 67.8（32.2ポイント減少）
- 美崎幼稚園 15.0（85.0ポイント減少）
- 幼稚園全体 69.8（30.2ポイント減少）

幼稚園全体の平均（69.8ポイント）より、下がっている幼稚園は比屋定幼稚園・仲里幼稚園・美崎幼稚園の3園です。特に、減少幅が大きいの美崎幼稚園（85.0ポイント）です。6園中3園が平均以下であり、その内2園が園児数一桁です。

図表 幼稚園児数推移表（単位：人）

幼稚園名	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
比屋定幼稚園	8	10	7	6	5	5	3	7	3	4	—
大岳幼稚園	12	6	16	8	9	16	7	11	13	12	—
清水幼稚園	44	40	36	31	36	35	28	26	28	38	42
久米島幼稚園	14	13	8	11	6	9	9	14	8	12	—
仲里幼稚園	28	33	21	23	24	25	16	21	28	19	44
美崎幼稚園	20	6	6	9	12	4	7	5	10	3	—
幼稚園計	126	108	94	88	92	94	70	84	90	88	86

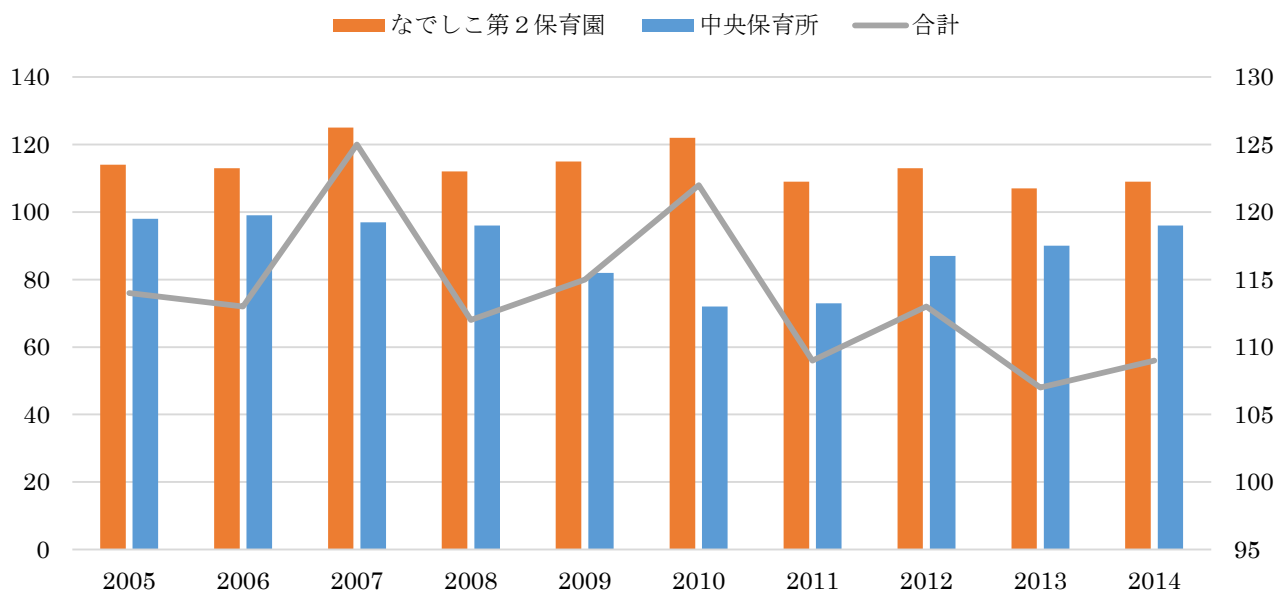


■保育所

園児数は若干減少しているものの、概ね 200 人前後で推移しています。

図表 保育園児数推移表 (単位: 人)

保育園名	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
なでしこ第2保育園	114	113	125	112	115	122	109	113	107	109	100
中央保育所	98	99	97	96	82	72	73	87	90	96	85
保育園計	212	212	222	208	197	194	182	200	197	205	185



7. 機能別の現状と分析

(3) 施設コストの実態

幼稚園の平均コストは約 11,559 千円です。保育所の平均コストは約 228,637 千円です。

幼稚園の平均コストは約 11,559 千円ですが、清水幼稚園・比屋定幼稚園が平均より高い状況です。コストを園児一人当たりで見ると、園児数の多い清水幼稚園・仲里幼稚園が平均コスト（園児一人当たり）より低い状況にあり、逆に園児数が少ない比屋定幼稚園が高い状況にあります。

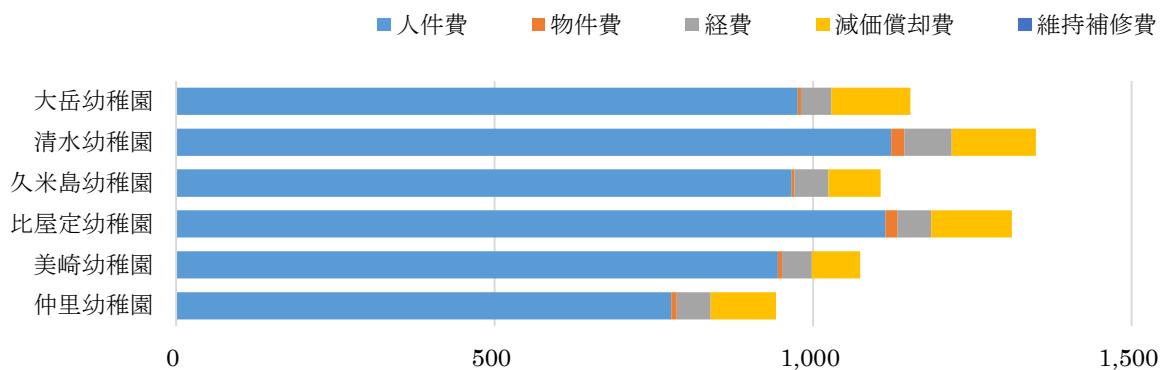
なでしこ第2保育園は、民間が運営をおこなっています。

図表 稼働コスト状況（単位：円）

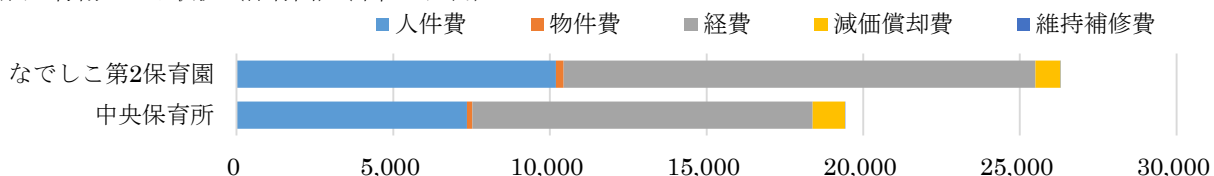
地区	施設名称	施設費用					総額	園児一人当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費		
大岳小	大岳幼稚園	9,755,941	50,806	479,651	1,238,793	0	11,525,191	886,553
清水小	清水幼稚園	11,225,032	203,439	744,006	1,323,734	0	13,496,211	482,008
久米島小	久米島幼稚園	9,660,841	47,764	529,241	821,508	0	11,059,354	1,382,419
比屋定小	比屋定幼稚園	11,133,798	192,578	527,423	1,265,774	0	13,119,573	4,373,191
美崎小	美崎幼稚園	9,446,673	62,635	468,625	756,910	0	10,734,843	1,073,484
仲里小	仲里幼稚園	7,774,871	83,084	535,097	1,022,925	0	9,415,977	336,285
合計		58,997,156	640,306	3,284,043	6,429,644	0	69,351,149	8,533,940
平均		9,832,859	106,718	547,341	1,071,607	0	11,558,525	1,422,323

地区	施設名称	施設費用					総額	園児一人当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費		
清水小	なでしこ第2保育園	101,960,576	2,387,922	150,580,882	7,994,661	127,539	263,051,580	2,458,426
仲里小	中央保育所	73,551,868	1,722,589	108,625,370	10,230,371	92,003	194,222,201	2,158,024
合計		175,512,444	4,110,511	259,206,252	18,225,032	219,542	457,273,781	4,616,450
平均		87,756,222	2,055,256	129,603,126	9,112,516	109,771	228,636,891	2,308,225

図表 稼働コスト状況（幼稚園）（単位：万円）



図表 稼働コスト状況（保育園）（単位：万円）



7. 機能別の現状と分析

図表 位置図 子育て支援施設（保育園・幼稚園）



出典：国土地理院の電子国土 web

4. 行政窓口機能

行政窓口機能はについて分析を行います。

(1) 施設概要

①施設一覧

行政窓口機能の施設は、全体で 2 施設あります。「具志川庁舎」と「仲里庁舎」です。総延床面積は、3,385 m²です。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (m ²)	階数	単独 複合
清水小	久米島町役場具志川庁舎	仲泊 699 番地	1978 年度 (昭和 53 年度)	884	2	単独
仲里小	久米島町役場仲里庁舎	比嘉 2870 番地	1989 年度 (平成 01 年度)	2,501	2	単独

②運営状況

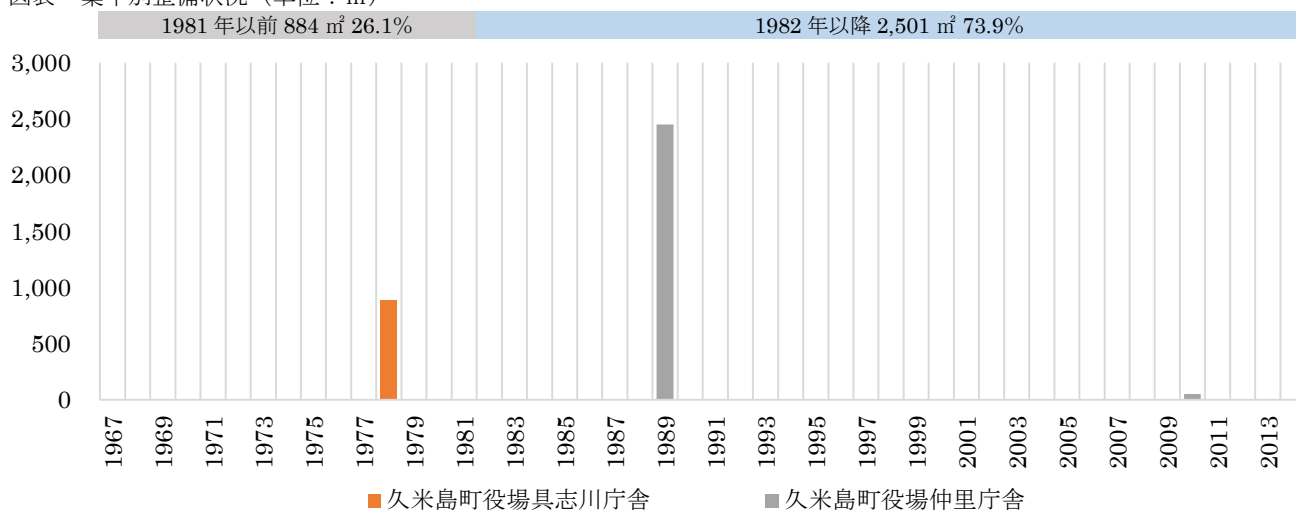
運営状況は、下図のとおりです。年間 240 日の利用が可能です。

図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所 (館) 日	運営形態	年間開館日数
清水小	久米島町役場具志川庁舎	8:30~17:15	土・日・祝日	直営	240 日
仲里小	久米島町役場仲里庁舎				

③整備状況

庁舎は各々「具志川庁舎」が昭和 53 年度 (1978 年度)、「仲里庁舎」が平成元年度 (1989 年度) に建設されています。「具志川庁舎」は耐震基準を満たしていない建物であり、老朽化も進んでいる状況です。

図表 築年別整備状況 (単位: m²)

出典：固定資産台帳

7. 機能別の現状と分析

④建物状況

具志川庁舎は耐震診断の結果、耐震基準を満たしていません。

図表 建物状況

地区	施設名称	全棟数	耐震診断		バリアフリー 経路		トイレ			障害者用駐車場		授乳室
			適合	不適合	段差 なし	エレベ ーター	車いす 用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
清水小	久米島町役場具志川庁舎	1		1	○	—	—	—	—	×	—	—
仲里小	久米島町役場仲里庁舎	1	1		○	—	○	—	—	○	1	—

⑤老朽化状況

老朽化の状況は、2施設中、具志川庁舎が老朽化比率60%以上（更新検討施設）となっています。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
清水小	久米島町役場具志川庁舎	昭和53年度	492,295,309	50	36	358,007,305	72.7%
仲里小	久米島町役場仲里庁舎	昭和64年度	601,585,455	50	25	308,232,378	51.2%

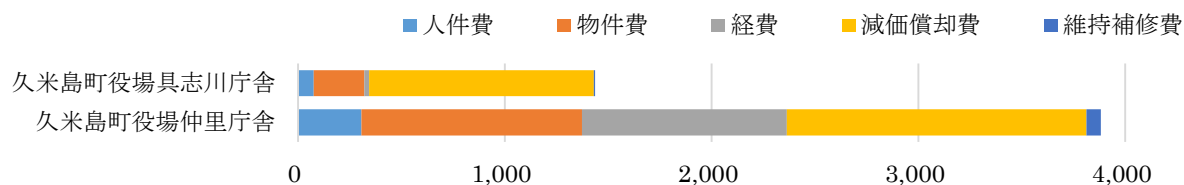
(2) 施設コストの実態

本庁機能がある仲里庁舎に人員等を多く投下しているため、具志川庁舎と比べて約3倍のコストがかかっています。

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
清水小	久米島町役場具志川庁舎	768,347	2,439,054	235,179	10,861,530	63,344	14,367,454
仲里小	久米島町役場仲里庁舎	3,073,387	10,668,338	9,903,783	14,483,186	705,039	38,833,733
合計		3,841,734	13,107,392	10,138,962	25,344,716	768,383	53,201,187
平均		1,920,867	6,553,696	5,069,481	12,672,358	384,192	26,600,593

図表 稼働コスト状況（単位：万円）



7. 機能別の現状と分析

図表 位置図 行政窓口機能



出典：国土地理院の電子国土 web

5. 保健・福祉施設

保健福祉施設について分析を行います。

(1) 施設概要

①施設一覧

保健・福祉施設の施設は、全体で9施設あります。清水小学校区に3施設、久米島小学校区に1施設、美崎小学校区に1施設、仲里小学校区に4施設あり、整備後の総延床面積は5,573㎡です。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
清水小	地域福祉センター	仲泊 587 番地	1999 年度 (平成 11 年度)	465	2	単独
	具志川歯科診療所	大田 564 番地	1980 年度 (昭和 55 年度)	165	2	単独
	老人福祉センター	大田 584 番地 1	1984 年度 (昭和 59 年度)	505	1	単独
久米島小	旧久米島中学校 (社協利用)	儀間 5 番地	1979 年度 (昭和 54 年度)	3,243	3	単独
美崎小	旧美崎保育所 (福祉施設)	真謝 2 番地	1982 年度 (昭和 57 年度)	180	2	単独
仲里小	仲里歯科診療所	謝名堂 906 番地 33	1982 年度 (昭和 57 年度)	100	1	単独
	仲里診療所	謝名堂 906 番地 1	1975 年度 (昭和 50 年度)	370	2	単独
	保健指導所	比嘉 97 番地 4	1982 年度 (昭和 57 年度)	245	2	単独
	高齢者コミュニティーセンター	真我里 366 番地	1984 年度 (昭和 59 年度)	300	1	単独

※仲里診療所は平成 28 年度に取り壊します。

②設置目的等

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
清水小	地域福祉センター	在宅の福祉活動の拠点として要援護老人等へのデイ・サービス事業等
	具志川歯科診療所	医療の機会均等を計り、地域住民の健康保持と福利増進を図る
	老人福祉センター	老人福祉のためのレクリエーションの実施指導等
久米島小	旧久米島中学校 (社協利用)	社会福祉活動の推進
美崎小	旧美崎保育所 (福祉施設)	民間へ賃貸
仲里小	仲里歯科診療所	医療の機会均等を計り、地域住民の健康保持と福利増進を図る
	仲里診療所	民間事業者が運営
	保健指導所	—
	高齢者コミュニティーセンター	在宅の福祉活動の拠点として要援護老人等へのデイ・サービス事業等

③運営状況

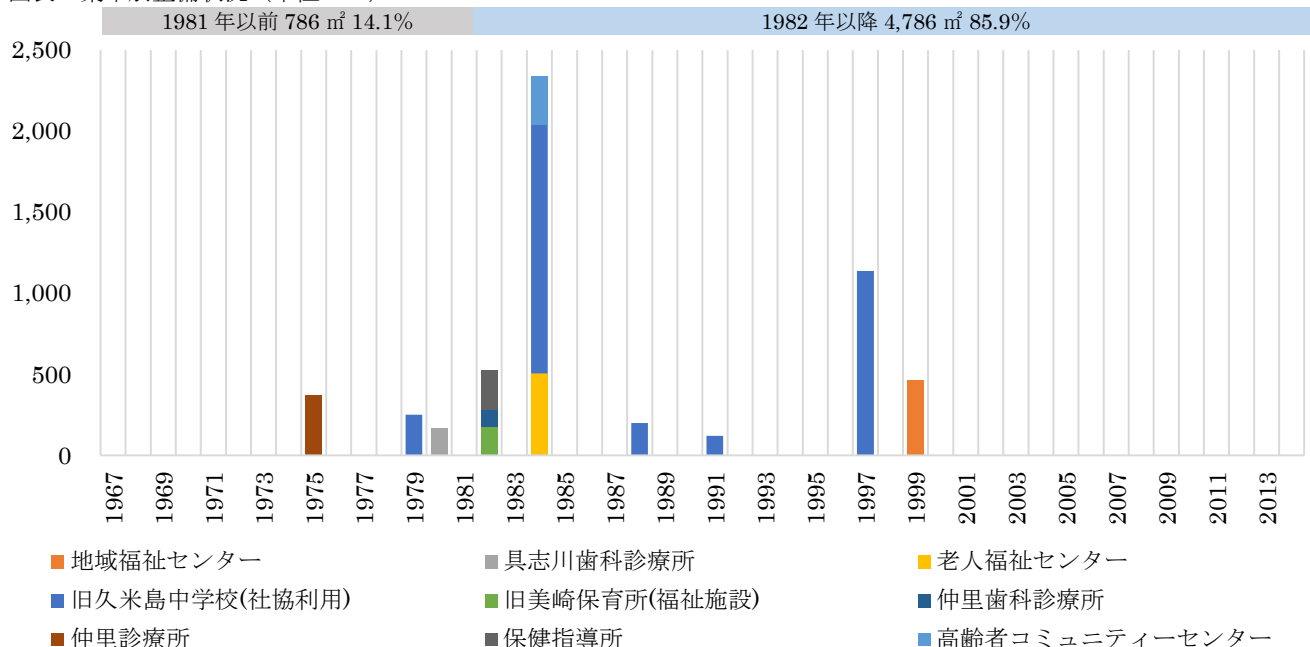
運営状況においては、「地域福祉センター」・「老人福祉センター」・「高齢者コミュニティーセンター」が指定管理において運営管理されています。

7. 機能別の現状と分析

④整備状況

「仲里診療所」は昭和50年度（1975年度）、「具志川歯科診療所」は昭和55年度（1980年度）に建設されており、築後30年以上が経過しています。2施設以外は、耐震基準を満たしている状況です。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：固定資産台帳

⑤建物状況

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
清水小	地域福祉センター	1	1			
	具志川歯科診療所	1		1		
	老人福祉センター	1	1			
久米島小	旧久米島中学校(社協利用)	1	1			
美崎小	旧美崎保育所(福祉施設)	1	1			
仲里小	仲里歯科診療所	1		1		
	仲里診療所	1	1			
	保健指導所		1			
	高齢者コミュニティーセンター	1	1			

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
清水小	地域福祉センター	○			○					
	具志川歯科診療所									
	老人福祉センター	○			○					
久米島小	旧久米島中学校(社協利用)									
美崎小	旧美崎保育所(福祉施設)									
仲里小	仲里歯科診療所									
	仲里診療所									
	保健指導所									
	高齢者コミュニティーセンター									

7. 機能別の現状と分析

⑥老朽化状況

老朽化の状況は、9施設中、老朽化比率80%以上（更新検討時期施設）が4施設あります。また60%以上（更新検討施設）が3施設あり、約6割以上が更新検討施設となっています。全体としても老朽化比率が高い状況にあります。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
清水小	地域福祉センター	平成11年度	84,778,010	50	15	46,330,895	54.6%
	具志川歯科診療所	昭和55年度	34,107,729	39	34	30,374,449	89.1%
	老人福祉センター	昭和59年度	133,901,561	47	30	85,705,531	64.0%
久米島小	旧久米島中学校(社協利用)	昭和54年度	641,779,872	47	35	318,492,162	49.6%
美崎小	旧美崎保育所(福祉施設)	昭和57年度	42,627,385	47	32	28,918,415	67.8%
仲里小	仲里歯科診療所	昭和57年度	13,351,879	39	32	10,937,858	81.9%
	仲里診療所	昭和50年度	66,855,743	39	39	61,729,473	92.3%
	保健指導所	昭和57年度	15,113,332	39	32	12,788,193	84.6%
	高齢者コミュニティーセンター	昭和59年度	67,271,703	47	30	42,784,802	63.6%

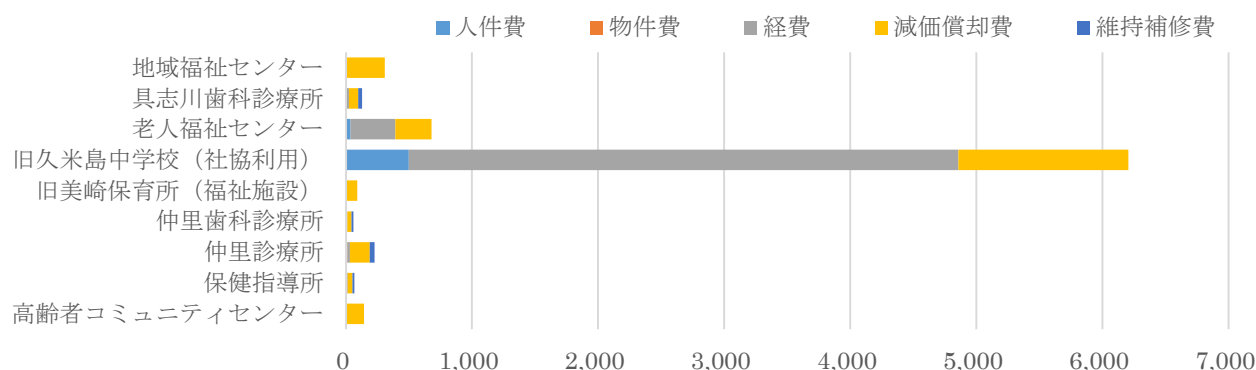
(2) 施設コストの実態

旧久米島中学校（社協利用）は、他の施設と比べて規模（延床面積）が大きいため、その分コストが多くかかっています。

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	H26 施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
清水小	地域福祉センター	0	0	0	3,088,725	0	3,088,725
	具志川歯科診療所	75,158	7,623	157,009	737,436	292,999	1,270,225
	老人福祉センター	371,309	0	3,552,800	2,856,850	0	6,780,959
久米島小	旧久米島中学校(社協利用)	4,995,355	0	43,581,348	13,471,147	0	62,047,850
美崎小	旧美崎保育所(福祉施設)	0	0	0	903,700	0	903,700
仲里小	仲里歯科診療所	34,834	3,533	72,770	341,808	135,799	588,745
	仲里診療所	98,115	9,952	204,968	1,582,807	382,498	2,278,340
	保健指導所	39,432	4,000	82,376	387,521	153,725	667,054
	高齢者コミュニティーセンター	0	0	0	1,426,160	0	1,426,160
合計		5,614,202	25,108	47,651,271	24,796,154	965,022	79,051,757
平均		623,800	2,790	5,294,586	2,755,128	107,225	8,783,529

図表 稼働コスト状況（単位：万円）



7. 機能別の現状と分析

図表 位置図 保健・福祉施設



出典：国土地理院の電子国土 web

6. 社会教育・文化施設

社会教育・文化施設について分析を行います。

(1) 施設概要

①施設一覧

社会教育・文化施設の施設は、全体で10施設あります。大岳小学校区に1施設、清水小学校区に2施設、久米島町学校区に1施設、比屋定小学校区に1施設、美崎小学校区に3施設、仲里小学校区に2施設あり、総延床面積は6,355㎡あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
大岳小	西銘保育所跡 訓練所 (久米島紬訓練所)	西銘1694番地	1975年度(昭和50年度)	290	1	単独
清水小	島の学校体験交流施設	仲泊962番地2	2005年度(平成17年度)	1,072	1	単独
	ホテル館	大田420番地	1994年度(平成06年度)	110	2	単独
久米島小	博物館	嘉手苺542番地	2000年度(平成12年度)	2,096	1	単独
比屋定小	久米島紬宇江城ユイマール館	宇江城66番地	2005年度(平成17年度)	196	1	単独
美崎小	久米島海洋深層水ふれあい館	真謝500番地7	2001年度(平成13年度)	100	1	単独
	久米島紬真謝ユイマール館	真謝1874番地1	1992年度(平成04年度)	797	1	単独
	伝統工芸体験施設	真謝1878番地	2002年度(平成14年度)	397	2	単独
仲里小	ウミガメ館 亀の館	奥武170番地	1999年度(平成11年度)	901	1	単独
	久米島紬比嘉ユイマール館	比嘉97番地1	1975年度(昭和50年度)	396	2	単独

②設置目的等

各施設の設置目的は図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
大岳小	西銘保育所跡 訓練所 (久米島紬訓練所)	久米島紬伝統工芸産業の振興を図る
清水小	島の学校体験交流施設	自然や文化、産業を、地域の人や島を訪れる人に広く紹介する交流拠点
	ホテル館	クメジマボタル及びその生息地の保護、啓発、調査研究を図る
久米島小	博物館	町民の教育、文化活動及び学術研究に寄与する
比屋定小	久米島紬宇江城ユイマール館	久米島紬伝統工芸産業の振興を図る
美崎小	久米島海洋深層水ふれあい館	久米島海洋深層水を町民及び観光客等に広く紹介し、地域振興を図るため
	久米島紬真謝ユイマール館	久米島紬伝統工芸産業の振興を図る
	伝統工芸体験施設	久米島紬伝統工芸産業の振興を図る
仲里小	ウミガメ館 亀の館	観光振興及び町民の憩いの場
	久米島紬比嘉ユイマール館	久米島紬伝統工芸産業の振興を図る

7. 機能別の現状と分析

③運営状況

運営状況については、図表の通りとなっております、観光収入の柱となっております。

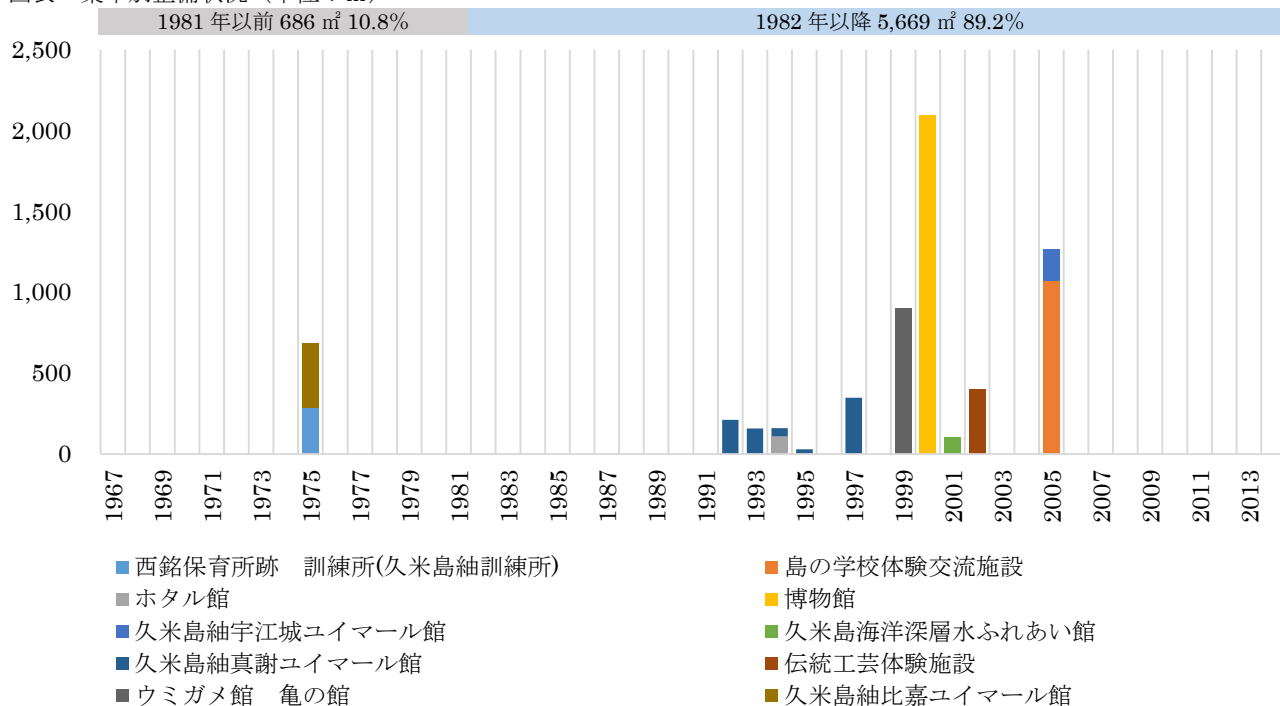
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
大岳小	西銘保育所跡 訓練所 (久米島紬訓練所)	9:00~17:00	—	指定管理	365
清水小	島の学校体験交流施設	8:30~17:15	土・日・年末年始 祝日・6月23日・	直営	246
	ホテル館	9:00~17:00	月・火・年末年始 6月23日		
久米島小	博物館	9:00~17:00	月・年末年始・祝日 6月23日		
比屋定小	久米島紬宇江城ユイマール館	9:00~17:00	年末年始・旧盆	指定管理	365
美崎小	久米島海洋深層水ふれあい館	9:30~16:00	月・年末年始	外部委託	315
	久米島紬真謝ユイマール館	9:00~17:00	年末年始・旧盆	指定管理	358
	伝統工芸体験施設				
仲里小	ウミガメ館 亀の館	9:00~17:00	火・年末年始	直営	314
	久米島紬比嘉ユイマール館		年末年始・旧盆	指定管理	365

④整備状況

社会教育・文化施設は、築後10年~20年の施設が多い状況です。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：平成26年度固定資産台帳

7. 機能別の現状と分析

⑤建物状況

耐震基準に関しては、「西銘保育所跡 訓練所」と「久米島紬比嘉ユイマール館」が耐震基準を満たしていません。

図表 建物状況②

地区	施設名称	全棟数	耐震診断		バリアフリー経路		トイレ			授乳室
			適合	不適合	段差なし	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	
大岳小	西銘保育所跡 訓練所 (久米島紬訓練所)	1		1	—	—	—	—	—	—
清水小	島の学校体験交流施設	1	1		—	—	○	—	—	—
	ホテル館	1	1		○	—	○	—	—	—
久米島小	博物館	1	1		○	—	○	—	—	—
比屋定小	久米島紬宇江城ユイマール館	1	1		—	—	—	—	—	—
美崎小	久米島海洋深層水ふれあい館	1	1		—	—	—	—	—	—
	久米島紬真謝ユイマール館	1	1		○	—	○	—	—	—
	伝統工芸体験施設	1	1		○	—	—	—	—	—
仲里小	ウミガメ館 亀の館	1	1		○	—	○	—	—	—
	久米島紬比嘉ユイマール館	1		1	—	—	—	—	—	—

⑥老朽化状況

老朽化の状況は、10 施設中、「西銘保育所跡訓練所（久米島紬訓練所）」が老朽化比率 80%以上（更新検討時期施設）となっており、「ウミガメ館 亀の館」・「久米島紬比嘉ユイマール館」が 60%以上（更新検討施設）となっています。特に「西銘保育所跡訓練所（久米島紬訓練所）」は、早急な対応が必要です。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
大岳小	西銘保育所跡 訓練所 (久米島紬訓練所)	昭和 50 年度	63,800,000	38	39	63,799,999	100.0%
清水小	島の学校体験交流施設	平成 17 年度	442,169,002	50	9	131,255,802	29.7%
	ホテル館	平成 06 年度	199,854,988	50	20	73,549,004	36.8%
久米島小	博物館	平成 12 年度	713,351,506	50	14	329,983,956	46.3%
比屋定小	久米島紬宇江城ユイマール館	平成 17 年度	56,580,611	50	9	10,184,509	18.0%
美崎小	久米島海洋深層水ふれあい館	平成 13 年度	23,107,518	38	13	11,008,337	47.6%
	久米島紬真謝ユイマール館	平成 04 年度	309,543,147	50	22	141,960,825	45.9%
	伝統工芸体験施設	平成 14 年度	141,791,303	38	12	44,749,334	31.6%
仲里小	ウミガメ館 亀の館	平成 11 年度	242,023,091	50	15	159,449,964	65.9%
	久米島紬比嘉ユイマール館	昭和 50 年度	60,318,072	50	39	47,048,094	78.0%

(2) 利用の実態

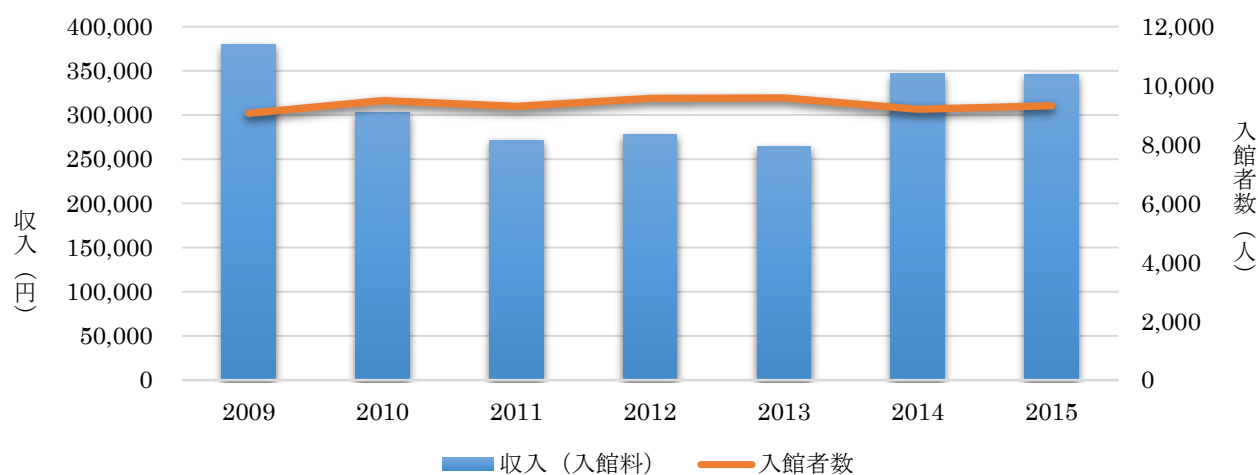
①利用状況

観光施設としての、「ホテル館」・「博物館」・「久米島紬ユイマール館」・「伝統工芸体験施設」・「ウミガメ館 亀の館」の総収入は約 8,284 千円、総コストに対する負担割合は 5.66%です。来場者一人当たりの平均収入は 3,923 円です。

「ホテル館」・「博物館」・「久米島紬ユイマール館」・「伝統工芸体験施設」・「ウミガメ館 亀の館」の収入および入場者数に関しては下記の図表をご覧ください。

■ホテル館 収入および入館者の状況

図表 久米島ホテル館 収入および入館者推移 (単位: 円・人)



※入館者数と収入が比例しないのは入館料の額を減額又は免除しているため

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計	平均
収入	380,130	303,110	271,340	278,350	264,530	347,120	346,400	4,035,560	310,428
入館者数	9,061	9,490	9,300	9,563	9,581	9,200	9,313	121,703	9,362

◆開館時間

午前9時～午後5時

◆休館日

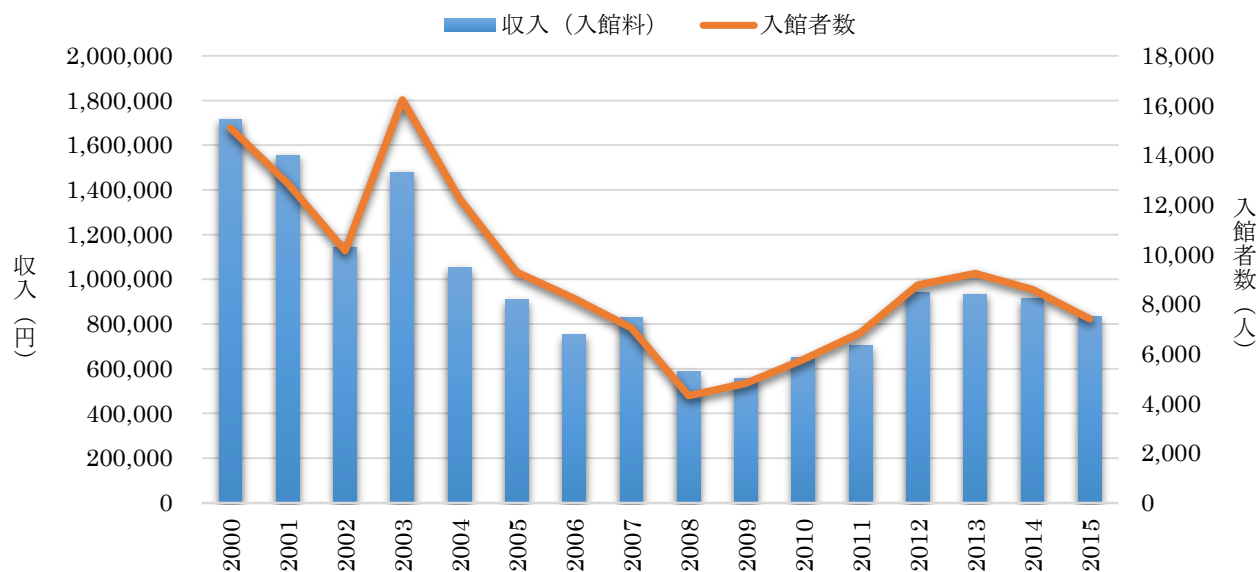
毎週月・火 年末年始
6月23日

◆入館料

区分	個人	団体 (20名以上)
高校生・大学生・一般	100円	80円
小学生・中学生	50円	40円

■博物館 収入および入館者の状況

図表 久米島博物館 収入および入館者数推移 (単位: 円・人)



	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
収入	1,714,950	1,555,540	1,143,460	1,479,670	1,053,520	908,300	751,560	827,720	586,770
入館者数	15,080	12,854	10,156	16,225	12,243	9,283	8,233	7,046	4,314
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計	平均
収入	554,830	649,360	704,600	939,290	932,990	912,430	832,230	14,714,990	139,470
入館者数	4,813	5,766	6,852	8,774	9,239	8,592	7,408	980,999	9,298

◆開館時間

午前9時～午後5時 (但し入館は午後4時30分まで)

◆入館料

区分	個人	団体(20名以上)
一般	200円	160円
高校生・大学生	150円	120円
小学生・中学生	100円	80円

※特別展や企画展は別途料金が必要になる場合があります。

※エントランスロビーや図書館は無料で利用できます。

◆休館日

毎週月曜日

年末年始

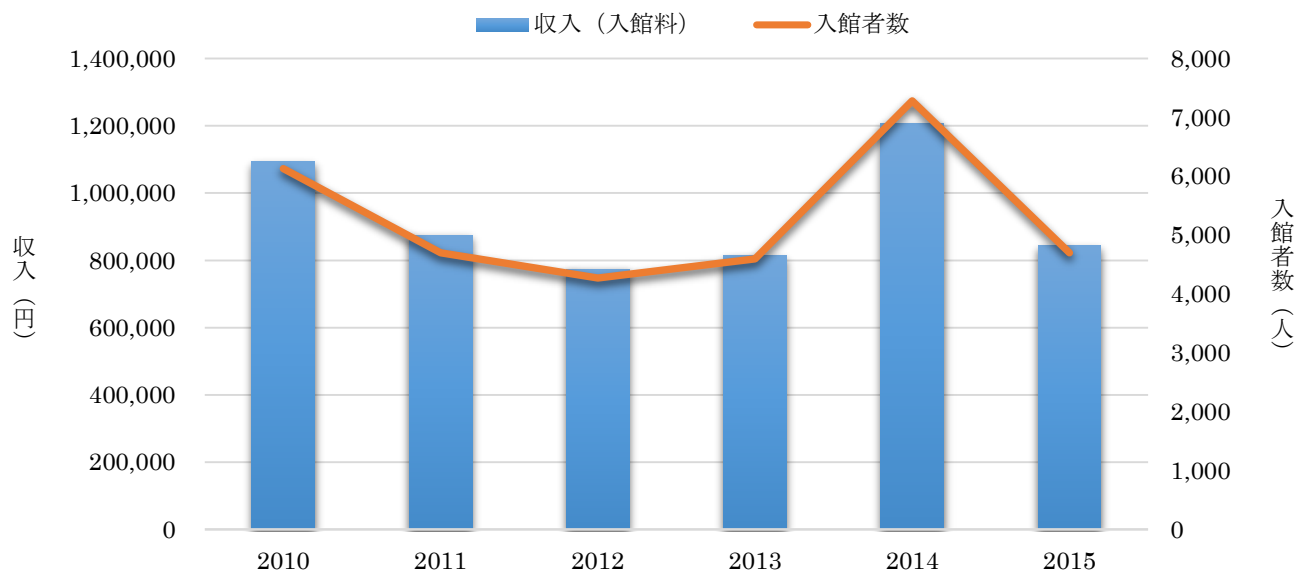
国民の休日(こどもの日・文化の日を除く)

慰霊の日(6月23日)

7. 機能別の現状と分析

■久米島紬真謝ユイマール館 収入および入館者の状況

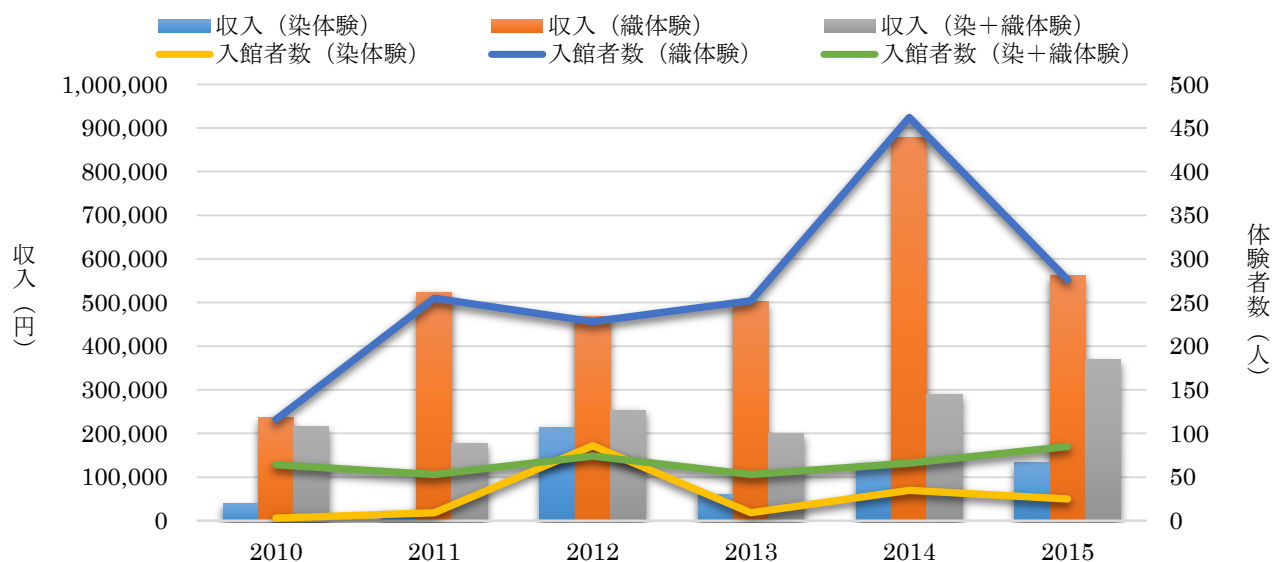
図表 久米島紬真謝ユイマール館 収入および入館者推移 (単位：円・人)



	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計	平均
収入(入館料)	1,093,000	875,000	774,000	813,100	1,206,000	843,000	5,604,100	934,017
入館者数	6,128	4,700	4,272	4,598	7,281	4,701	31,680	5,280

■伝統工芸体験施設 収入および入館者の状況

図表 伝統工芸体験施設 収入および体験者数推移 (単位：円・人)

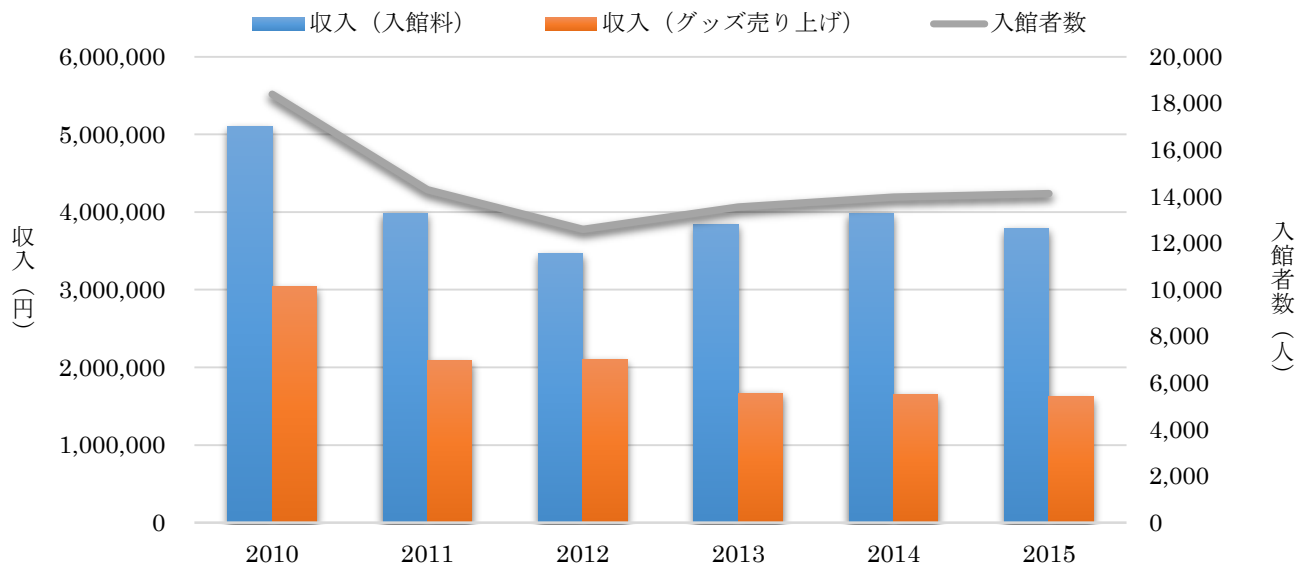


	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計	平均
収入(染体験料)	39,000	20,000	214,000	61,000	132,000	133,000		99,833
収入(織体験料)	236,000	524,000	468,000	502,000	878,000	561,000	5,269,500	528,167
収入(染+織体験料)	215,000	177,000	253,000	199,000	289,000	368,500		250,250
入館者数(染体験)	3	9	86	9	35	25		28
入館者数(織体験)	116	255	228	252	462	276	2,151	265
入館者数(染+織体験)	64	53	74	53	66	85		66

7. 機能別の現状と分析

■ウミガメ館 亀の館 収入および入館者の状況

図表 久米島ウミガメ館 亀の館 収入および入館者推移 (単位：円・人)



	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計	平均
収入(入館料)	5,102,625	3,985,990	3,466,070	3,841,820	3,987,260	3,794,500	36,164,936	4,029,711
収入(グッズ売り上げ)	3,035,155	2,085,290	2,101,180	1,669,976	1,654,570	1,622,500		2,028,112
入館者数	18,392	14,298	12,592	13,554	13,972	14,123	86,931	14,489

◆開館時間

午前9時～午後5時 (但し入館は午後4時30分まで)

◆入館料

区分	個人	団体(15名以上)
大人(高校生以上)	300円	270円
小学生・中学生	200円	180円

◆休館日

毎週火曜日

※4月29日～5月5日、7月21日～8月31日の期間、火曜日が祝祭日の場合は開館します。

7. 機能別の現状と分析

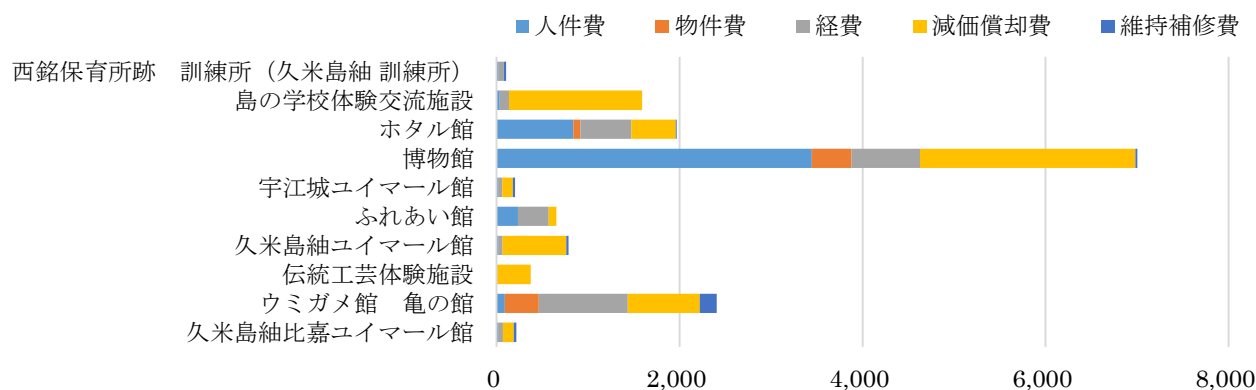
(3) 施設コストの実態

各施設のコスト状況は、以下のとおりです。

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
大岳小	西銘保育所跡 訓練所 (久米島紬訓練所)	166,536	0	547,515	38,279	276,295	1,028,625
清水小	島の学校体験交流施設	339,450	0	1,000,000	14,583,977	0	15,923,427
	ホテル館	8,396,637	753,468	5,578,250	4,863,268	101,957	19,693,580
久米島小	博物館	34,435,180	4,360,860	7,468,227	23,570,281	211,336	70,045,884
比屋定小	久米島紬宇江城ユイマール館	147,690	0	485,555	1,131,612	245,027	2,009,884
美崎小	久米島海洋深層水ふれあい館	2,319,572	0	3,361,294	846,794	0	6,527,660
	久米島紬真謝ユイマール館	150,652	0	495,296	6,957,929	249,943	7,853,819
	伝統工芸体験施設	0	0	0	3,729,111	0	3,729,111
仲里小	ウミガメ館 亀の館	905,199	3,690,260	9,722,630	7,872,137	1,885,652	24,075,878
	久米島紬比嘉ユイマール館	157,447	0	517,634	1,206,361	261,215	2,142,657
合 計		47,018,362	8,804,588	29,176,401	64,799,749	3,231,425	153,030,525
平 均		4,701,836	880,459	2,917,640	6,479,975	323,143	15,303,052

図表 稼働コスト状況（単位：万円）



図表 位置図 社会教育・文化施設



出典：国土地理院の電子国土 web

7. スポーツ施設

スポーツ施設について分析を行います。

(1) 施設概要

①施設一覧

スポーツ施設は、全体で7施設あります。清水小学校区に3施設、久米島小学校区に1施設、仲里小学校区に3施設あります。特に久米島野球場等は、プロ野球『東北楽天ゴールデンイーグルス』の春季キャンプ地として利用されています。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
清水小	久米島野球場	鳥島 100 番地	2006 年度 (平成 18 年度)	1,040	1	単独
	ホタルドーム	鳥島 100 番地	2002 年度 (平成 14 年度)	4,807	1	単独
	多目的グラウンド	鳥島 100 番地	2003 年度 (平成 15 年度)	29	1	単独
久米島小	パークゴルフ場	儀間 30 番地 7	2011 年度 (平成 23 年度)	208	1	単独
仲里小	仲里総合グラウンド	謝名堂 546 番地の 1	1981 年度 (昭和 56 年度)	54	1	単独
	仲里野球場	謝名堂 546 番地 1	2011 年度 (平成 23 年度)	820	1	単独
	B & G 海洋センター	謝名堂 546 番地 2	1983 年度 (昭和 58 年度)	1,353	1	単独

②設置目的等

各施設の設置目的は図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
清水小	久米島野球場	町民の健康の増進と体育の振興を図る
	ホタルドーム	
	多目的グラウンド	
久米島小	パークゴルフ場	町民の健康の増進とスポーツ振興及びレクリエーションに寄与
仲里小	仲里総合グラウンド	町民の健康の増進と体育の振興を図る
	仲里野球場	
	B & G 海洋センター	海洋性スポーツを通じて、健全でたくましい青少年の育成と住民の健康増進を図る

③運営状況

運営形態は、すべて直営でおこなわれています。

図表 運営状況

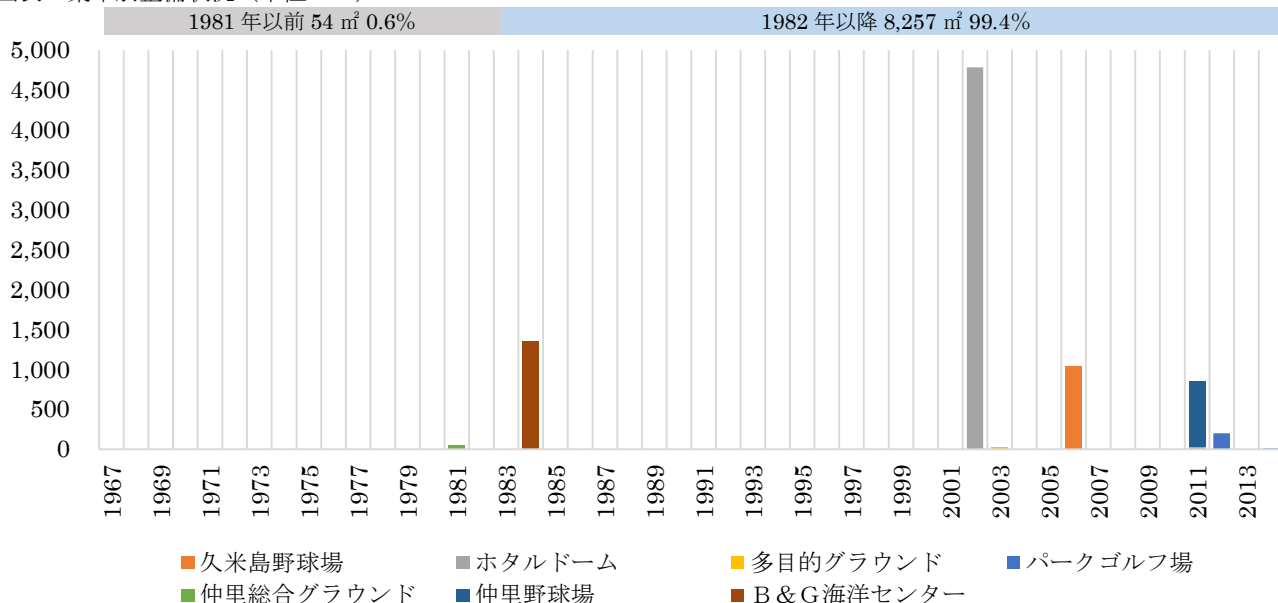
地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
清水小	久米島野球場	9:00~17:00	年末年始	直営	300
	ホタルドーム	9:00~22:00	月・年末年始・6月23日		
	多目的グラウンド	9:00~17:00	年末年始		
久米島小	パークゴルフ場	8:30~18:30	—		365
仲里小	仲里総合グラウンド	9:00~17:00	年末年始		300
	仲里野球場		月・年末年始・祝日 (10月~4月休み)		150
	B & G 海洋センター				

7. 機能別の現状と分析

④整備状況

施設の中で最も古いのは、「仲里総合グラウンド」で、昭和56年度（1981年度）です。その他「ホテルドーム」や「パークゴルフ場」等の施設は、築後10年程度の比較的新しい施設です。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：平成26年度固定資産台帳

⑤建物状況

耐震診断については、7施設中6施設が耐震基準に適合済みとなっており、残りの1施設が不適合となっています。

図表 建物状況②

地区	施設名称	全棟数	耐震診断		バリアフリー経路		トイレ			授乳室
			適合	不適合	段差なし	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	
清水小	久米島野球場	1	1		—	—	○	—	—	—
	ホテルドーム	1	1		○	—	○	—	—	—
	多目的グラウンド	1	1		—	—	—	—	—	—
久米島小	パークゴルフ場	1	1		—	—	—	—	—	—
仲里小	仲里総合グラウンド	1		1	—	—	—	—	—	—
	仲里野球場	1	1		—	—	—	—	—	—
	B&G海洋センター	1	1		—	—	—	—	—	—

7. 機能別の現状と分析

⑥老朽化状況

老朽化の状況は、7施設中、「仲里総合グラウンド」が老朽化比率80%以上（更新検討時期施設）、「B & G海洋センター」が老朽化比率60%以上（更新検討施設）となっています。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却 累計額	老朽化比率
清水小	久米島野球場	平成18年度	1,087,691,613	50	8	331,710,751	30.5%
	ホタルドーム	平成14年度	1,474,595,976	47	12	477,460,528	32.4%
	多目的グラウンド	平成15年度	127,560,326	50	11	35,962,466	28.2%
久米島小	パークゴルフ場	平成23年度	564,436,176	40	3	52,599,715	9.3%
仲里小	仲里総合グラウンド	昭和56年度	59,566,249	50	33	53,917,904	90.5%
	仲里野球場	平成23年度	110,108,892	30	3	44,697,247	40.6%
	B & G海洋センター	昭和58年度	454,169,944	50	31	329,349,809	72.5%

(2) 利用の実態

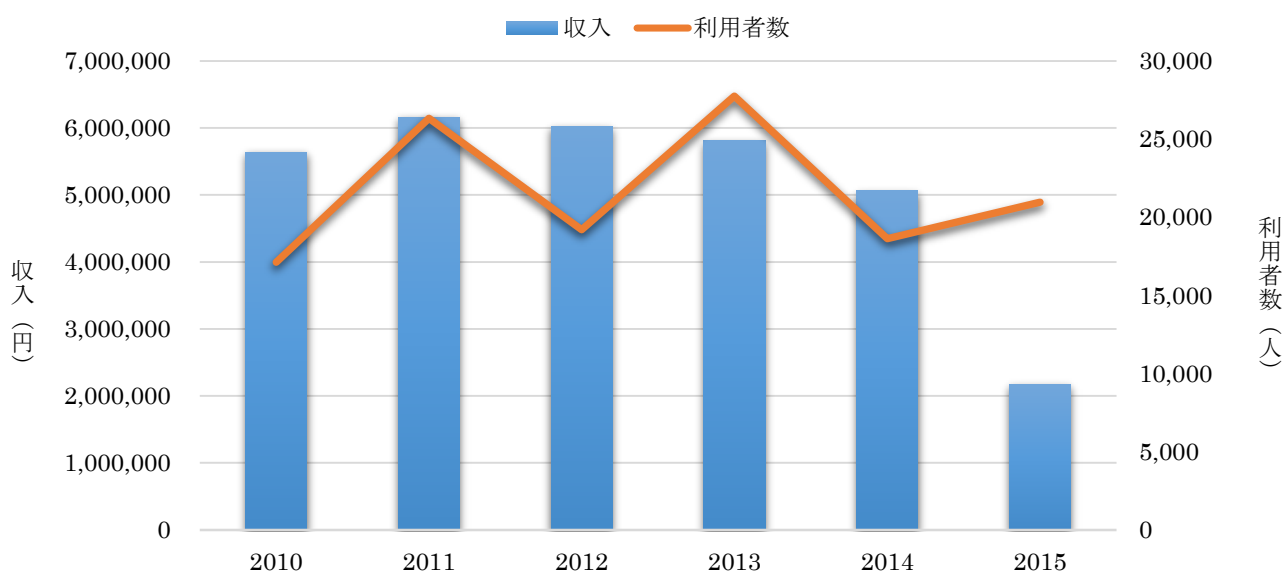
①利用状況

スポーツ施設として、「久米島野球場」・「ホテルドーム」・「多目的グラウンド」・「パークゴルフ場」・「仲里総合グラウンド」・「仲里野球場」・「B&G 海洋センター」の総収入は約 15,942 千円、総コストに対する負担割合は 5.31%です。来場者一人当たりの平均利用料は約 8,816 円です。

「久米島野球場」・「ホテルドーム」・「多目的グラウンド」・「パークゴルフ場」・「仲里総合グラウンド」・「仲里野球場」・「B&G 海洋センター」に関しては下記図表をご覧ください。

■久米島総合運動公園（久米島野球場・ホテルドーム・多目的グラウンド） 収入および利用者の状況

図表 久米島総合運動公園（久米島野球場・ホテルドーム・多目的グラウンド）収入および利用者数推移（単位：円・人）

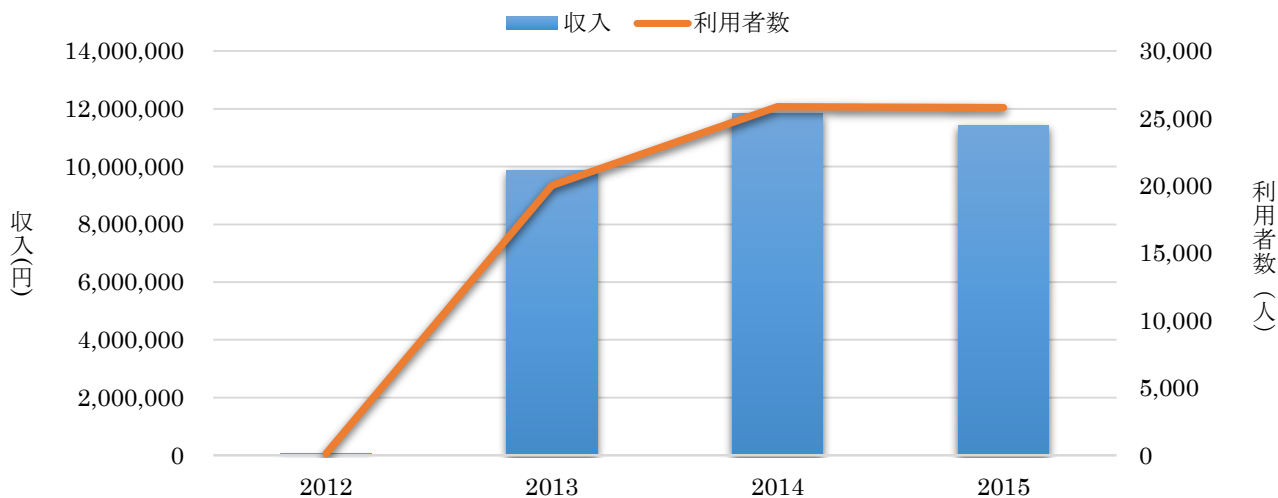


	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計	平均
収入	5,639,680	6,161,140	6,024,445	5,807,125	5,060,640	2,173,105	30,866,135	5,144,356
利用者数	17,122	26,327	19,206	27,747	18,621	20,955	129,978	21,663

7. 機能別の現状と分析

■パークゴルフ場 収入および利用者の状況

図表 久米島シーサイドパークゴルフ場 収入および利用者数推移 (単位：円・人)



	2012	2013	2014	2015	合計	平均
収入	60,600	9,880,850	11,841,900	11,422,976	33,206,326	8,301,582
利用者数	130	20,023	25,873	25,802	71,828	17,957

◆開館時間

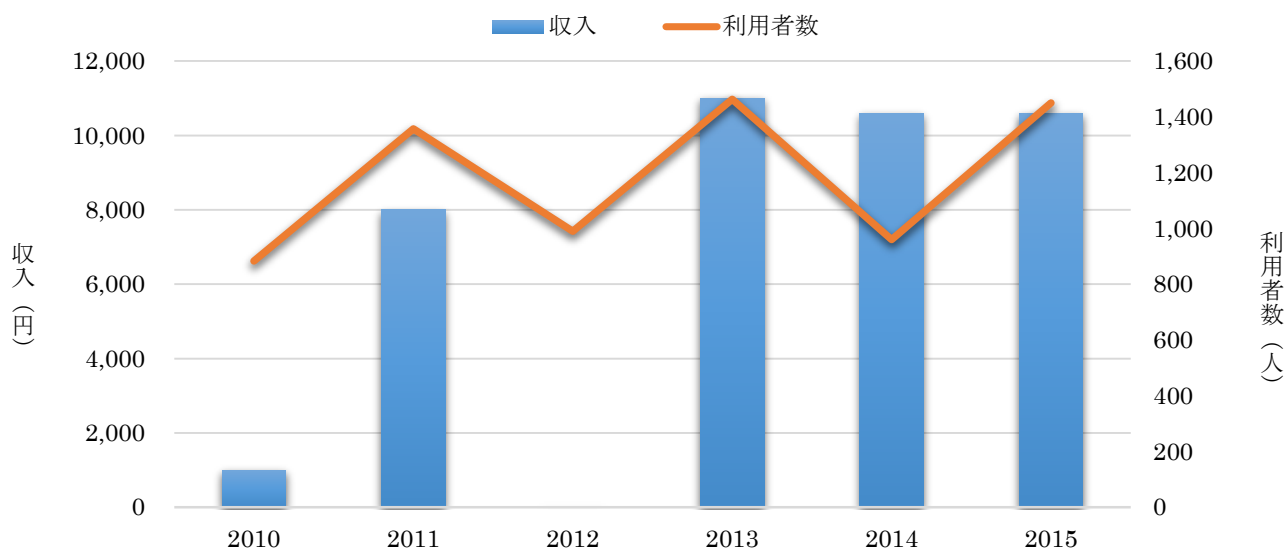
受付時間：	8時30分～	最終受付：	4月～9月 … 17時30分まで 10月～3月 … 16時00分まで
オープン：	9時～	利用時間：	4月～9月 … 18時30分まで 10月～3月 … 17時00分まで

◆入館料

利用区分	18H	36H	半日券	一日券	クラブ・ボール	シューズ
町内	300円	500円	700円	1,000円	100円	200円
町内(65歳以上中学生以下)	150円	250円	700円	1,000円		
島外	500円	900円	1,000円	1,500円		
島外(中学生以下)	250円	450円	1,000円	1,500円		

■仲里総合グラウンド 収入および利用者の状況

図表 仲里総合グラウンド 収入および利用者数推移（単位：円・人）

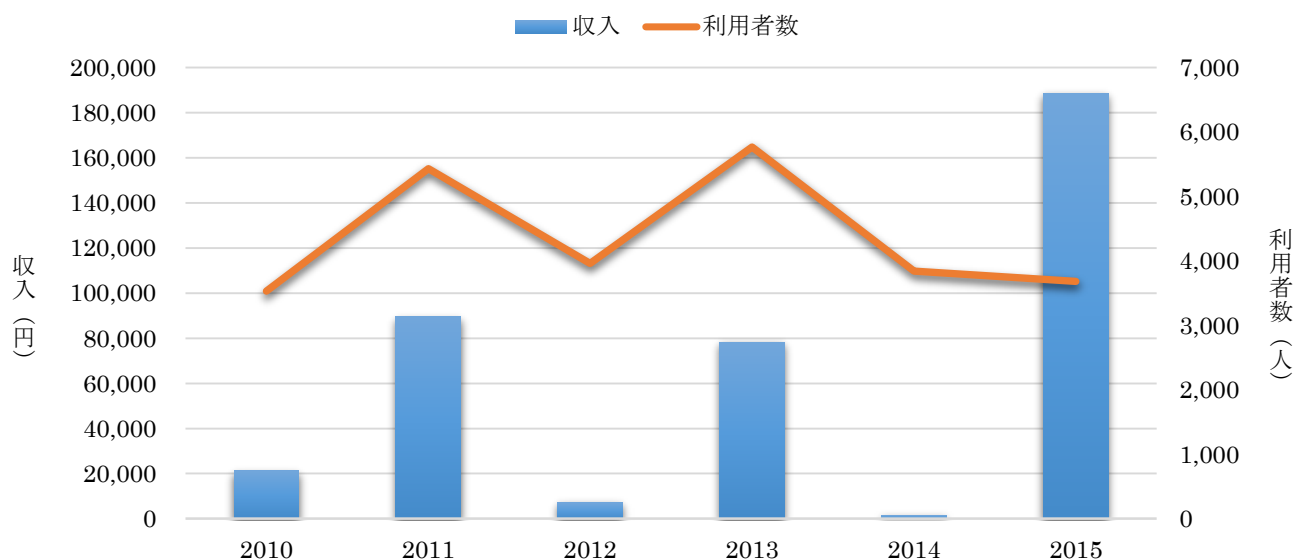


※利用者数と収入が比例しないのは使用料の額を減額又は免除しているため

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計	平均
収入	1,000	8,000	0	11,000	10,600	10,600	41,200	6,867
利用者数	883	1,357	990	1,463	960	1,450	7,103	1,184

■仲里野球場 収入および利用者の状況

図表 仲里野球場 収入および利用者数推移（単位：円・人）

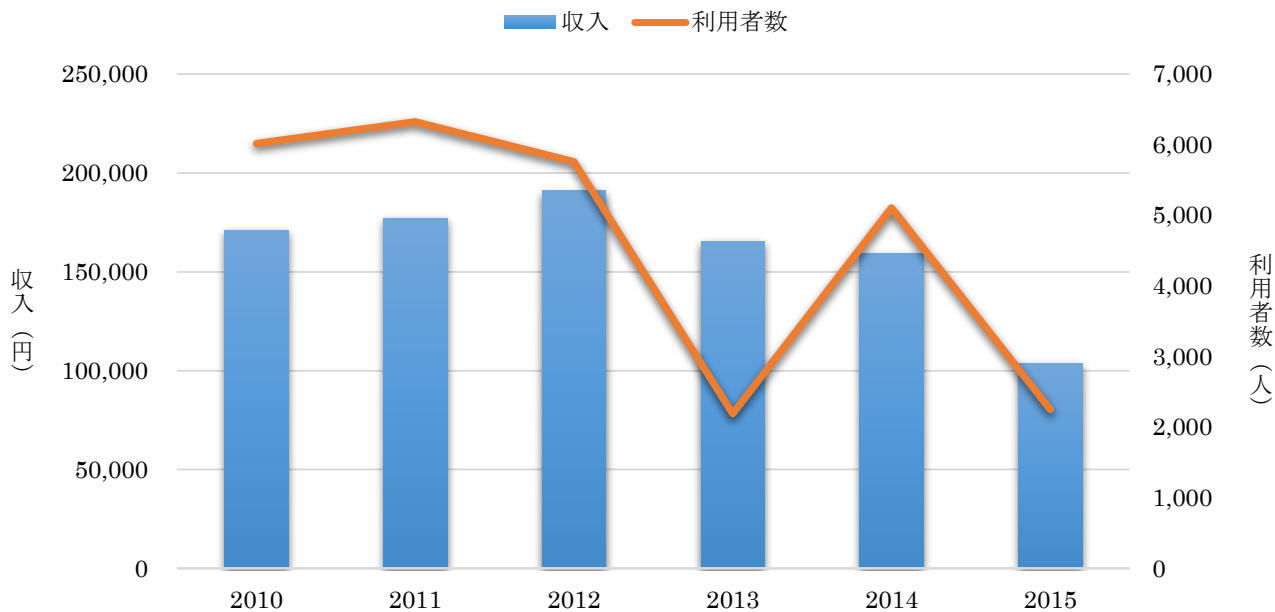


※利用者数と収入が比例しないのは使用料の額を減額又は免除しているため

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計	平均
収入	21,200	89,500	7,200	78,200	1,600	188,750	386,450	64,408
利用者数	3,532	5,430	3,961	5,768	3,841	3,682	26,214	4,369

■ B & G 海洋センター 収入および利用者の状況

図表 久米島仲里 B&G 海洋センター 収入および利用者数推移 (単位: 円・人)



	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計	平均
収入	170,955	177,100	191,000	165,550	159,350	103,850	967,805	161,301
利用者数	6,016	6,324	5,759	2,191	5,105	2,251	27,646	4,608

◆利用時間

午前 10 時～午後 6 時
 【昼休み】 午後 12 時～13 時
 オープン期間：5 月～9 月

◆休館日

毎週月・火

◆利用料

区分	個人
大人	100 円 (町外 200 円)
子ども	50 円 (町外 100 円)

7. 機能別の現状と分析

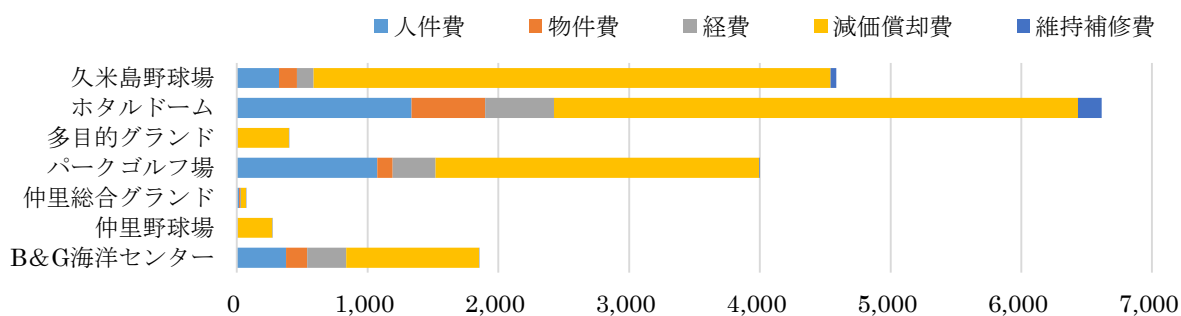
(3) 施設コストの実態

各施設のコスト状況は、以下のとおりです。

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	H26 施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
清水小	久米島野球場	3,233,209	1,364,020	1,276,761	39,539,867	434,237	45,848,094
	ホテルドーム	13,351,956	5,632,896	5,272,548	40,086,761	1,793,240	66,137,401
	多目的グラウンド	41,371	17,454	16,337	3,909,402	5,556	3,990,120
久米島小	パークゴルフ場	10,752,568	1,168,558	3,265,482	24,768,433	31,536	39,986,577
仲里小	仲里総合グラウンド	167,590	70,702	66,179	410,692	22,508	737,671
	仲里野球場	32,302	13,627	12,756	2,647,649	4,338	2,710,673
	B&G海洋センター	3,770,516	1,620,015	2,988,288	10,149,177	23,112	18,551,108
合 計		31,349,512	9,887,272	12,898,351	121,511,981	2,314,528	177,961,644
平 均		4,478,502	1,412,467	1,842,622	17,358,854	330,647	25,423,092

図表 稼働コスト状況（単位：万円）



7. 機能別の現状と分析

図表 位置図 スポーツ施設



出典：国土地理院の電子国土 web

8. 教員住宅

教員住宅について分析を行います。

(1) 施設概要

①施設一覧

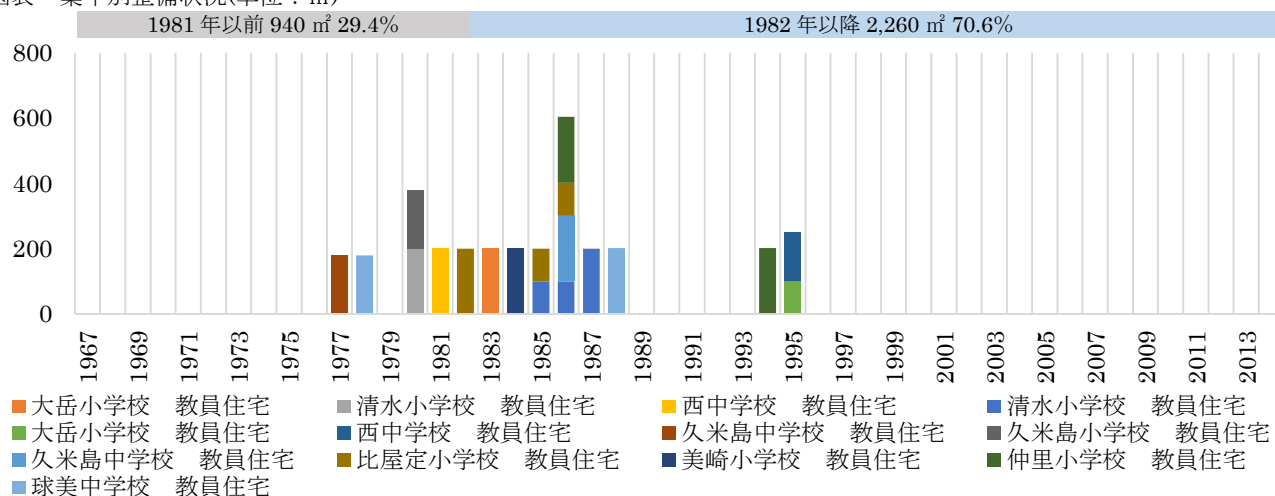
教員住宅の施設は、全体で 13 施設あります。大岳小学校区に 3 施設、清水小学校区に 3 施設、久米島小学校区に 3 施設、比屋定小学校区に 1 施設、美崎小学校区に 1 施設、仲里小学校区に 2 施設があります。総延床面積は 3,200 m²です。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (m ²)	階数	単独複合
大岳小	大岳小学校 教員住宅	上江洲 190 番地	1983 年度 (昭和 58 年度)	200	2	単独
	清水小学校 教員住宅	西銘 1365 番地 2	1980 年度 (昭和 55 年度)	200	2	単独
	西中学校 教員住宅	西銘 1365 番地 2	1981 年度 (昭和 56 年度)	200	2	単独
清水小	清水小学校 教員住宅	仲泊 260 番地 2	1985 年度 (昭和 60 年度)	400	2	単独
	大岳小学校 教員住宅	大田 484 番地 2	1995 年度 (平成 07 年度)	100	2	単独
	西中学校 教員住宅	大田 484 番地 2	1995 年度 (平成 07 年度)	150	2	単独
久米島小	久米島中学校 教員住宅	嘉手苧 114 番地	1977 年度 (昭和 52 年度)	180	2	単独
	久米島小学校 教員住宅	儀間 349 番地	1980 年度 (昭和 55 年度)	180	2	単独
	久米島中学校 教員住宅	儀間 555 番地	1986 年度 (昭和 61 年度)	202	2	単独
比屋定小	比屋定小学校 教員住宅	宇江城 88 番地 8	1982 年度 (昭和 57 年度)	400	2	単独
美崎小	美崎小学校 教員住宅	宇根 536 番地	1984 年度 (昭和 59 年度)	202	2	単独
仲里小	仲里小学校 教員住宅	比嘉 2874 番地 21、2908 番地	1986 年度 (昭和 61 年度)	404	2	単独
	球美中学校 教員住宅	比嘉 2907 番地 1、2874 番地 13	1978 年度 (昭和 53 年度)	382	2	単独

②整備状況

教員住宅は、築後 20 年から 30 年経過している施設が多く、「球美中学校教員住宅」・「久米島小学校教員住宅」・「清水小学校教員住宅」等は建替えを検討している状況です。

図表 築年別整備状況(単位：m²)

出典：平成 26 年度固定資産台帳

7. 機能別の現状と分析

③建物状況

耐震診断については、13 施設 19 棟中 13 棟が耐震基準に適合済みとなっており、残りの 6 棟が不適合となっています。

図表 建物状況②

地区	施設名称	全棟数	耐震診断		バリアフリー経路		トイレ			授乳室
			適合	不適合	段差なし	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	
大岳小	大岳小学校 教員住宅	1	1		—	—	—	—	—	—
	清水小学校 教員住宅	1		1	—	—	—	—	—	—
	西中学校 教員住宅	1		1	—	—	—	—	—	—
清水小	清水小学校 教員住宅	3	3		—	—	—	—	—	—
	大岳小学校 教員住宅	1	1		—	—	—	—	—	—
	西中学校 教員住宅	1	1		—	—	—	—	—	—
久米島小	久米島中学校 教員住宅	1		1	—	—	—	—	—	—
	久米島小学校 教員住宅	1		1	—	—	—	—	—	—
	久米島中学校 教員住宅	1	1		—	—	—	—	—	—
比屋定小	比屋定小学校 教員住宅	3	3		—	—	—	—	—	—
美崎小	美崎小学校 教員住宅	1	1		—	—	—	—	—	—
仲里小	仲里小学校 教員住宅	2	2		—	—	—	—	—	—
	球美中学校 教員住宅	2		2	—	—	—	—	—	—

④老朽化状況

老朽化の状況は、13 施設中、老朽化比率 60%以上（更新検討施設）が 8 施設あり、約 6 割が更新検討施設です。全体としても老朽化比率が高い状況にあります。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
大岳小	大岳小学校 教員住宅	昭和 58 年度	20,057,872	47	31	13,182,029	65.7%
	清水小学校 教員住宅	昭和 55 年度	46,600,000	47	34	33,589,280	72.1%
	西中学校 教員住宅	昭和 56 年度	48,329,437	47	33	33,811,273	70.0%
清水小	清水小学校 教員住宅	昭和 60 年度	97,699,773	47	29	57,596,019	59.0%
	大岳小学校 教員住宅	平成 07 年度	23,300,000	47	19	9,385,240	40.3%
	西中学校 教員住宅	平成 07 年度	34,950,000	47	19	14,077,860	40.3%
久米島小	久米島中学校 教員住宅	昭和 52 年度	41,940,000	47	37	32,897,736	78.4%
	久米島小学校 教員住宅	昭和 55 年度	35,695,869	47	34	25,729,580	72.1%
	久米島中学校 教員住宅	昭和 61 年度	49,134,878	47	28	29,166,461	59.4%
比屋定小	比屋定小学校 教員住宅	昭和 57 年度	91,103,509	47	32	58,411,642	64.1%
美崎小	美崎小学校 教員住宅	昭和 59 年度	44,202,350	47	30	28,112,691	63.6%
仲里小	仲里小学校 教員住宅	昭和 61 年度	126,138,932	47	28	61,464,828	48.7%
	球美中学校 教員住宅	昭和 53 年度	86,481,327	47	36	56,559,786	65.4%

7. 機能別の現状と分析

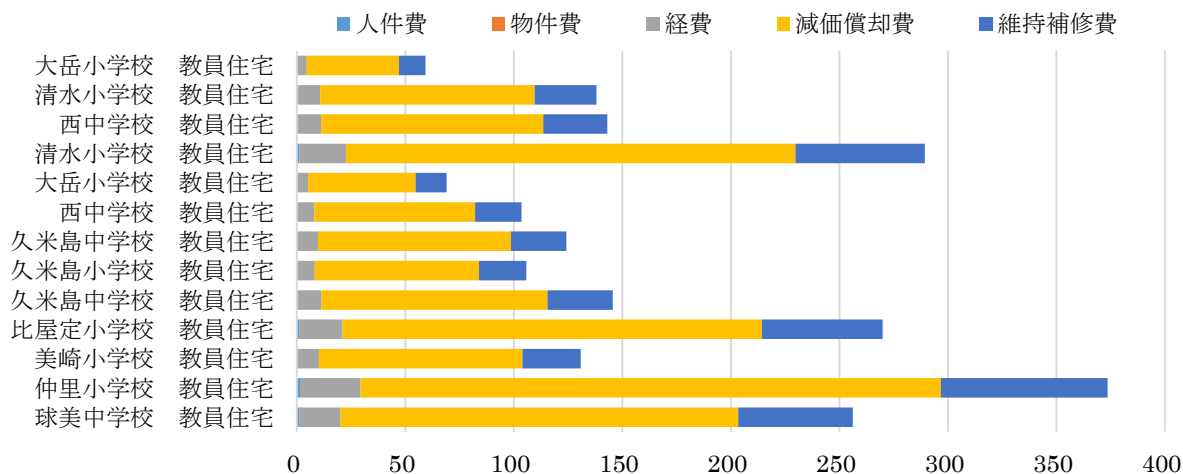
(2) 施設コストの実態

平均コストは約 1,699 千円ですが、清水小学校・比屋定小学校・仲里小学校・球美中学校の教員住宅が平均より高い状況にあります。老朽化比率の高い施設が多いため、今後は維持管理コストの他に建替えコストが発生すると思われます。

図表 稼働コスト状況 (単位:円)

地区	施設名称	施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
大岳小	大岳小学校 教員住宅	2,550	0	44,123	425,226	122,309	594,209
	清水小学校 教員住宅	5,925	0	102,515	987,920	284,171	1,380,530
	西中学校 教員住宅	6,145	0	106,318	1,024,584	294,714	1,431,761
清水小	清水小学校 教員住宅	12,422	0	214,929	2,071,235	595,783	2,894,369
	大岳小学校 教員住宅	2,963	0	51,257	493,960	142,085	690,265
	西中学校 教員住宅	4,444	0	76,886	740,940	213,128	1,035,398
久米島小	久米島中学校 教員住宅	5,333	0	92,263	889,128	255,754	1,242,477
	久米島小学校 教員住宅	4,539	0	78,525	756,752	217,671	1,057,487
	久米島中学校 教員住宅	6,247	0	108,089	1,041,659	299,623	1,455,619
比屋定小	比屋定小学校 教員住宅	11,584	0	200,418	1,931,392	555,560	2,698,954
美崎小	美崎小学校 教員住宅	5,620	0	97,239	937,089	269,548	1,309,496
仲里小	仲里小学校 教員住宅	16,038	0	277,491	2,674,144	769,206	3,736,880
	球美中学校 教員住宅	10,996	0	190,248	1,833,404	527,369	2,562,017
合計		94,805	0	1,640,302	15,807,433	4,546,922	22,089,462
平均		7,293	0	126,177	1,215,956	349,763	1,699,189

図表 稼働コスト状況 (単位:万円)



7. 機能別の現状と分析

図表 位置図 教員住宅



出典：国土地理院の電子国土 web

9. 町営住宅

町営住宅について分析を行います。

(1) 施設概要

①施設一覧

町営住宅の施設は、全体で 14 施設あります。大岳小学校区に 5 施設、清水小学校区に 2 施設、久米島小学校区に 1 施設、比屋定小学校区に 3 施設、美崎小学校区に 3 施設があります。総延床面積は 3,267 m²です。

全戸数：44 戸

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
大岳小	仲村渠 1 団地	仲村渠 98 番地 5	1995 年度 (平成 07 年度)	143	1	単独
	仲村渠 2 団地	仲村渠 98 番地 5	1996 年度 (平成 08 年度)	155	1	単独
	具志川団地	具志川 721 番地	1993 年度 (平成 05 年度)	141	1	単独
	久間地 1 団地	上江洲 465 番地	1991 年度 (平成 03 年度)	125	1	単独
	久間地 2・3 団地	上江洲 465 番地	1992 年度 (平成 04 年度)	257	1	単独
清水小	北原団地	北原 674 番地 1	1994 年度 (平成 06 年度)	141	1	単独
	大原団地	大原 892 番地 4	2001 年度 (平成 13 年度)	315	2	単独
久米島小	山城団地	山城 73 番地	1999 年度 (平成 11 年度)	321	2	単独
比屋定小	比屋定 B 団地	宇江城 66 番地	2000 年度 (平成 12 年度)	319	2	単独
	宇江城団地	宇江城 1943 番地 1	1993 年度 (平成 05 年度)	275	2	単独
	比屋定 A 団地	比屋定 31 番地 1	1992 年度 (平成 04 年度)	128	1	単独
美崎小	美崎 B 団地	宇根 225 番地 2	1996 年度 (平成 08 年度)	322	2	単独
	美崎 C 団地	宇根 225 番地 2	1997 年度 (平成 09 年度)	321	2	単独
	美崎 A 団地	宇根 225 番地 2	1994 年度 (平成 06 年度)	304	2	単独

②設置目的等

住宅に困窮する低額所得者に低廉な家賃で入居させるために、町営住宅を設置しています。

③運営状況

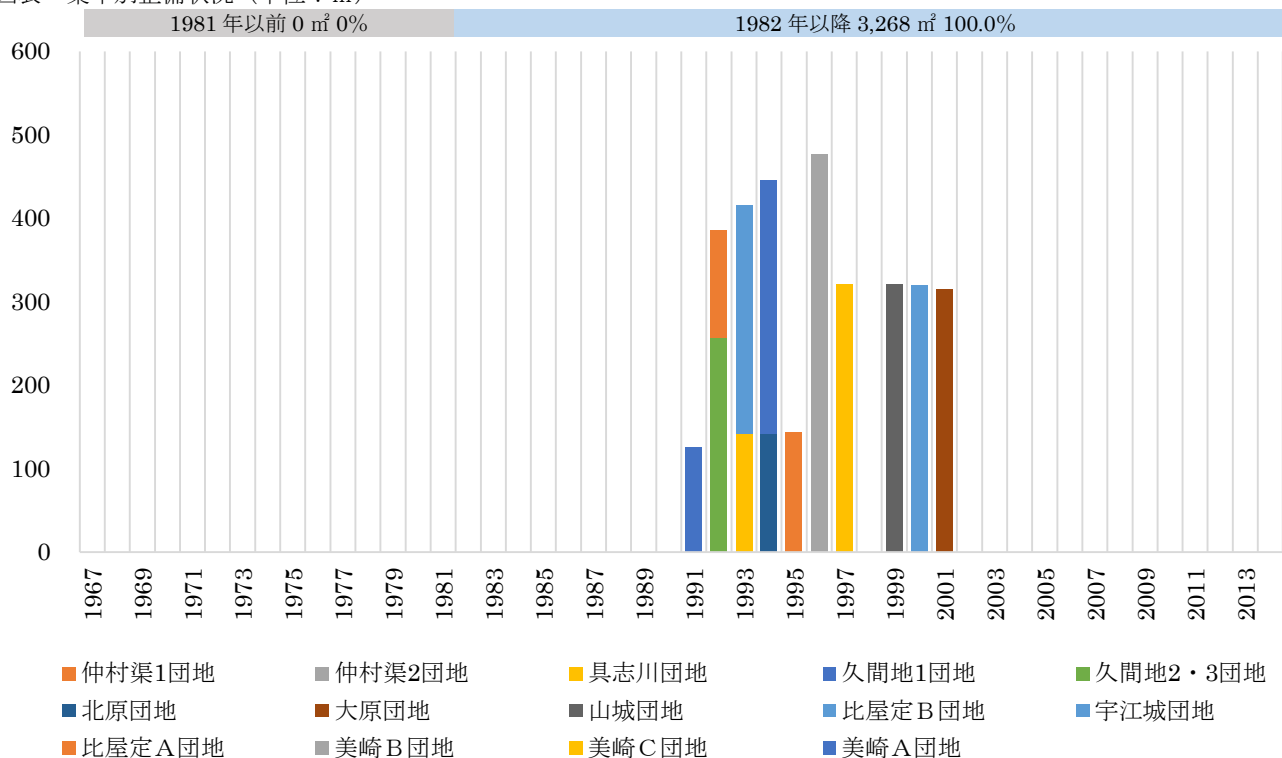
施設の管理は、直営方式で運営されています。

7. 機能別の現状と分析

④整備状況

町営住宅は、築後 10 年から 20 年の新しい施設です。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：平成 26 年度固定資産台帳

⑤建物状況

耐震診断については、14 施設全てが耐震基準に適合済みとなっております。

図表 建物状況

地区	施設名称	全棟数	耐震診断		バリアフリー経路		トイレ			授乳室
			適合	不適合	段差なし	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	
大岳小	仲村渠 1 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
	仲村渠 2 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
	具志川 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
	久間地 1 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
	久間地 2・3 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
清水小	北原 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
	大原 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
久米島小	山城 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
比屋定小	比屋定 B 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
	宇江城 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
	比屋定 A 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
美崎小	美崎 B 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
	美崎 C 団地	1	1		—	—	—	—	—	—
	美崎 A 団地	1	1		—	—	—	—	—	—

7. 機能別の現状と分析

⑥老朽化状況

老朽化の状況は、14 施設全てが老朽化比率 50%以下であり、比較的老朽化が低い施設です。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却 累計額	老朽化比率
大岳小	仲村渠 1 団地	平成 07 年度	40,741,163	47	19	16,410,537	40.3%
	仲村渠 2 団地	平成 08 年度	43,201,216	47	18	16,485,580	38.2%
	具志川団地	平成 05 年度	33,740,209	47	21	15,021,139	44.5%
	久間地 1 団地	平成 03 年度	30,183,940	47	23	14,717,687	48.8%
	久間地 2・3 団地	平成 04 年度	65,616,647	47	22	30,603,600	46.6%
清水小	北原団地	平成 06 年度	38,791,904	47	20	16,447,765	42.4%
	大原団地	平成 13 年度	75,240,415	47	13	20,736,255	27.6%
久米島小	山城団地	平成 11 年度	76,379,918	47	15	24,288,812	31.8%
比屋定小	比屋定 B 団地	平成 12 年度	77,055,426	47	14	22,870,050	29.7%
	宇江城団地	平成 05 年度	62,969,245	47	21	28,033,903	44.5%
	比屋定 A 団地	平成 04 年度	35,278,069	47	22	15,280,295	43.3%
美崎小	美崎 B 団地	平成 08 年度	76,297,097	47	18	29,114,970	38.2%
	美崎 C 団地	平成 09 年度	70,716,793	47	17	25,486,332	36.0%
	美崎 A 団地	平成 06 年度	62,906,464	47	20	26,672,340	42.4%

7. 機能別の現状と分析

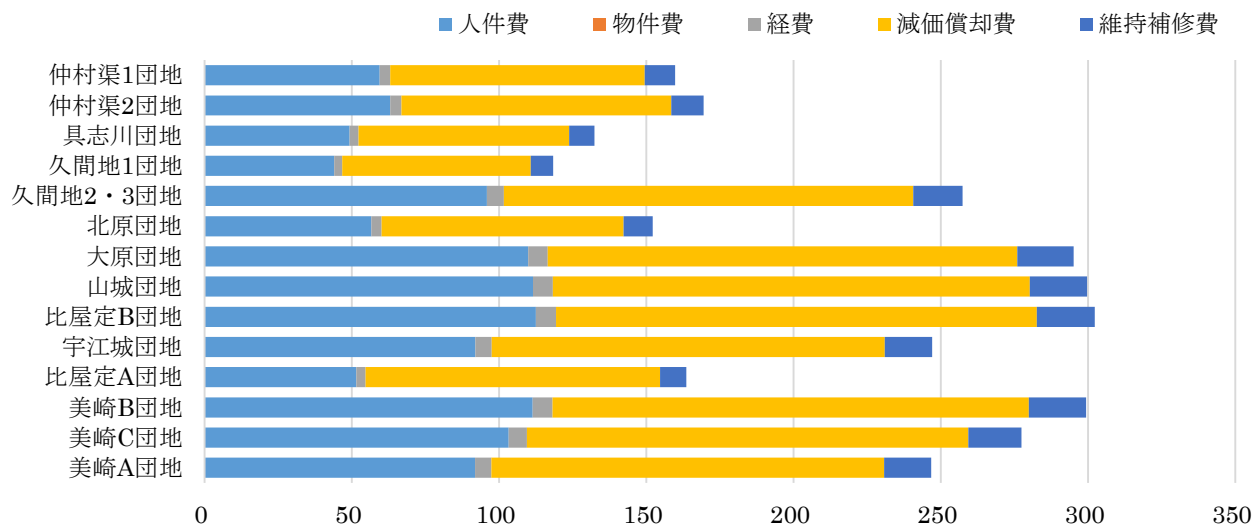
(2) 施設コストの実態

平均コストは約 2,229 千円ですが、久間地 2・3 団地・大原団地・山城団地・比屋定 B 団地・宇江城団地・美崎 A・B・C 団地が平均より高い状況にあります。全体的に老朽化比率が低いいため、当面は維持管理コストのみ発生が見込まれます。

図表 稼働コスト状況 (単位：円)

地区	施設名称	家賃収入	施設費用					総額
			人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
大岳小	仲村渠 1 団地	522,000	595,034	0	35,859	863,712	103,789	1,598,394
	仲村渠 2 団地	456,000	630,963	0	38,024	915,865	110,056	1,694,908
	具志川団地	318,600	492,782	0	29,697	715,292	85,954	1,323,725
	久間地 1 団地	400,800	440,831	0	26,566	639,899	76,892	1,184,189
	久間地 2・3 団地	637,200	958,340	0	57,753	1,391,072	167,160	2,574,325
清水小	北原団地	460,800	566,553	0	34,143	822,388	98,822	1,521,906
	大原団地	1,051,200	1,098,901	0	66,224	1,595,096	191,677	2,951,898
久米島小	山城団地	1,435,200	1,115,537	0	67,227	1,619,254	194,579	2,996,596
比屋定小	比屋定 B 団地	1,036,800	1,125,410	0	67,822	1,633,575	196,301	3,023,107
	宇江城団地	1,032,000	919,680	0	55,424	1,334,947	160,416	2,470,467
	比屋定 A 団地	388,800	515,245	0	31,051	1,000,252	89,872	1,636,420
美崎小	美崎 B 団地	982,800	1,114,339	0	67,154	1,617,498	194,370	2,993,361
	美崎 C 団地	982,800	1,032,827	0	62,242	1,499,196	180,152	2,774,417
	美崎 A 団地	1,395,600	918,760	0	55,368	1,333,617	160,256	2,468,000
合 計		11,100,600	11,525,201	0	694,554	16,981,663	2,010,296	31,211,714
平 均		792,900	823,229	0	49,611	1,212,976	143,593	2,229,408

図表 稼働コスト状況 (単位：万円)



7. 機能別の現状と分析

図表 位置図 町営住宅



出典：国土地理院の電子国土 web

7. 機能別の現状と分析

10. その他広域対応施設（農林・水産・観光・その他）

(1) 施設概要

①施設一覧

その他の広域対応施設として、農林・水産・観光・その他施設を取りまとめています。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
大岳小	五枝松園地(売店)	上江洲 776 番地	1996 年度 (平成 08 年度)	42	1	単独
	薬用作物等農産加工施設	上江洲 288 番地	1999 年度 (平成 11 年度)	400	1	単独
清水小	鳥島漁港漁船保全修理施設	鳥島 385 番地 5	1999 年度 (平成 11 年度)	212	1	単独
	具志川農村環境改善センター	仲泊 730 番地	1986 年度 (昭和 61 年度)	1,426	2	単独
	水産鮮度保持施設	大田 345 番地	2013 年度 (平成 25 年度)	427	4	単独
	花卉出荷及び貯蔵施設(太陽の花)	兼城 9 番地 6	1994 年度 (平成 06 年度)	256	1	単独
	花卉出荷及び貯蔵施設(農協)	兼城 3 番地 9	2007 年度 (平成 19 年度)	380	1	単独
	兼城港ターミナル	兼城 5 番地	1984 年度 (昭和 59 年度)	650	1	単独
	と畜場	兼城 215 番地	1978 年度 (昭和 53 年度)	171	1	単独
久米島小	消防署	嘉手苺 970 番地	1989 年度 (平成 01 年度)	1,517	2	単独
	堆肥センター	嘉手苺 1796 番地 40	2006 年度 (平成 18 年度)	1,939	1	単独
	儀間漁港漁船保全修理施設	儀間 22 番地	1997 年度 (平成 09 年度)	130	1	単独
	学校給食センター	儀間 754 番地	1976 年度 (昭和 51 年度)	762	2	単独
美崎小	仲里漁港漁船保全修理施設	宇根 360 番地 3	2004 年度 (平成 16 年度)	253	1	単独
	真泊カーフェリーターミナル	宇根 237 番地 1	1986 年度 (昭和 61 年度)	474	1	単独
	海洋深層水利用栽培施設	真謝 493 番地 5	2014 年度 (平成 26 年度)	68	1	単独
仲里小	泊フィッシャリーナ	宇根 1724 番地	1999 年度 (平成 11 年度)	100	1	単独
	パーデハウス久米島	奥武 170 番地 1	2003 年度 (平成 15 年度)	1,834	1	単独
	奥武島キャンプ場	奥武 170 番地 1	2003 年度 (平成 15 年度)	376	1	単独
	町営バス事務所	謝名堂 548 番地 8	1996 年度 (平成 08 年度)	80		単独
	平張施設	比嘉 2938 番地 1	2011 年度 (平成 23 年度)	648	1	単独
	育苗ハウス	比嘉 2938 番地 1	2012 年度 (平成 24 年度)	60	1	単独
	第一地区セリ市場	比嘉 1647 番地	2003 年度 (平成 15 年度)	2,337	1	単独
	イーフ情報連絡施設	比嘉 160 番地 5	2005 年度 (平成 17 年度)	360	1	単独

②設置目的等

各施設の設置目的は図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
大岳小	五枝松園地(売店)	観光振興のための売店
	薬用作物等農産加工施設	生産物に付加価値を付けて出荷し生産者の所得の向上を図る
清水小	鳥島漁港漁船保全修理施設	水産業の健全な発展及びこれによる水産物の供給の安定を図る
	具志川農村環境改善センター	農業者等農村在住者の健康増進及びコミュニティ活動の場
	水産鮮度保持施設	水産業の健全な発展及びこれによる水産物の供給の安定を図る
	花卉出荷及び貯蔵施設(太陽の花)	生産農家の経営安定及び拡大を図る
	花卉出荷及び貯蔵施設(農協)	
	兼城港ターミナル	船舶利用者の利便と安全を確保し本町の振興に寄与
	と畜場	食用に供するために行う獣畜の処理の適正を図り公衆衛生の向上に寄与
久米島小	消防署	消防事務を処理するため
	堆肥センター	有機性資源を有効活用し環境の保全及び土づくりによる地力の増進を図る
	儀間漁港漁船保全修理施設	水産業の健全な発展及びこれによる水産物の供給の安定を図る
	学校給食センター	児童生徒の心身の健全な発育・発達のため、安心、安全な学校給食の提供を行う。
美崎小	仲里漁港漁船保全修理施設	水産業の健全な発展及びこれによる水産物の供給の安定を図る

7. 機能別の現状と分析

地区	施設名称	設置目的
	真泊カーフェリーターミナル	—
	海洋深層水利用栽培施設	海洋深層水の冷熱利用により、夏場の野菜栽培技術の商品化に向けた実証実験を行う
仲里小	泊フィッシャリーナ	漁業と海洋性スポーツの共存し、レクリエーション活動で地域の活性化を図る
	バーデハウス久米島	町民の健康増進及び観光振興を図る
	奥武島キャンプ場	町民の健康増進及び外来者の保養並びに青少年の健全な育成を図る
	町営バス事務所	交通の確保を図り、町民福祉の向上に寄与する
	平張施設	緑化推進を図る。(苗づくり)
	育苗ハウス	
	第一地区セリ市場	畜産の振興を図る
	イーフ情報連絡施設	イーフ地区における総合観光案内施設、定住促進につながるコミュニティー施設

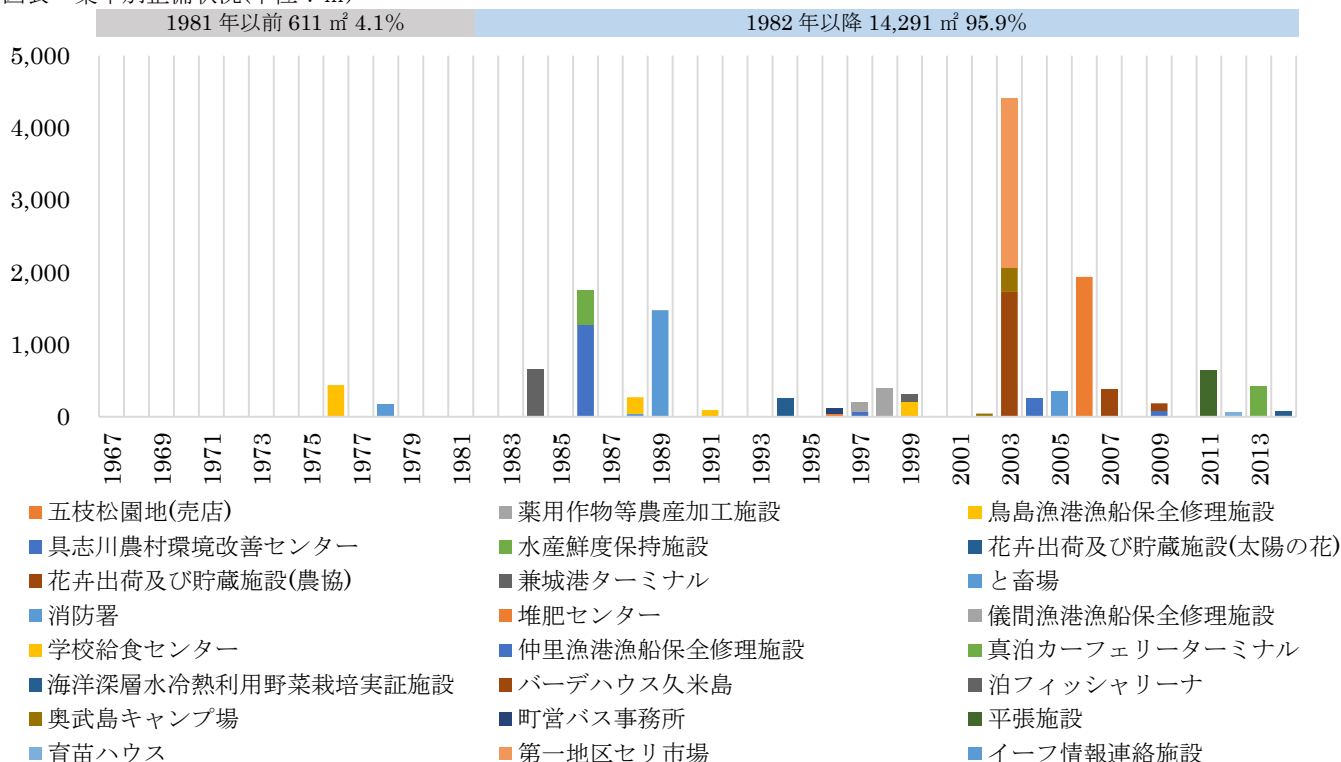
③運営状況

「薬物作用等農産加工施設」・「花卉出荷及び貯蔵施設(農協)」・「バーデハウス久米島」・「奥武島キャンプ場」・「第一地区セリ市場」・「イーフ情報連絡施設」は指定管理にて運営されています。

また、「五枝松園地(売店)」・「具志川農村環境改善センター」・「水産鮮度保持施設」・「花卉出荷及び貯蔵施設(太陽の花)」・「兼城港ターミナル」・「と畜場」・「仲里漁港漁船保全修理施設」・「兼城ターミナル」は委託にて運営されています。その他は、直営です。

④整備状況

図表 築年別整備状況(単位：㎡)



出典：平成 26 年度固定資産台帳

7. 機能別の現状と分析

⑤建物状況

耐震診断については、「と畜場」と「学校給食センター」は耐震基準が不適合となっており、その他の施設は適合済みとなっています。

図表 建物状況②

地区	施設名称	全棟数	耐震診断		バリアフリー経路		トイレ			授乳室
			適合	不適合	段差なし	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	
大岳小	五枝松園地(売店)	1	1		—	—	—	—	—	—
	薬用作物等農産加工施設	1	1		—	—	—	—	—	—
清水小	鳥島漁港漁船保全修理施設	1	1		—	—	—	—	—	—
	具志川農村環境改善センター	1	1		○	—	○	—	—	—
	水産鮮度保持施設	1	1		—	—	—	—	—	—
	花卉出荷及び貯蔵施設(太陽の花)	1	1		○	—	○	—	—	—
	花卉出荷及び貯蔵施設(農協)	1	1		—	—	—	—	—	—
	兼城港ターミナル	1	1		—	—	—	—	—	—
	と畜場	1		1	—	—	—	—	—	—
久米島小	消防署	1	1		—	—	—	—	—	—
	堆肥センター	1	1		—	—	—	—	—	—
	儀間漁港漁船保全修理施設	1	1		—	—	—	—	—	—
	学校給食センター	1		1	—	—	—	—	—	—
美崎小	仲里漁港漁船保全修理施設	1	1		—	—	—	—	—	—
	真泊カーフェリーターミナル	1	1		○	—	—	—	—	—
	海洋深層水利用栽培施設	1	1		○	—	—	—	—	—
仲里小	泊フィッシャリーナ	1	1		○	—	○	—	—	—
	バーデハウス久米島	1	1		○	—	○	—	—	—
	奥武島キャンプ場	1	1		○	—	○	—	—	—
	町営バス事務所	1	1		—	—	—	—	—	—
	平張施設	1	1		—	—	—	—	—	—
	育苗ハウス	1	1		—	—	—	—	—	—
	第一地区セリ市場	1	1		—	—	—	—	—	—
イーフ情報連絡施設	1	1		—	—	—	—	—	—	

7. 機能別の現状と分析

⑥老朽化状況

老朽化の状況は、「と畜場」と「学校給食センター」が老朽化比率 80%以上（更新検討時期施設）となっています。

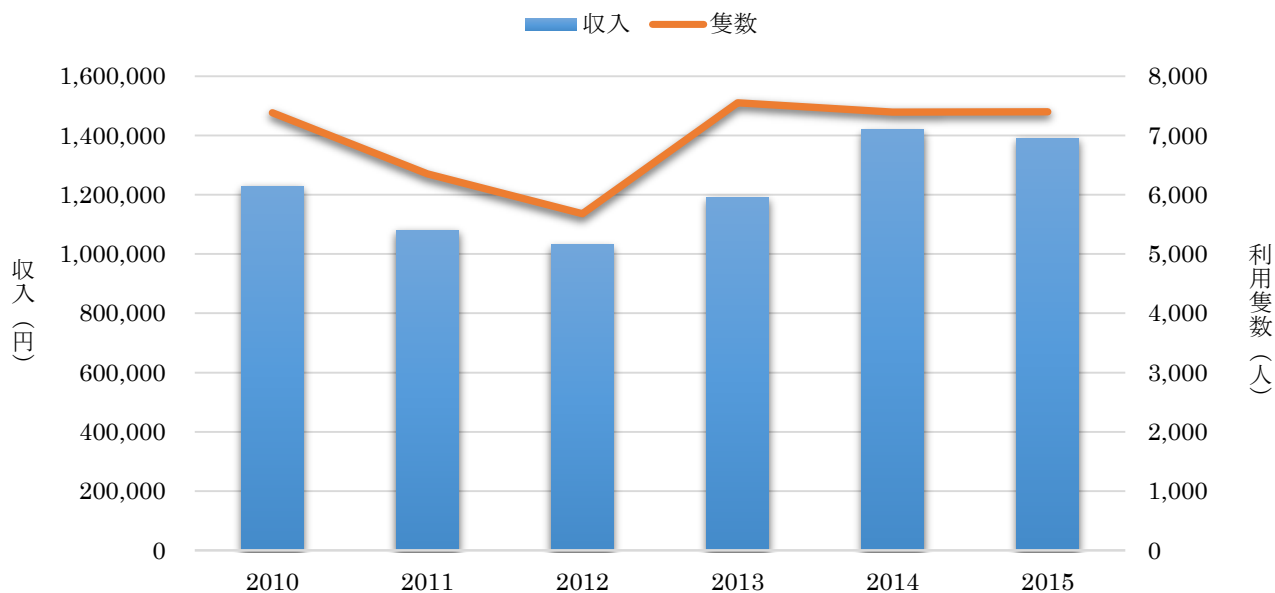
図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
大岳小	五枝松園地(売店)	平成 08 年度	1,245,000	40	19	560,250	45.0%
	薬用作物等農産加工施設	平成 10 年度	25,382,403	31	16	13,077,012	51.5%
清水小	鳥島漁港漁船保全修理施設	平成 11 年度	67,063,749	38	15	26,456,646	39.4%
	具志川農村環境改善センター	昭和 61 年度	596,383,732	50	28	408,021,367	68.4%
	水産鮮度保持施設	平成 25 年度	228,796,050	38	1	12,198,271	5.3%
	花卉出荷及び貯蔵施設(太陽の花)	平成 06 年度	48,518,379	38	20	25,520,665	52.6%
	花卉出荷及び貯蔵施設(農協)	平成 19 年度	89,363,332	38	7	16,451,786	18.4%
	兼城港ターミナル	昭和 59 年度	124,221,191	50	30	87,241,745	70.2%
	と畜場	昭和 53 年度	82,828,226	38	36	78,421,763	94.7%
久米島小	消防署	平成 01 年度	301,167,639	50	25	179,418,138	59.6%
	堆肥センター	平成 18 年度	595,371,353	31	8	172,443,148	29.0%
	儀間漁港漁船保全修理施設	平成 09 年度	31,874,973	38	17	14,251,297	44.7%
	学校給食センター	昭和 51 年度	120,302,776	41	38	100,298,993	83.4%
美崎小	仲里漁港漁船保全修理施設	平成 16 年度	83,440,000	38	10	21,944,720	26.3%
	真泊カーフェリーターミナル	昭和 61 年度	177,258,360	47	28	99,011,140	55.9%
	海洋深層水利用栽培施設	平成 26 年度	74,304,000	38	0	0	0.0%
仲里小	泊フィッシャリーナ	平成 11 年度	41,767,068	38	15	16,477,104	39.4%
	バーデハウス久米島	平成 15 年度	877,369,366	31	11	415,438,969	47.4%
	奥武島キャンプ場	平成 15 年度	179,143,031	50	11	64,514,148	36.0%
	町営バス事務所	平成 08 年度	15,104,985	50	18	5,437,791	36.0%
	平張施設	平成 23 年度	3,150,000	24	3	393,120	12.5%
	育苗ハウス	平成 24 年度	567,000	24	3	70,761	12.5%
	第一地区セリ市場	平成 15 年度	300,940,695	31	10	106,593,192	35.4%
	イーブ情報連絡施設	平成 17 年度	110,051,623	50	8	30,021,498	27.3%

(2) 利用の実態

■泊フィッシャリーナ 収入および利用者の状況

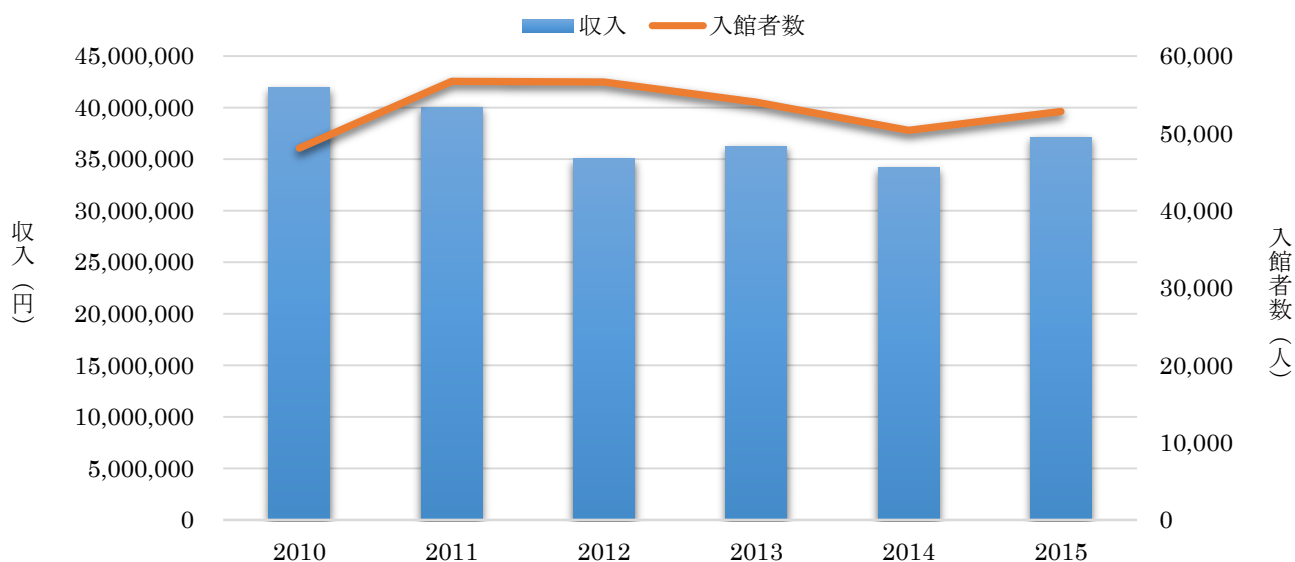
図表 泊フィッシャリーナ 収入および利用隻数推移 (単位:円・人)



	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計	平均
収入	1,228,700	1,080,000	1,032,200	1,190,400	1,419,100	1,390,800	7,341,200	1,223,533
隻数	7,384	6,350	5,679	7,550	7,395	7,399	41,757	6,960

■バーデハウス久米島 収入および利用者の状況

図表 バーデハウス久米島 入館収入および入館者数推移 (単位:円・人)

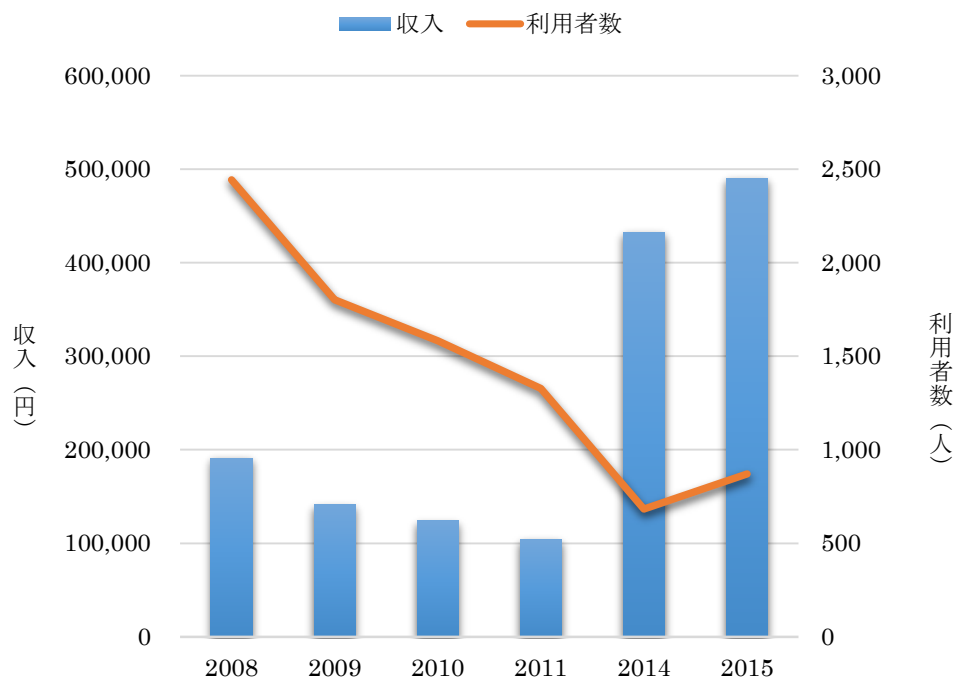


※収入は入館料収入

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計	平均
収入	41,918,000	40,052,000	35,038,000	36,252,000	34,151,325	37,128,321	224,539,646	37,423,274
入館者数	48,089	56,735	56,630	54,023	50,408	52,821	318,706	53,118

■奥武島キャンプ場 収入および利用者の状況

図表 奥武島キャンプ場 収入および利用者数推移（単位：千円・人）



	2008	2009	2010	2011	2014	2015	合計	平均
収入	191,169	141,009	123,872	103,918	432,244	490,076	1,482,288	247,048
利用者数	2,443	1,802	1,583	1,328	683	870	8,709	1,452

7. 機能別の現状と分析

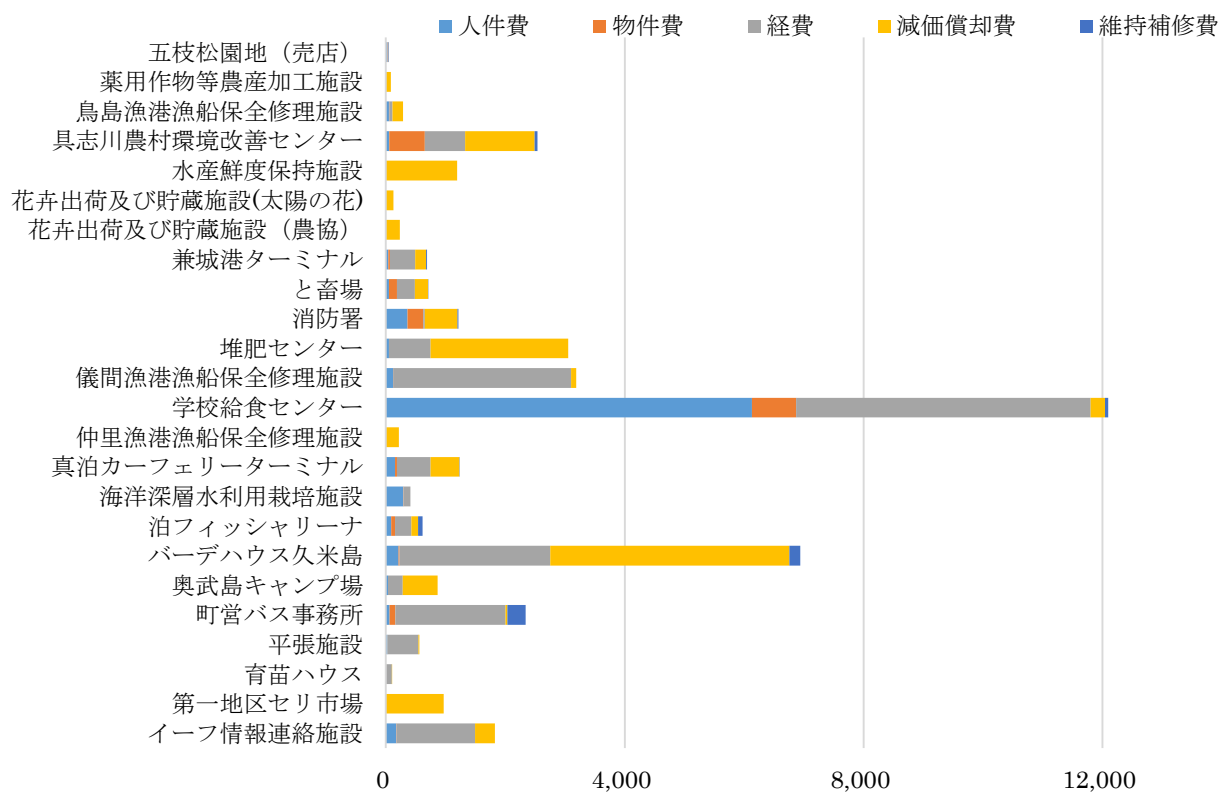
(3) 施設コストの実態

各施設のコスト状況は、以下のとおりです。

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	H26 施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
大岳小	五枝松園地(売店)	257,718	35,077	172,648	0	25,380	490,823
	薬用作物等農産加工施設	0	0	0	817,313	0	817,313
清水小	鳥島漁港漁船保全修理施設	485,450	59,733	553,267	1,763,776	0	2,862,227
	具志川農村環境改善センター	587,789	5,907,462	6,781,949	11,634,582	463,536	25,375,318
	水産鮮度保持施設	0	0	0	11,916,021	0	11,916,021
	花卉出荷及び貯蔵施設(太陽の花)	0	0	0	1,276,033	0	1,276,033
	花卉出荷及び貯蔵施設(農協)	0	0	0	2,350,255	0	2,350,255
	兼城港ターミナル	404,181	270,471	4,205,789	1,848,971	144,711	6,874,123
	と畜場	488,604	1,363,512	2,997,508	2,178,382	52,918	7,080,924
久米島小	消防署	3,630,467	2,598,673	287,820	5,448,266	202,464	12,167,690
	堆肥センター	488,604	0	7,000,000	23,052,912	0	30,541,516
	儀間漁港漁船保全修理施設	1,256,729	28,391	29,729,644	838,311	0	31,853,075
	学校給食センター	61,292,155	7,391,721	49,319,669	2,448,419	531,431	120,983,395
美崎小	仲里漁港漁船保全修理施設	0	0	0	2,194,472	0	2,194,472
	真泊カーフェリーターミナル	1,536,693	306,682	5,651,945	4,832,335	43,783	12,371,438
	海洋深層水利用栽培施設	2,922,549	68,020	1,131,724	0	0	4,122,293
仲里小	泊フィッシャリーナ	905,199	609,171	2,756,599	1,098,473	749,440	6,118,882
	バーデハウス久米島	2,111,035	181,444	25,240,382	40,046,750	1,837,676	69,417,287
	奥武島キャンプ場	339,450	0	2,500,000	5,834,519	0	8,673,969
	町営バス事務所	622,324	957,425	18,465,283	302,099	3,060,833	23,407,964
	平張施設	237,809	0	5,230,729	131,040	0	5,599,578
	育苗ハウス	42,730	0	939,871	23,587	0	1,006,188
	第一地区セリ市場	0	0	0	9,690,290	0	9,690,290
	イーブ情報連絡施設	1,753,823	22,986	13,157,936	3,335,722	0	18,270,467
合 計		79,363,309	19,800,768	176,122,763	133,062,528	7,112,172	415,461,540
平 均		3,306,805	825,032	7,338,448	5,544,272	296,341	17,310,897

図表 稼働コスト状況（単位：万円）



7. 機能別の現状と分析

図表 その他広域対応施設（農林・水産・観光・その他）



出典：国土地理院の電子国土 web

7. 機能別の現状と分析

1 1. その他（環境保全施設等）

その他について分析を行います。

(1) 施設概要

①施設一覧

その他（環境保全施設等）の施設は、全体で 5 施設あります。久米島小学校区に 1 施設、比屋定小学校区に 3 施設、美崎小学校区に 1 施設があります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
久米島小	リサイクルセンター	儀間 1949 番地 1	2003 年度 (平成 15 年度)	1,555		単独
比屋定小	比屋定展望台(展望施設)	阿嘉 530 番地 1	2003 年度 (平成 15 年度)	247	2	単独
	クリーンセンター	阿嘉 297 番地 133	1989 年度 (平成 01 年度)	1,555		単独
	火葬場(納骨堂含む)	阿嘉 297 番地 135	1979 年度 (昭和 54 年度)	78	1	単独
美崎小	仲原家	真謝 20 番地	2013 年度 (平成 25 年度)	119	1	単独

②設置目的等

各施設の設置目的は図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
久米島小	リサイクルセンター	不燃ごみ、粗大ごみ及び資源ごみの搬入及び処理
比屋定小	比屋定展望台(展望施設)	修景・食材供給施設
	クリーンセンター	可燃ごみの搬入及び処理
	火葬場(納骨堂含む)	火葬場
美崎小	仲原家	歴史・文化に触れ体験できる施設・地域活性化の拠点施設

③運営状況

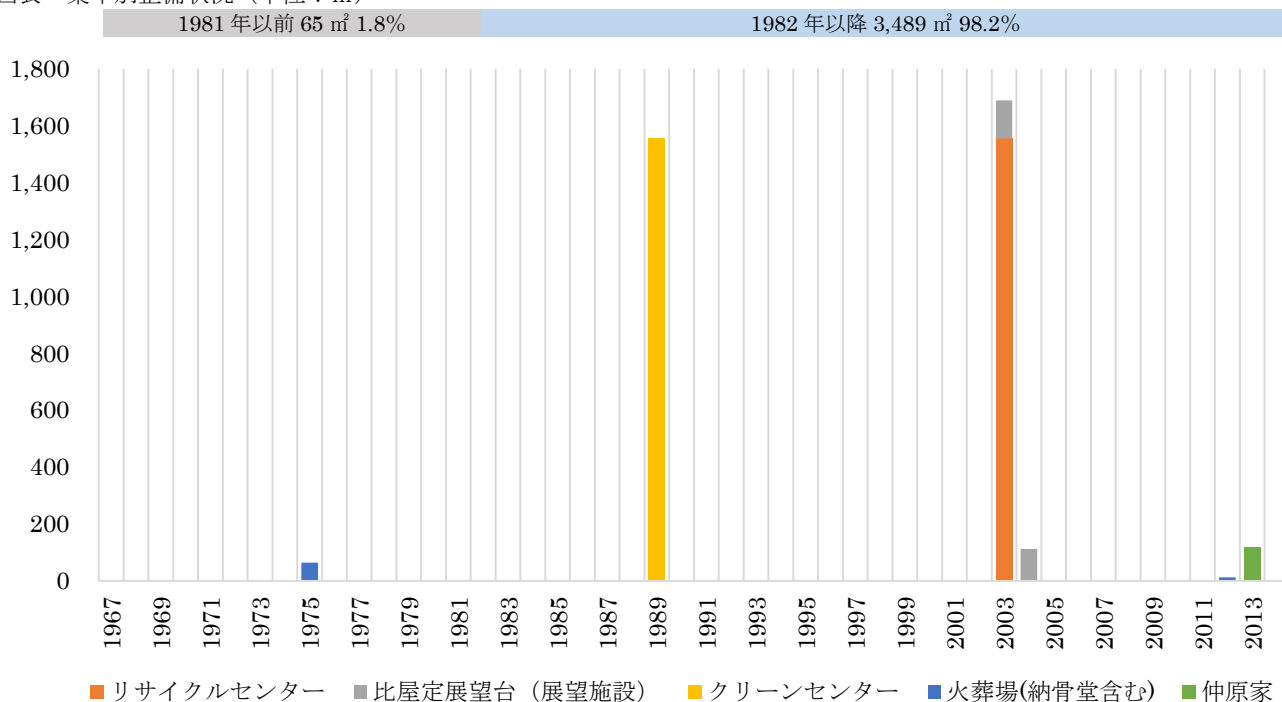
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
久米島小	リサイクルセンター	8:30~16:30	日・年始	直営	
比屋定小	比屋定展望台(展望施設)	—	—	委託	
	クリーンセンター	8:30~16:30	日・年始	直営	
	火葬場(納骨堂含む)	8:30~16:00	1月1日・2日	委託	
美崎小	仲原家	—	—	直営	0

7. 機能別の現状と分析

④整備状況

図表 築年別整備状況 (単位: m²)



出典：平成 26 年度固定資産台帳

⑤建物状況

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断		バリアフリー経路		トイレ			授乳室
			適合	不適合	段差なし	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	
久米島小	リサイクルセンター	1	1		—	—	—	—	—	—
比屋定小	比屋定展望台 (展望施設)	1	1		—	—	○	—	—	—
	クリーンセンター	1	1		—	—	—	—	—	—
	火葬場 (納骨堂含む)	1		1	—	—	—	—	—	—
美崎小	仲原家	1	1		—	—	—	—	—	—

⑥老朽化状況

老朽化の状況は、5 施設中、「火葬場 (納骨堂含む)」が老朽化比率 80%以上 (更新検討時期施設) となっています。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
久米島小	リサイクルセンター	平成 15 年度	1,571,418,345	50	11	743,100,971	47.3%
比屋定小	比屋定展望台 (展望施設)	平成 15 年度	84,618,339	50	11	17,690,740	20.9%
	クリーンセンター	平成 01 年度	648,253,683	38	25	261,451,852	40.3%
	火葬場 (納骨堂含む)	昭和 54 年度	85,216,605	50	39	74,510,502	87.4%
美崎小	仲原家	平成 25 年度	34,838,072	22	1	2,084,006	6.0%

7. 機能別の現状と分析

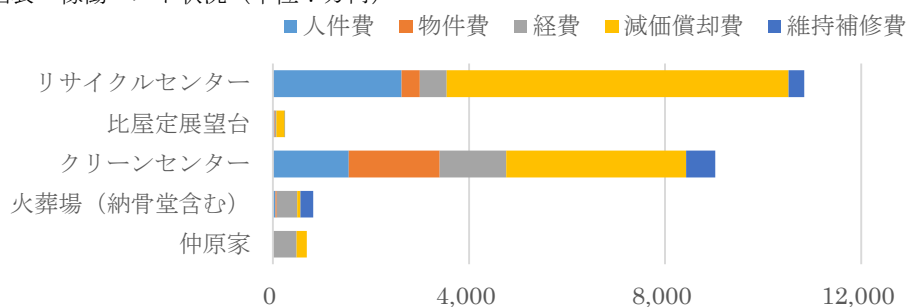
(2) 施設コストの実態

その他（環境保全施設等）は、多額のコストが発生するため、今後の財源確保が長期的な課題です。

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
久米島小	リサイクルセンター	26,236,649	3,722,570	5,502,563	69,741,432	3,164,930	108,368,144
比屋定小	比屋定展望台(展望施設)	257,718	152,173	283,985	1,692,365	54,000	2,440,241
	クリーンセンター	15,504,137	18,522,431	13,550,666	36,712,699	5,904,747	90,194,680
	火葬場(納骨堂含む)	525,724	291,350	4,117,464	672,293	2,654,532	8,261,363
美崎小	仲原家	0	32,844	4,795,692	2,084,006	0	6,912,542
合計		42,524,228	22,721,368	28,250,370	110,902,795	11,778,209	216,176,970
平均		8,504,846	4,544,274	5,650,074	22,180,559	2,355,642	43,235,394

図表 稼働コスト状況（単位：万円）



図表 位置図 その他（環境保全施設等）



出典：国土地理院の電子国土 web

8. 今後整備予定の施設

8. 今後整備予定の施設

1. 新設施設

地区	用途	施設名称	時期
久米島	その他広域対応施設	山羊舎	H27年度
美崎	その他広域対応施設	水産加工処理施設	H27年度
大岳	その他広域対応施設	甘藷加工処理	H28年度
久米島	スポーツ施設	パークゴルフ場	H28～29年度
久米島	子育て支援施設	病児保育所	H30～31年度
—	その他広域対応施設	給食センター	H28～31年度
—	社会教育・文化施設	図書館（複合施設）	H29～30年度
—	その他広域対応施設	野菜集出荷加工施設	H30年度
清水	スポーツ施設	クロスカントリー	H30年度
—	スポーツ施設	陸上競技場（サッカー場含む）	H30～31年度
—	その他広域対応施設	苗畑施設	H30年度

2. 建替え施設

地区	用途	施設名称	場所	時期
比屋定	その他施設	火葬場		H28～29年度
仲里	子育て支援施設	仲里幼稚園		H30～31年度
清水	その他広域対応施設	屠畜場		H29～30年度
清水	子育て支援施設	清水幼稚園		H30～31年度
比屋定	その他施設	クリーンセンター		H31～32年度
仲里	学校教育施設	仲里小学校		H31～33年度
仲里	教員住宅	球美中学校教員住宅	11号棟	H31～33年度
清水	学校教育施設	清水小学校		H32～34年度
仲里	教員住宅	球美中学校教員住宅	18号棟	H32～34年度
大岳	学校教育施設	大岳小学校		H33～35年度
清水	教員住宅	清水小学校教員住宅	16号棟	H33～35年度
美崎	学校教育施設	美崎小学校		H34年度～
久米島	教員住宅	久米島小学校教員住宅	7号棟	H34年度～
久米島	学校教育施設	久米島小学校		H35年度～
大岳	教員住宅	大岳小学校教員住宅	13号棟	H35年度～
仲里	公民館	比嘉公民館		H28～29年度

3. 大規模修繕施設

地区	用途	施設名称	場所	時期
仲里	スポーツ施設	仲里野球場	ネット	H27年度
清水	スポーツ施設	久米島野球場	ネット	H27年度
久米島	社会教育・文化施設	博物館	空調	H30年度
清水	スポーツ施設	久米島野球場	防球ネット	H32年度

9. 将来の施設更新投資等の試算（財務シミュレーション）

1. 更新投資試算の方法

各施設について、固定資産台帳において計上されている当該施設の資産に基づいて試算します。

施設の更新時期は、各資産の取得年度から固定資産台帳で位置づけられた耐用年数が経過した時点（法定耐用年数経過時点）で、固定資産台帳で設定している再調達価格で再整備することとします。

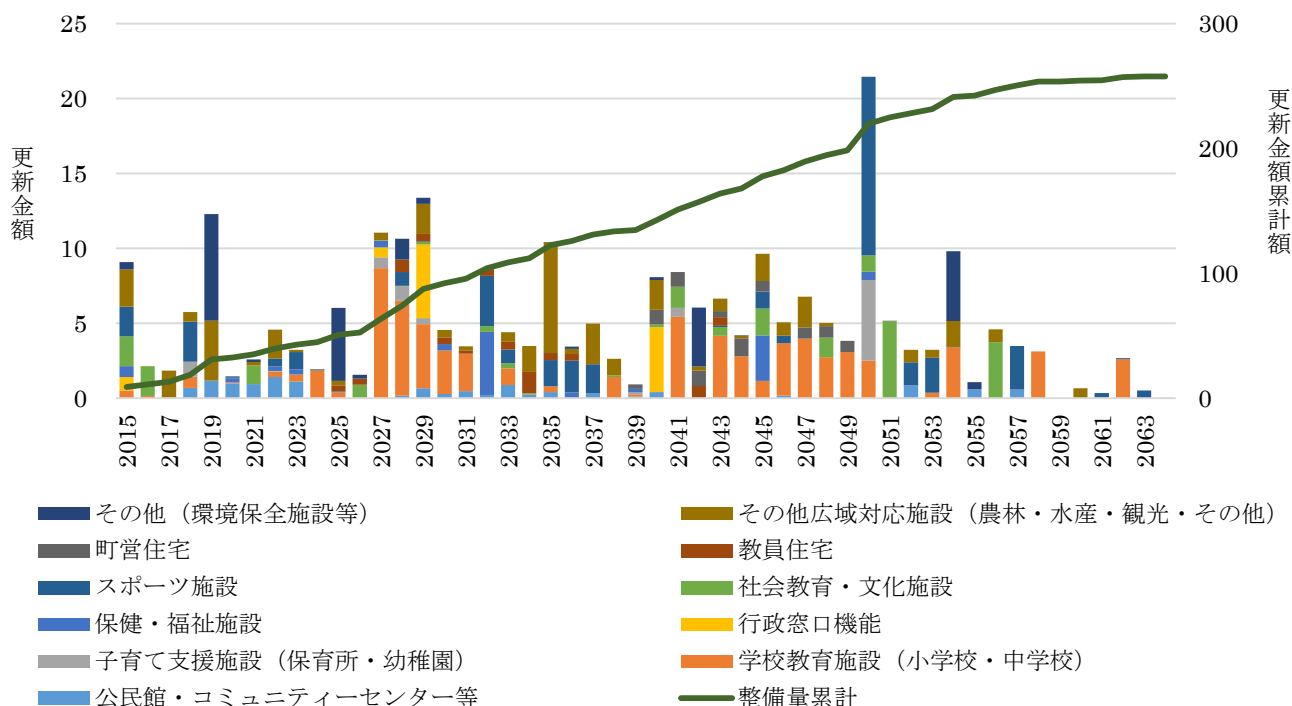
なお、上水道については、上水道の固定資産台帳に基づいて算出しています。

2. 公共建築物に係る更新投資の試算

公共建築物の今後50年間の更新投資を試算すると下図のようになります。耐用年数に応じて施設の建替を想定すると今後50年間で約258億円の更新投資が必要になります。

50年間の平均年間必要更新投資額は、年間約5億2千万円必要です。今後10年間の平均で年間約4.5億円、今後20年間の平均で年間約5.6億円必要になります。今後30年間の平均で年間約5.6億円必要、今後40年間の平均で年間約6.0億円必要となります。これから40年間、更新投資が膨らむ時期となり、年々増加している状況です。

図表 公共建築物の年度別更新金額（単位：億円）



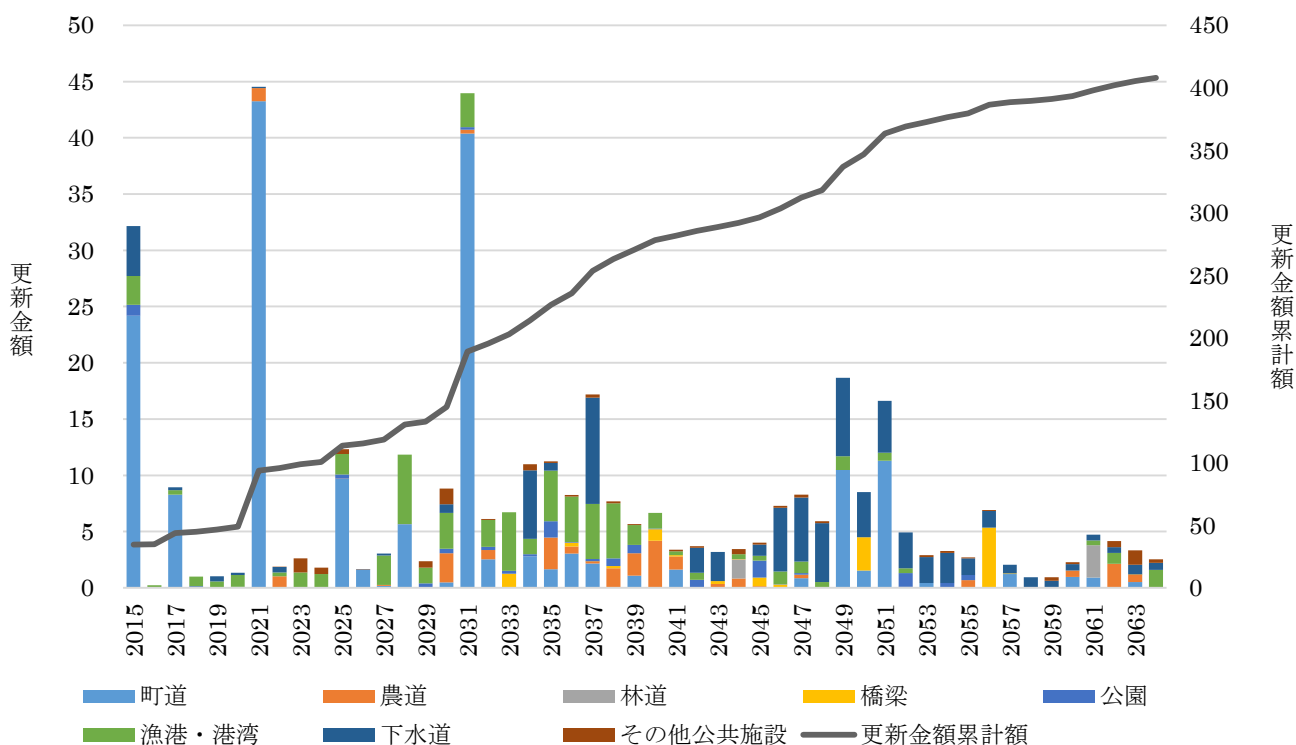
3. インフラ資産に係る更新投資の試算

インフラ資産の今後 50 年間の更新投資を試算すると下図のようになります。耐用年数に応じて施設の再整備を想定すると 50 年間で約 408 億円の更新投資が必要になります。

50 年間の平均年間必要更新投資額は、年間約 8 億 2 千万円必要です。

今後 10 年間の平均で年間約 10 億円、今後 20 年間の平均で年間約 10.7 億円必要になります。今後 30 年間の平均で年間約 9.7 億円必要、今後 40 年間の平均で年間約 9.4 億円必要となります。これから 20 年間、更新投資が膨らむ時期となり、年々増加している状況です。

図表 インフラ資産の年度別更新金額（単位：億円）



4. 公共施設（全体）に係る更新投資の試算

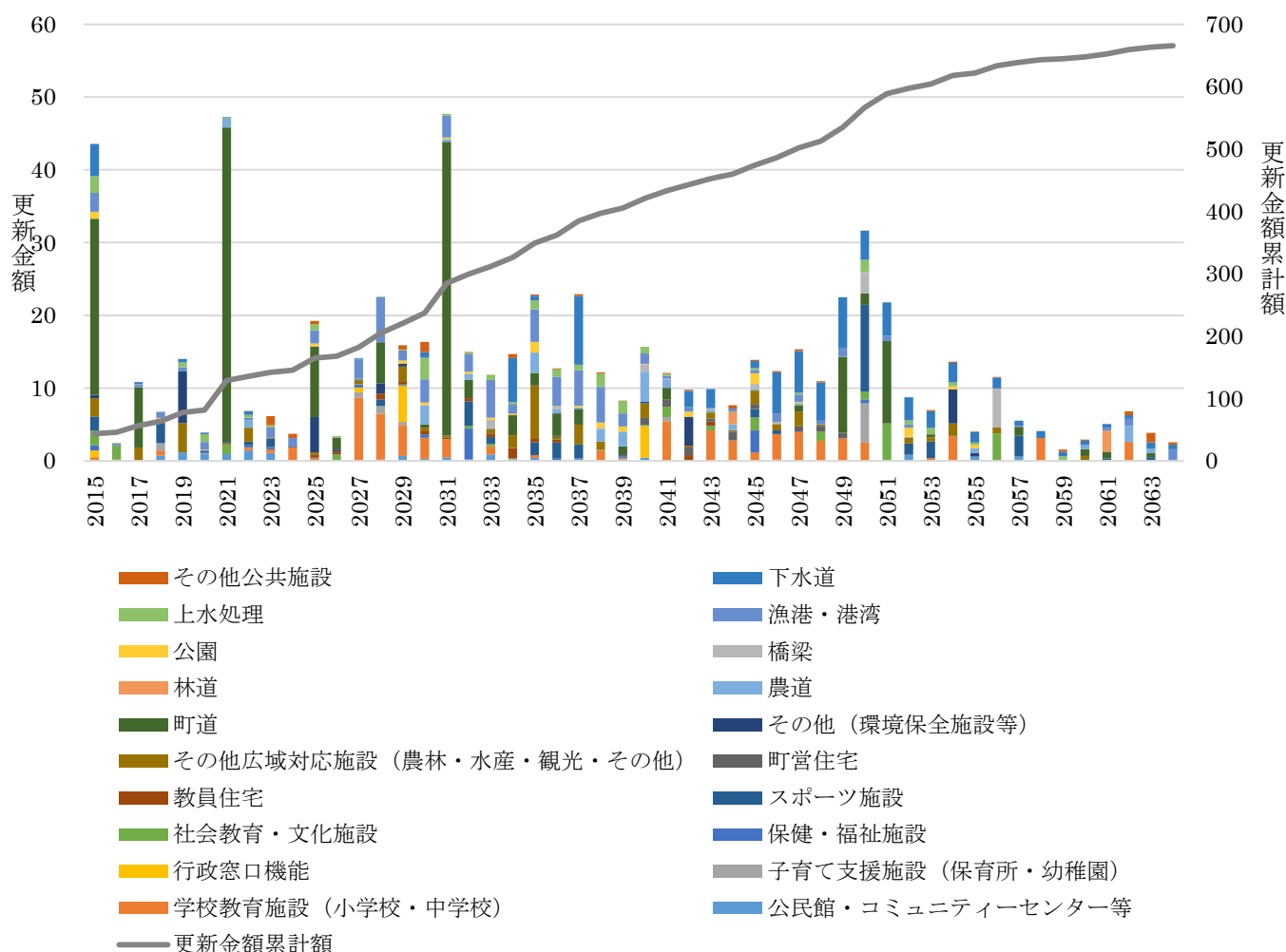
公共建築物、インフラ資産を含めた公共施設全体の今後50年間の更新投資を試算すると下図のようになります。50年間で約666億円の更新投資が必要になります。

50年間の平均年間必要更新投資額は、年間約13億円必要です。

今後10年間の平均で年間約15億円、今後20年間の平均で年間約16億円必要になります。今後30年間の平均で年間約15億円必要、今後40年間の平均で年間約15億円必要となります。これから40年間、更新投資が膨らむ時期となり、年々増加している状況です。

平成26年度（2014年度）の普通建設事業費は、年間約19億円です。今後も同様とすれば、耐用年数到来に合わせた施設の更新を実施することは財政的に難しいと考えられます。

図表 公共建築物とインフラ資産の年度別更新金額（単位：億円）



5. 財務シミュレーション

(1) 財務シミュレーションの前提条件

財務シミュレーションは、平成 25 年度（2013 年度）決算データを使用し、以下の設定で試算を行います。なお、試算は平成 26 年度（2014 年度）から 40 年後の平成 65 年度（2053 年度）まで試算します。

歳入－歳出の額がマイナスとなり、そのマイナス分の累計が資金と金融資産の合計を上回ると、町が所持している全資産を投下してもマイナス分をまかなえなくなることで、町の財政が破綻することとなります。

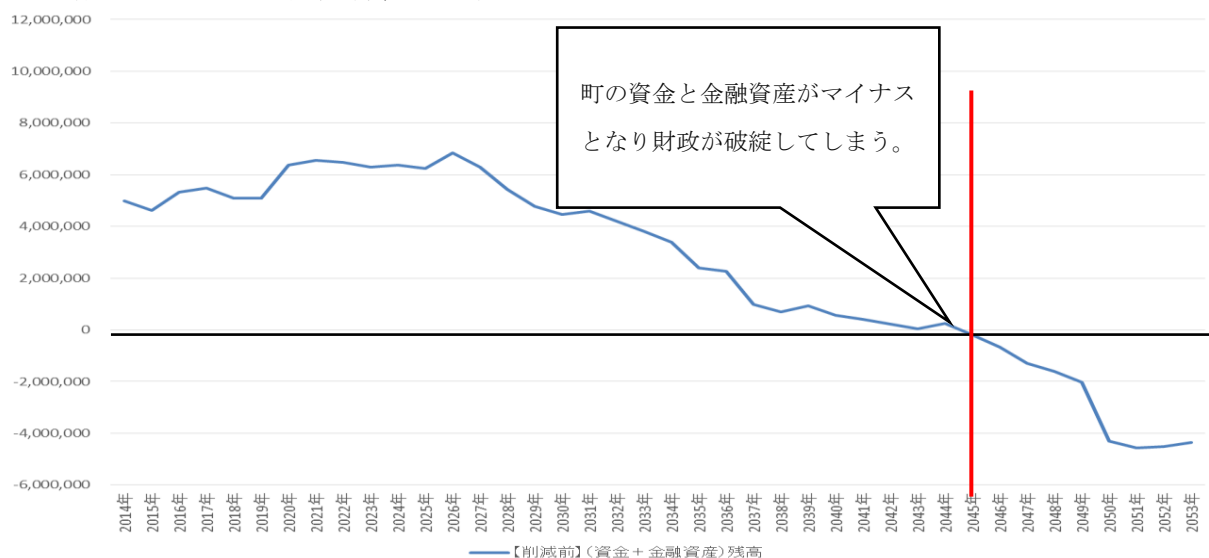
【シミュレーションの設定】

- 行政活動実績計算書（企業会計でいう損益計算書）は、平成 25 年度（2013 年度）と同じ金額で推移するものと仮定します。
- 全ての公共建築物及びインフラ資産について、耐用年数到来ごとに再調達価格で施設更新を行うこととします。
- インフラ資産の新規建設費は、平成 25 年度（2013 年度）と同じ金額が毎年投資されることとします。
- 公共建築物の新規建設費は、平成 25 年度（2013 年度）と同じ金額が毎年投資されることとします。
- 現在、実施が予定されている新規設備や大規模修繕については、計画年度に現在予定されている金額で実施されることとします。

(2) 財務シミュレーション実施結果

前述の設定に基づいてシミュレーションを行うと、平成 57 年度（2045 年度）には、町の財政が破綻する結果となります。

図表 財務シミュレーション結果（単位：千円）



9. 計画の推進にあたって

財政を破綻させないためには、公共施設を削減し公共施設の更新投資や大規模修繕費用を抑えることが必要となります。公共施設のうちインフラ資産を削減することは、現在の久米島町においては困難であると考えられます。そのため、公共建築物の新規建設費を削減し、財政がマイナスにならないようにする必要があります。

上記の財務シミュレーションを基に、少なくとも今後40年（平成65年度）までは、財政がマイナスにならず現在の資金と金融資産の額が同等になるように試算すると次のグラフのようになり、40年間で40億円削減する必要があります。

現在の公共施設の建設単価は、約334千円/㎡なので、削減しなければならない建築物の面積は、約11,976㎡となり、新規建設を抑えていく必要がある。

図表 財務シミュレーション結果（単位：千円）

